

平成25年度

香 川 県

歯の健康と医療費に関する実態調査
報告書

平成26年3月

香川県

公益社団法人 香川県歯科医師会

共同研究 監修：香川大学教授 真鍋芳樹
協力 香川県国民健康保険団体連合会
香川県後期高齢者医療広域連合

目 次

I 平成25年5月 歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費	1
一 調査の概要	1
1 調査の対象	1
2 残存歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法	1
二 調査・分析結果	3
A 平成25年5月 歯科受診者の属性	3
(1) 性別・年齢階級別の構成	3
(2) 対象者の残存歯数の状況	3
2-1 年齢階級別残存歯数階級別人数	3
2-2 年齢階級別残存歯数状況	4
(3) 対象者の歯周病の状況	5
3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数	5
3-2 年齢階級別歯周病の状況	5
(4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況	6
4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数	6
B 平成25年5月に歯科を受診し、平成 24 年 5,8,11,平成 25 年 2 月に受診した者の状況	7
1 分析対象者および分析方法	7
2 分析項目	7
3 分析結果	9
(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別 一人あたり日数・診療費の状況	9
残存歯数別日数	9
歯周病の程度別日数	10
歯科健診受診頻度別日数	11
現在歯数別診療費	12
歯周病の程度別診療費	14
歯科健診受診頻度別診療費	16
(2) 19 分類別の分析	18
残存歯数別19分類疾病別日数	18
歯周病の程度別19分類疾病別日数	19
歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数	20
現在歯数別19分類疾病別診療費	21
歯周病の程度別19分類疾病別診療費	22
歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費	23
(3) 主要疾病別分析	24
悪性新生物	24
虚血性心疾患	27
脳血管疾患	30
糖尿病	33
高血圧性疾患	36
肺炎	39
歯の疾患	42
(4) 生活習慣病に関する分析	45
まとめ・考察(Ⅰ)	51

Ⅱ 平成24年度特定健診受診者の特定健診結果	54
一 調査の概要	54
1 分析対象者および分析方法	54
二 調査・分析結果	55
A 平成24年度特定健診受診者の属性	55
(1) 性別・年齢階級別の構成	55
(2) 対象者の歯科階層化判定の状況	55
(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況	56
(4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況	57
B 平成24年度特定健診受診者の特定健診結果の状況	58
(1) 定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目1回答別、特定健診結果の状況	58
1-1 歯科階層化判定別 BMI	58
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI	59
1-3 歯科質問項目5×7回答別 BMI	60
1-4 歯科階層化判定別 腹囲	61
1-5 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲	62
1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲	63
1-7 歯科階層化判定別 HbA1c	64
1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c	65
1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c	66
1-10 歯科階層化判定別 尿糖	67
1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖	68
1-12 歯科質問項目5×7 尿糖	69
1-13 歯科階層化判定別 喫煙	70
1-14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙	71
1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙	72
1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分	73
1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分	74
1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分	75
まとめ・考察(Ⅱ)	76
Ⅲ 平成24年度特定健診受診者のうち平成23年5, 8, 11, 平成24年2月に受診した者の状況	78
一 調査の概要	78
1 分析対象者および分析方法	78
2 分析項目	78
二 調査・分析結果	79
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	79
1-1 歯科階層化判定別日数	79
1-2 歯科階層化判定別診療費	80
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	81
2-1 歯科質問項目1別日数	81
2-2 歯科質問項目1別診療費	82
(3) 歯科質問項目5×7回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況	83
3-1 歯科質問項目5×7回答別日数	83
3-2 歯科質問項目5×7別診療費	84

(4) 主要疾病別分析	85
悪性新生物	85
虚血性心疾患	88
脳血管疾患	91
糖尿病	94
高血圧性疾患	97
動脈硬化症	100
肺炎	103
歯の疾患	106
(5) 生活習慣病に関する分析	109
まとめ・考察(Ⅲ)	112
IV 平成 24 年度特定健診受診者のうち平成 25 年 5 月に歯科を受診した者の状況	114
一 調査の概要	114
1 分析対象者および分析方法	114
二 調査・分析結果	115
A 特定健診の歯科質問項目と残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況	115
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・	
歯科健診受診頻度の状況	115
1-1 歯科階層化判定別残存歯数	115
1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度	116
1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度	117
(2) 歯科質問項目 1 (何でもかんで食べられる) 別、残存歯数・歯周病の程度・	
歯科健診受診頻度の状況	118
2-1 歯科質問項目 1 別残存歯数	118
2-2 歯科質問項目 1 別歯周病の程度	119
2-3 歯科質問項目 1 別歯科健診受診頻度	120
(3) 歯科質問項目 5×7 別、残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況	121
3-1 歯科質問項目 5×7 別残存歯数	121
3-2 歯科質問項目 5×7 別歯周病の程度	122
3-3 歯科質問項目 5×7 別歯科健診受診頻度	123
B 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況	124
(1) 残存歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度とHbA1c	124
1-1 残存歯数とHbA1c	124
1-2 歯周病の程度とHbA1c	125
1-3 歯科健診受診頻度とHbA1c	126
まとめ・考察(Ⅳ)	127

I 平成25年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費

一 調査の概要

1 調査の対象

平成25年5月末日時点で香川県内の40歳以上の国民健康保険被保険者あるいは後期高齢者医療被保険者で、同月中に歯科を受診した者を調査対象とした。

分析は以下の視点で行った。なお分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、受診者1人あたりの諸数値を求めた。なお、個人コードは完全に数値化され、個人名等の特定は不可能な状態で分析を行った。

(A) 香川県歯科医師会会員の調査協力を得て、平成25年5月に歯科を受診した40歳以上の国民健康保険あるいは後期高齢者医療の被保険者のレセプトに記載された現在歯数と歯周病の程度、歯科健診受診頻度を基に、これらの状況を分析した。

(B) 香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成24年5月、8月、11月、平成25年2月診療分のレセプト(これらは疾病分類を行っている)を入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前約1年間の医科(入院・入院外)・歯科・調剤の日数・診療費及び19分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患等主要疾病、生活習慣病の日数・診療費と現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度との関連を分析した。今年度は新たに肺炎についても分析を行った。

以下の表に分析対象としたレセプト数(調剤を含む)と名寄せ人数等を示す。

平成 25 年 5 月診療分の歯科 〔(A)の視点の分析〕	レセプト数		17,887 件
平成 25 年 5 月に歯科受診者で、 平成 24 年 5, 8, 11,平成 25 年 2 月(病類月)診療分 〔(B)の視点の分析〕	レセプト数		164,409 件
	医 科	入院レセプト	1,960 件
		外来レセプト	86,837 件
	歯科レセプト		24,824 件
	調剤レセプト		50,788 件
	名寄せ人数		16,804 人
	歯科受診者の		93.9%

2 現在歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度の調査方法

① 現在歯数は、智歯は含み、C4は除外した。

現在歯数を基に「0～4 歯」「5～9 歯」「10～14 歯」「15 歯～19 歯」「20 歯以上」の5分類で分析した。

② 歯周病の程度は、抜歯部位以外の最も重症な部位について、下の判定表を参考に、歯槽骨の吸収程度(X線撮影)、歯周ポケットの深さ、歯の動揺度(Miller分類)、根分岐部病変(Lindhe分類)などを総合的に考慮して4段階に分類した。

歯周病のないものはP-を記載し、軽度P1、中程度P2、重度P3と記載した。現在歯数が0のものは歯周病の程度は記載せず、集計時に無歯とし、P-～P3ならびに無歯の5分類で分析した。

歯周病	ポケット	歯の動揺	骨吸収(歯根長の)	根分岐病変
軽度「P1」	3～5mm	0～1度	1/3 以下	なし
中等度「P2」	4～7mm	1～2 度	1/3～1/2	軽度
重度「P3」	6mm以上	2～3 度	1/2 以上	2～3 度

- ③ 歯科健診受診頻度は、平成 23 年 6 月～平成 24 年 5 月に歯科健診を受診した回数を記載した。歯科健診とは、治療目的ではなく歯の健康維持のため歯科医院等で口腔内診査を受け、状況に応じて指導やPMTTC等のメンテナンスを行っていることで、歯周治療終了後のSPTも含めた。また、1回の歯科健診で、一連の処置等により複数の受診日数がある場合でも、歯科健診の回数としては1回と数えた。

二 調査・分析結果

A 平成 25 年 5 月歯科受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった歯科受診者 17,887 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40 歳 代	307	4.1%	352	3.4%
50 歳 代	440	5.9%	673	6.5%
60-64 歳	877	11.7%	1,327	12.8%
65-69 歳	1,405	18.7%	1,789	17.2%
70-74 歳	1,513	20.1%	1,870	18.0%
75-79 歳	1,481	19.7%	1,963	18.9%
80 歳 以上	1,489	19.8%	2,401	23.1%
合 計	7,512	100.0%	10,375	100.0%

(2) 対象者の残存歯数の状況

2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数

年齢階級別現在歯数について人数ならびに割合を表 A-2-1 および図 A-2-1 に示す。

40 歳代では 0-4 歯が 0%、20 歯以上が 95.6%であるのに対して、80 歳以上では 0-4 歯が 20.9%、20 歯以上が 32.8%と年齢が高くなるにつれて、現在歯数が減少していた。

表 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数

年齢階級	0-4 歯	5-9 歯	10-14 歯	15-19 歯	20 歯以上	総数
40 歳 代	0	9	8	12	630	659
50 歳 代	13	23	44	76	957	1,113
60-64 歳	48	77	151	270	1,658	2,204
65-69 歳	110	173	248	433	2,230	3,194
70-74 歳	169	268	382	499	2,065	3,383
75-79 歳	331	383	439	590	1,701	3,444
80 歳 以上	814	598	587	616	1,275	3,890
合 計	1,485	1,531	1,859	2,496	10,516	17,887
40 歳 代	0.0%	1.4%	1.2%	1.8%	95.6%	100.0%
50 歳 代	1.2%	2.1%	4.0%	6.8%	86.0%	100.0%
60-64 歳	2.2%	3.5%	6.9%	12.3%	75.2%	100.0%
65-69 歳	3.4%	5.4%	7.8%	13.6%	69.8%	100.0%
70-74 歳	5.0%	7.9%	11.3%	14.8%	61.0%	100.0%
75-79 歳	9.6%	11.1%	12.7%	17.1%	49.4%	100.0%
80 歳 以上	20.9%	15.4%	15.1%	15.8%	32.8%	100.0%
合 計	8.3%	8.6%	10.4%	14.0%	58.8%	100.0%

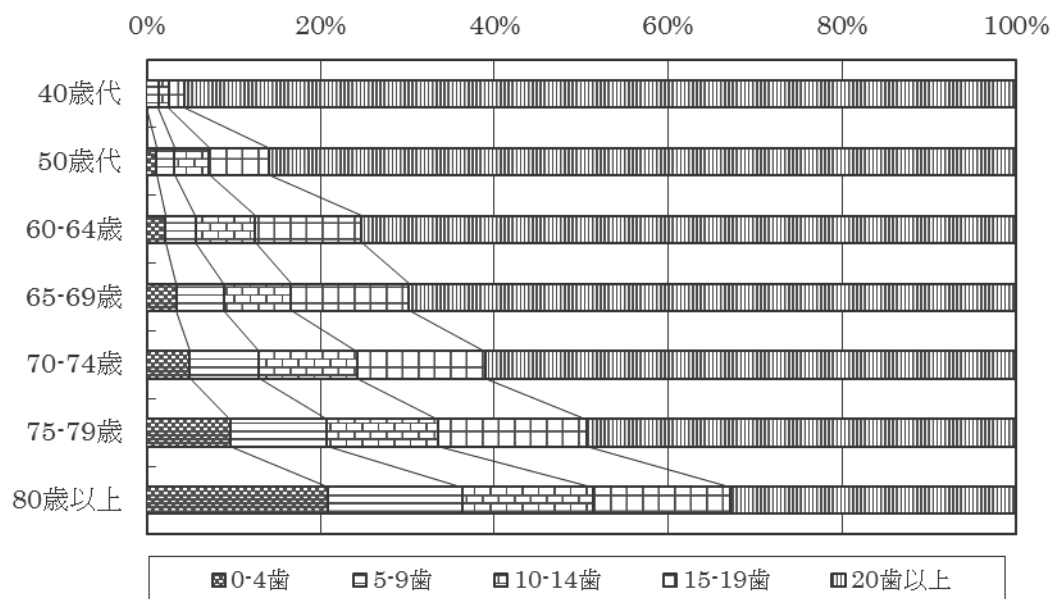


図 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数の割合

2-2 年齢階級別現在歯数状況

対象者のうち 80 歳以上(3,890 人)の平均現在歯数は 13.6 本で、20 歯以上(8020 達成者)は 1,275 人(32.8%)であった。80 歳以上の平均現在歯数は、平成 17 年 2 月調査では 10.6 本、平成 19 年 2 月調査では 11.7 本、平成 20 年 5 月調査では 12.5 本、平成 21 年 5 月調査では 11.8 本、平成 22 年 5 月調査では 12.6 本、平成 23 年 5 月調査では 14.4 本、平成 24 年 5 月調査では 13.4 本であったが、今回の調査では 13.6 本で、昨年より 0.2 本増加した。また 80 歳以上で 20 歯以上の割合は、平成 17 年 2 月調査では 19.7%、平成 19 年 2 月調査では 22.7%、平成 20 年 5 月調査では 24.9%、平成 21 年 5 月調査では 24.8%、平成 22 年 5 月調査では 27.0%、平成 23 年 5 月調査では 31.1%、平成 24 年 5 月調査では 30.3%であったが、今回の調査では 32.8%となり、過去最高となった。

79 歳以下の年齢階級においても、平均現在歯数は全年齢階級で、20 歯以上の割合は 70-74 歳以外で昨年より増加し、全体的にも着実に改善されている。

表 A-2-2 年齢階級別現在歯数状況

年齢	人数	平均 現在歯数	最小値	最大値	人数		割合	
					0-19歯	20歯以上	0-19歯	20歯以上
40 歳 代	659	26.4	7	32	29	630	4.4%	95.6%
50 歳 代	1,113	24.5	0	32	156	957	14.0%	86.0%
60-64 歳	2,204	22.4	0	32	546	1,658	24.8%	75.2%
65-69 歳	3,194	21.4	0	32	964	2,230	30.2%	69.8%
70-74 歳	3,383	19.9	0	32	1,318	2,065	39.0%	61.0%
75-79 歳	3,444	17.6	0	32	1,743	1,701	50.6%	49.4%
80 歳 以上	3,890	13.6	0	32	2,615	1,275	67.2%	32.8%
合 計	17,887	19.2	0	32	7,371	10,516	41.2%	58.8%

(3) 対象者の歯周病の状況

3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級別歯周病の程度について人数ならびに割合を表 A-3-1 および図 A-3-1 に示す。

表 A-3-1 の下段には無歯を除いた者のうちの P- ～P3 の割合を示している。

40 歳代では P1(軽度)が 51.0%、P3(重度)が 13.4%であるのに対して、80 歳以上では P1 が 25.6%、P3 が 18.3%と年齢が高くなるにつれて、歯周病の程度が重症になっていた。

表 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級	P-	P1	P2	P3	P1～P3(再掲)	無歯	総数
40 歳 代	4	336	231	88	655	0	659
50 歳 代	3	445	494	165	1,104	6	1,113
60-64 歳	2	727	1,022	430	2,179	23	2,204
65-69 歳	4	1,020	1,487	646	3,153	37	3,194
70-74 歳	2	972	1,686	661	3,319	62	3,383
75-79 歳	4	920	1,758	624	3,302	138	3,444
80 歳 以上	1	885	1,937	633	3,455	434	3,890
合 計	20	5,305	8,615	3,247	17,167	700	17,887
40 歳 代	0.6%	51.0%	35.1%	13.4%	99.4%		
50 歳 代	0.3%	40.2%	44.6%	14.9%	99.7%		
60-64 歳	0.1%	33.3%	46.9%	19.7%	99.9%		
65-69 歳	0.1%	32.3%	47.1%	20.5%	99.9%		
70-74 歳	0.1%	29.3%	50.8%	19.9%	99.9%		
75-79 歳	0.1%	27.8%	53.2%	18.9%	99.9%		
80 歳 以上	0.0%	25.6%	56.0%	18.3%	100.0%		
合 計	0.1%	30.9%	50.1%	18.9%	99.9%		

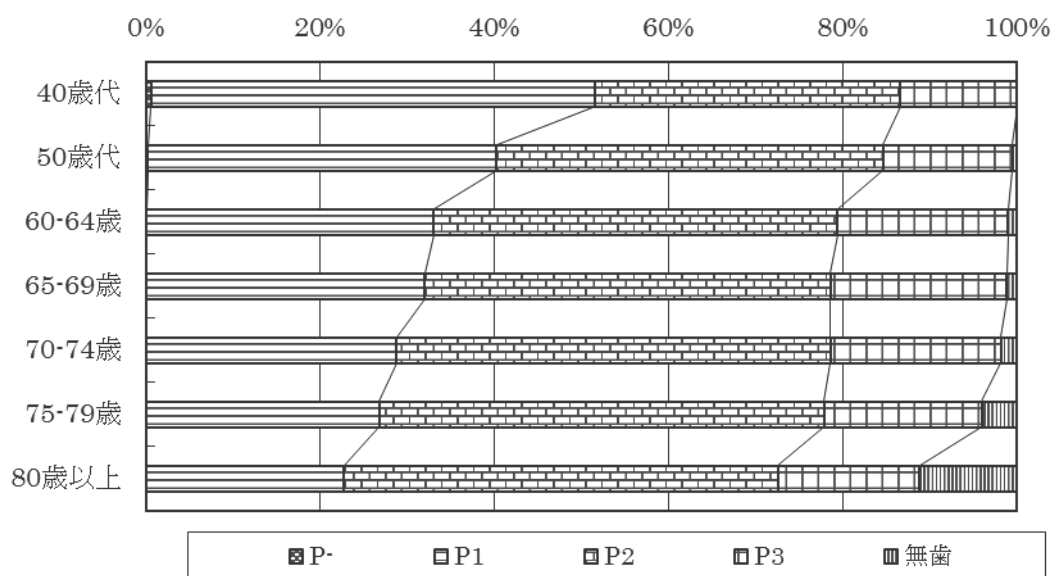


図 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別割合

3-2 年齢階級別歯周病の状況

有歯者のうち何らかの歯周病がある者(P1～P3)は、全ての年齢階級で、99%以上とほぼすべての人に歯周病があった。年齢階級別歯周病の程度別割合は、昨年と比較して全体 P2～P3 の割合が増加し、歯周病が重症化していた。

(4) 対象者の歯科健診受診頻度の状況

4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級別歯科健診受診頻度について人数ならびに割合を表 A-4-1 および図 A-4-1 に示す。歯科健診を受診していない人の割合は 70-74 歳の年齢階級が 51.6%と最も少なく、40 歳代が 69.0%で最も多かった。歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳が高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて、少しずつ減少していた。

歯科健診を受診している人の割合は、平成 21 年が 37.5%、平成 22 年が 39.7%、平成 23 年が 41.1%、平成 24 年が 43.3%と年々増加していたが、今回は 41.9%と昨年より減少した。

表 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級	0回	1回	2回	3回以上	総数
40 歳 代	455	75	51	78	659
50 歳 代	696	151	58	208	1,113
60-64 歳	1,210	306	196	492	2,204
65-69 歳	1,715	421	304	754	3,194
70-74 歳	1,747	501	321	814	3,383
75-79 歳	1,965	423	322	734	3,444
80 歳 以上	2,604	415	276	595	3,890
合 計	10,392	2,292	1,528	3,675	17,887
40 歳 代	69.0%	11.4%	7.7%	11.8%	100.0%
50 歳 代	62.5%	13.6%	5.2%	18.7%	100.0%
60-64 歳	54.9%	13.9%	8.9%	22.3%	100.0%
65-69 歳	53.7%	13.2%	9.5%	23.6%	100.0%
70-74 歳	51.6%	14.8%	9.5%	24.1%	100.0%
75-79 歳	57.1%	12.3%	9.3%	21.3%	100.0%
80 歳 以上	66.9%	10.7%	7.1%	15.3%	100.0%
合 計	58.1%	12.8%	8.5%	20.5%	100.0%

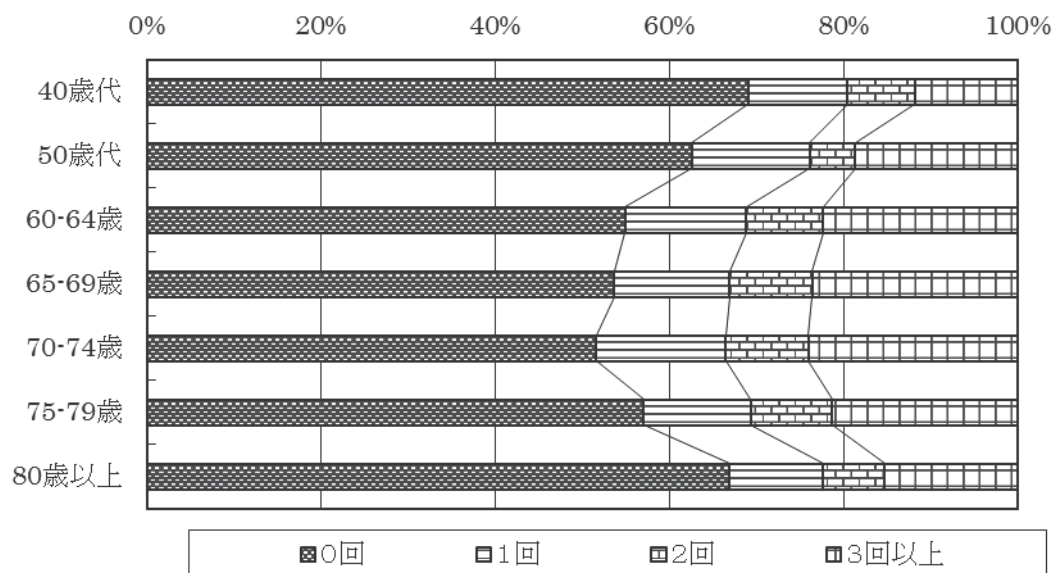


図 A-4-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別割合

B 平成 25 年 5 月に歯科を受診し、平成 24 年 5, 8, 11, 平成 25 年 2 月に受診した者の状況

1 分析対象者および分析方法

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、この 4 か月分のレセプトを用いて以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 疾病 19 分類

疾病 19 分類に調剤を加えた 20 分類で分析した。

下表に 19 分類名および本報告書での表記について記した。

疾病 19 分類＋調剤	本報告での表記	対象者(人)
調剤	0_調剤	12,803
感染症及び寄生虫症	1_感染症	1,339
新生物	2_新生物	1,764
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3_血液・免疫	126
内分泌、栄養及び代謝疾患	4_内分泌	3,179
精神及び行動の障害	5_精神	954
神経系の疾患	6_神経系	1,081
眼及び付属器の疾患	7_眼	4,264
耳及び乳様突起の疾患	8_耳	874
循環器系の疾患	9_循環器系	6,539
呼吸器系の疾患	10_呼吸器系	2,670
消化器系の疾患	11_消化器系	12,407
皮膚及び皮下組織の疾患	12_皮膚	2,083
筋骨格系及び結合組織の疾患	13_筋骨格系	4,942
尿路性器系の疾患	14_尿路性器系	1,427
妊娠、分娩及び産じょく	15_妊娠分娩	5
周産期に発生した病態	16_周産期	0
先天奇形、変形及び染色体異常	17_先天奇形	46
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18_症状・徴候	1,599
損傷、中毒及びその他の外因の影響	19_損傷・中毒	1,871

なお、15_妊娠分娩、16_周産期は該当が少数あるいは 0 だったため分析から除外した。

(3) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。なお、今年度から肺炎を分析項目に加えた。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	1,373
虚血性心疾患	1,286
脳血管疾患	924
糖尿病	1,489
高血圧性疾患	4,508
動脈硬化症	0
肺炎	93
歯の疾患	11,546

なお、今年度は動脈硬化症は0だったため分析から除外した。

(4) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物 虚血性心疾患 脳血管疾患
糖尿病 高血圧性疾患

生活習慣病で受診した者は7,883人(46.9%)であった。

現在歯数、歯周病の程度、受療状況等は年齢にも大きく依存するため、主要疾病と生活習慣病の分析では、年齢階級別に分析した。

3 分析結果

(1) 現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

現在歯数別日数(一人あたり1年間、日)

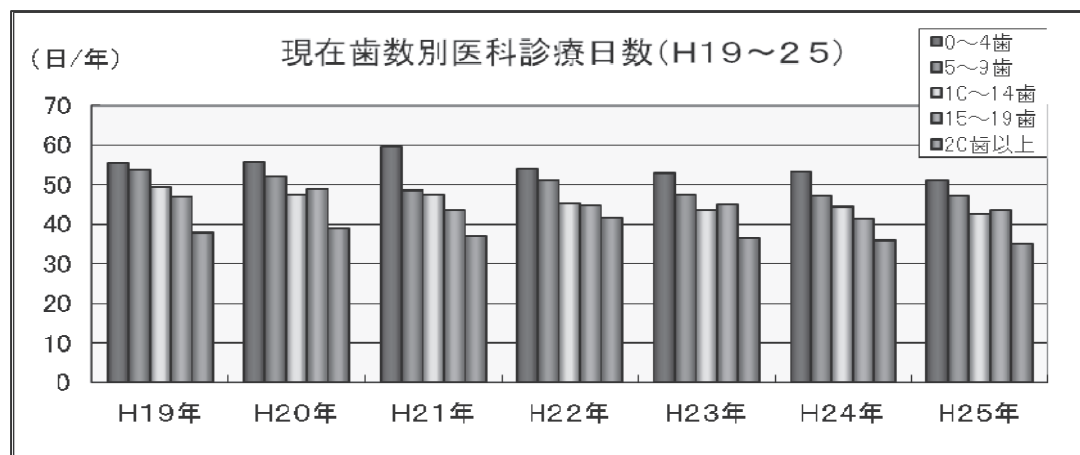
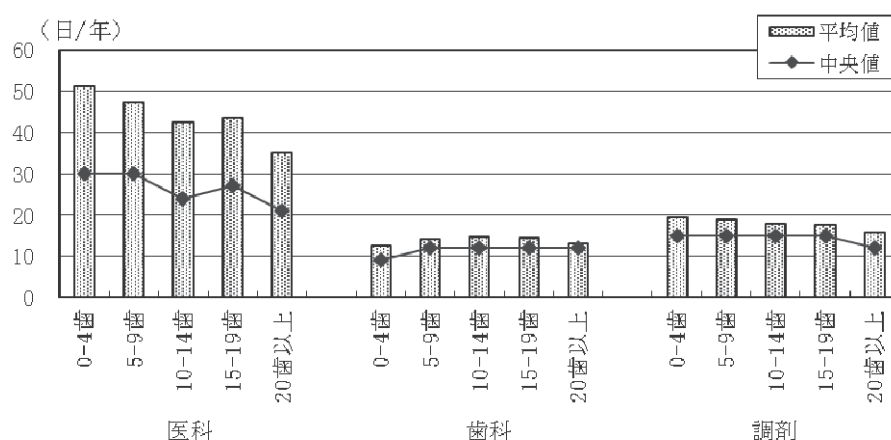
全体の平均日数は医科 39.6 日で、歯科の 13.6 日に比べて 26 日長くなっていた。また、調剤は 16.9 日で歯科よりも多くなっていた。

医科では 0-4 歯の平均日数が 51.1 日、20 歯以上が 35.0 日と、現在歯数が多いほど日数が少なくなっていた。歯科では 10-14 歯が平均 14.6 日と最も日数が多くなっていた。

調剤では 0-4 歯が平均 19.5 日、20 歯以上が 15.7 日と、現在歯数が多いほど日数が少なくなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが多くなっていた。これらの傾向は、平成 19～24 年の調査と同じである。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,430	51.1	30.0	12.6	9.0	19.5	15.0
5 - 9 歯	1,476	47.2	30.0	14.1	12.0	18.8	15.0
10 - 14 歯	1,785	42.4	24.0	14.6	12.0	17.9	15.0
15 - 19 歯	2,398	43.6	27.0	14.5	12.0	17.6	15.0
19 歯以下 (A)	7,123	45.6	27.0	14.1	12.0	18.4	15.0
20 歯以上 (B)	9,681	35.0	21.0	13.2	12.0	15.7	12.0
全 体	16,804	39.6	24.0	13.6	12.0	16.9	12.0
比 較 (A)/(B)	73.6%	130.5%	128.6%	106.9%	100.0%	117.1%	125.0%



平成 19～25 年調査別 現在歯数別診療日数(医科)

歯周病の程度別日数(一人あたり1年間、日)

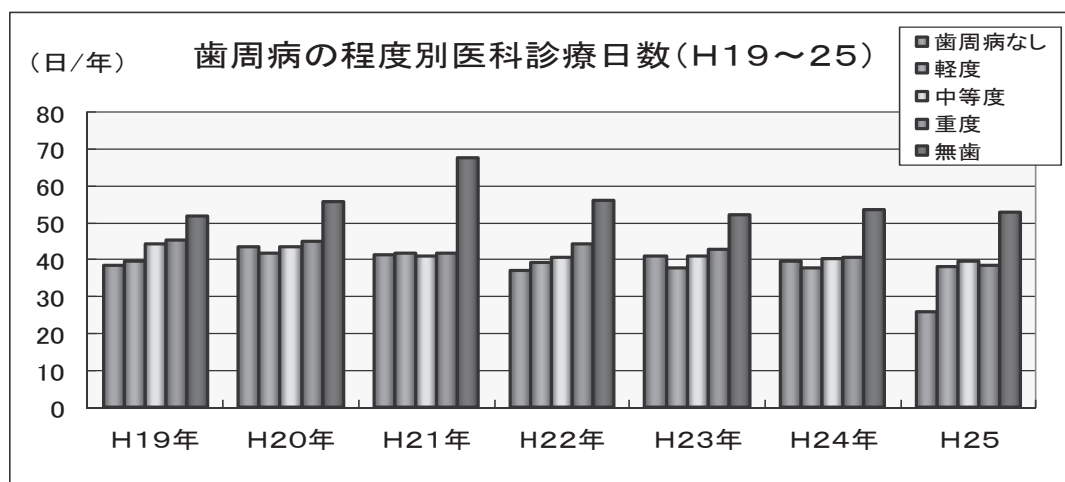
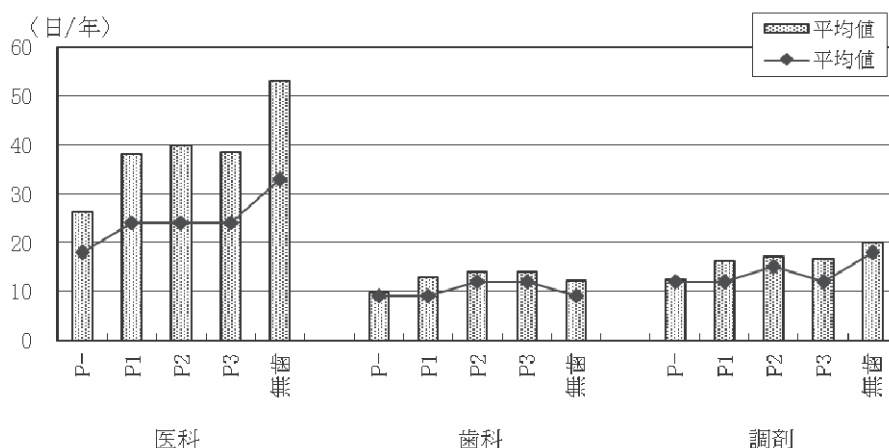
医科ではP- の平均日数が26.1日、P1が38.1日、P2が39.8日と、重度になるほど日数が多くなり、P3は38.4日とやや少なくなっていた。

歯科ではP- が平均9.7日、P3が14.0日と、重度ほど日数が多くなっていた。

調剤ではP- が平均12.3日、P1が16.3日、P2が17.0日と、重度になるほど日数が多くなり、P3は16.6日とやや少なくなっていた。

歯周病あり・なしでは、歯周病ありが歯周病なしに比べて医科で約1.5倍、歯科で約1.4倍、調剤で約1.35倍多くなっていた。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なしP-	17	26.1	18.0	9.7	9.0	12.3	12.0
P1	4,918	38.1	24.0	12.8	9.0	16.3	12.0
P2	8,144	39.8	24.0	13.9	12.0	17.0	15.0
P3	3,054	38.4	24.0	14.0	12.0	16.6	12.0
歯周病有り(A)	16,116	39.0	24.0	13.6	12.0	16.7	12.0
無 歯	671	53.1	33.0	12.2	9.0	20.0	18.0
全 体	16,804	39.6	24.0	13.6	12.0	16.9	12.0
比較(A)/(P-)	94800.0%	149.3%	133.3%	140.7%	133.3%	135.9%	100.0%



平成 19~25 年調査別 歯周病の程度別診療日数(医科)

歯科健診受診頻度別日数(一人あたり1年間、日)

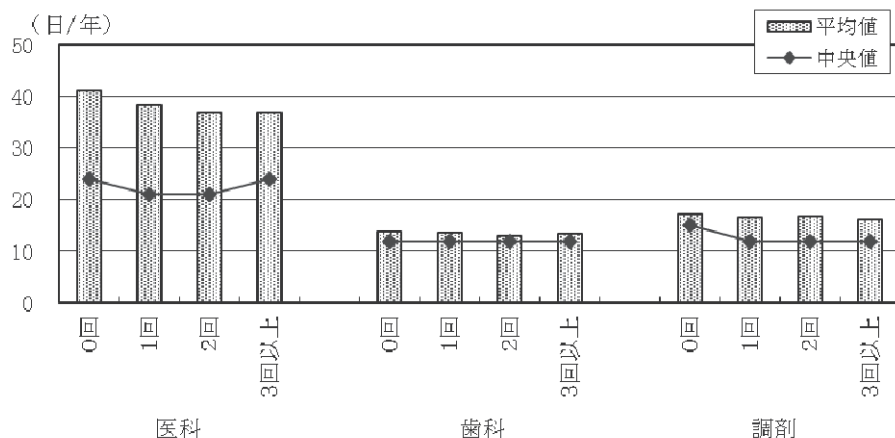
医科では健診なしの平均日数が 41.2 日、1 回が 38.4 日、2 回が 36.9 日、3 回以上では 36.9 日と歯科健診を受診するほど日数が少なくなっていた。

歯科では健診なしが 13.8 日、1 回が 13.5 日で、2 回が 12.9 日と歯科健診を受診するほど日数が少なくなり、3 回以上が 13.4 日と 2 回より多くなっていた。

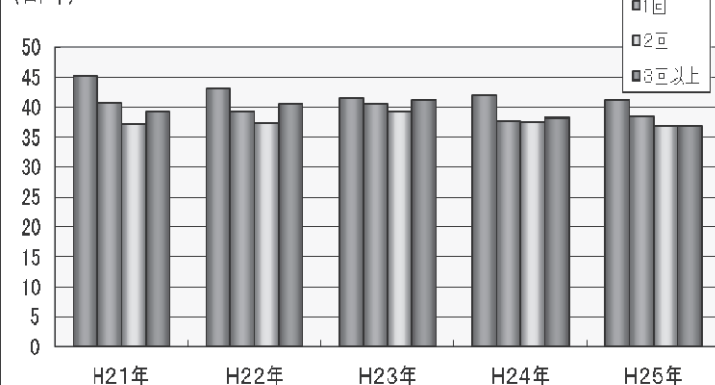
調剤では健診なしが 17.2 日で最も多く、3 回以上が 16.1 日と最も少なくなっていた。

健診あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも、健診ありの方が少なくなっていた。

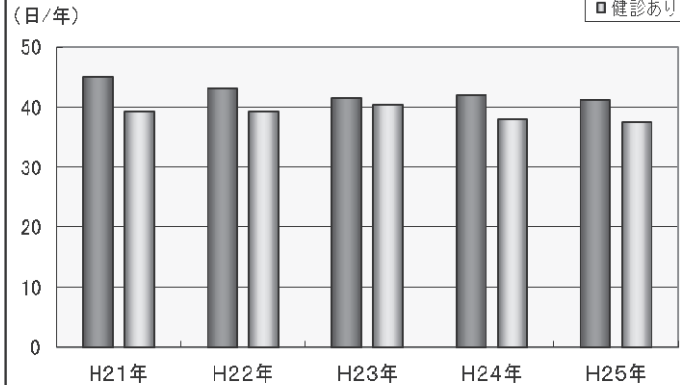
健 診 頻 度	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	9,660	41.2	24.0	13.8	12.0	17.2	15.0
1 回	2,149	38.4	21.0	13.5	12.0	16.6	12.0
2 回	1,456	36.9	21.0	12.9	12.0	16.8	12.0
3 回以上	3,539	36.9	24.0	13.4	12.0	16.1	12.0
健 診 有 り (B)	7,144	37.4	24.0	13.3	12.0	16.4	12.0
全 体	16,804	39.6	24.0	13.6	12.0	16.9	12.0
比 較 (A)/(B)	135.2%	110.2%	100.0%	103.5%	100.0%	105.2%	125.0%



(日/年) 歯科健診受診頻度別医科診療日数(H21~25)



(日/年) 歯科健診受診有無別医科診療日数(H21~25)



平成 21～25 年調査別 歯科健診受診頻度別診療日数(医科)

平成 21～25 年調査別 歯科健診受診有無別診療日数(医科)

現在歯数別診療費(一人あたり1年間、円)

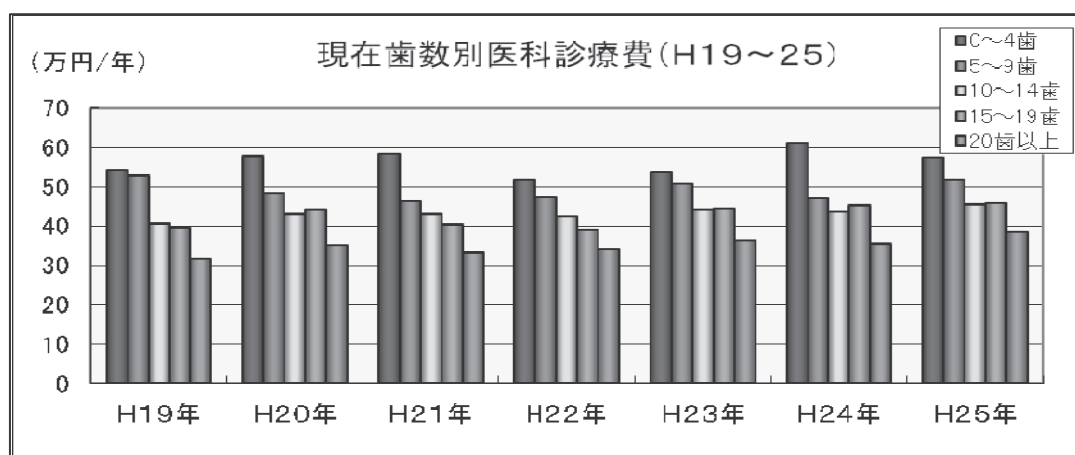
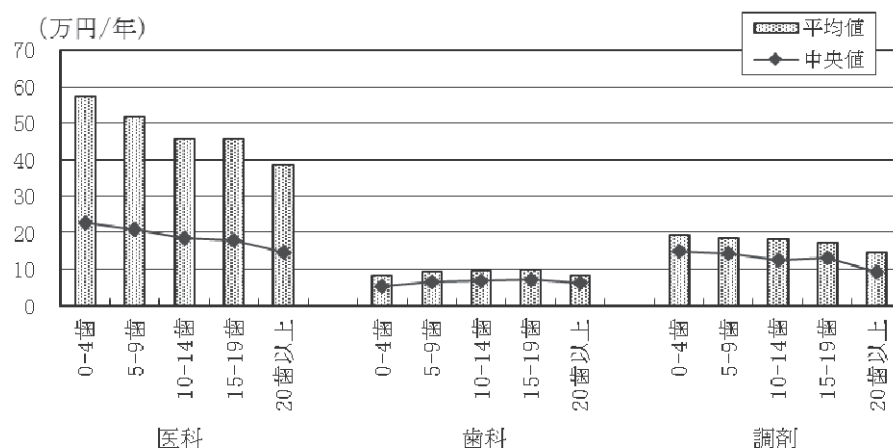
全体の平均診療費は医科約 43.3 万円で、歯科の約 8.7 万円に比べて約 34.6 万円高くなっていた。また、調剤は約 16.2 万円で歯科よりも約 7.5 万円高くなっていた。

医科では 0-4 歯の平均診療費が約 57.4 万円、20 歯以上が約 38.6 万円と、現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。歯科では 0-4 歯は平均約 8.4 万円、15-19 歯は約 9.7 万円であったが、20 歯以上は約 8.2 万円と低くなっていた。調剤では 0-4 歯が平均約 19.4 万円、20 歯以上が約 14.5 万円と、現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが高くなっていた。特に医科では 19 歯以下は 20 歯以上の約 1.3 倍高くなっていた。

これらの傾向は、平成 19～24 年の調査と同じである。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,430	574,316	225,390	84,620	53,250	193,503	149,280
5 - 9 歯	1,476	516,831	209,880	93,418	64,710	185,759	142,080
10 - 14 歯	1,785	456,246	184,545	95,891	67,740	183,324	125,820
15 - 19 歯	2,398	457,469	180,450	97,459	70,170	172,821	129,870
19 歯以下(A)	7,123	495,617	195,300	94,031	66,390	182,524	135,690
20 歯以上(B)	9,681	385,652	145,185	82,481	61,980	145,629	92,670
全 体	16,804	433,262	165,630	87,274	63,270	161,921	109,905
比 較 (A)/(B)	73.6%	128.5%	134.5%	114.0%	107.1%	125.3%	146.4%

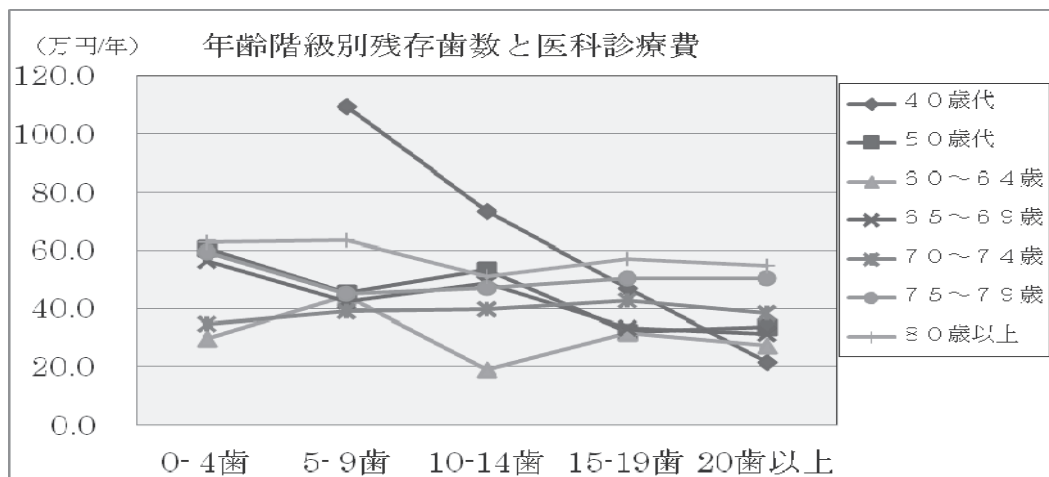


平成 19～25 年調査別 現在歯数別診療費(医科)

年齢階級別現在歯数別診療費（一人あたり一年間、円）

年齢階級別に現在歯数と診療費の関係をみると、医科では、40歳代の0歯の該当者が0人であるが、40歳代、50歳代では現在歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。年齢階級が高くなると、その傾向が弱くなっていた。

年齢階級	現在歯数分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0・4歯	0	-	-	-	-	-	-
	5・9歯	9	1,096,174	79,230	106,260	845,010	49,425	42,300
	10・14歯	8	735,866	104,975	245,495	158,070	78,285	84,585
	15・19歯	10	470,550	126,350	43,993	100,440	100,590	21,780
	20歯以上	518	217,545	73,519	143,013	74,085	55,920	45,255
50歳代	0・4歯	12	607,856	46,710	71,736	257,070	47,880	50,700
	5・9歯	19	455,672	144,792	91,767	131,610	105,360	69,510
	10・14歯	37	535,875	111,032	442,988	164,070	78,900	102,390
	15・19歯	65	320,182	85,355	111,760	121,335	55,920	77,085
	20歯以上	792	337,397	78,624	101,247	87,420	62,895	44,355
60-64歳	0・4歯	42	297,689	88,410	114,932	128,625	51,180	48,420
	5・9歯	68	443,194	96,432	120,742	105,060	66,900	85,005
	10・14歯	130	188,540	86,481	112,396	100,365	64,080	60,660
	15・19歯	235	316,332	89,625	120,506	107,340	65,280	71,760
	20歯以上	1,419	271,931	76,613	107,850	102,210	57,120	63,180
65-69歳	0・4歯	102	565,123	71,520	156,877	108,870	65,670	84,510
	5・9歯	162	425,600	90,587	133,014	148,110	58,020	99,150
	10・14歯	231	489,234	87,476	141,381	138,810	66,210	89,460
	15・19歯	407	331,975	89,493	138,593	131,790	61,065	90,150
	20歯以上	2,057	312,177	77,220	116,464	114,840	59,130	67,110
70-74歳	0・4歯	162	345,342	76,348	151,131	170,925	52,590	110,340
	5・9歯	253	391,374	85,461	158,494	150,870	56,520	120,630
	10・14歯	369	398,151	98,573	173,992	152,490	64,080	118,290
	15・19歯	486	427,839	102,562	161,413	163,020	69,660	116,370
	20歯以上	1,995	385,013	86,849	149,534	160,920	63,930	94,890
75-79歳	0・4歯	323	596,283	84,959	200,817	217,170	52,590	148,800
	5・9歯	372	452,019	95,380	200,554	229,695	67,980	149,340
	10・14歯	428	470,554	101,445	182,797	194,610	67,410	131,610
	15・19歯	584	505,783	100,809	186,136	208,410	75,930	141,180
	20歯以上	1,670	505,288	85,063	169,090	209,400	63,375	121,950
80歳以上	0・4歯	789	626,682	87,881	207,676	267,780	54,180	175,335
	5・9歯	593	633,988	95,070	209,914	268,080	66,420	173,880
	10・14歯	582	512,711	94,654	199,861	231,030	70,980	159,075
	15・19歯	611	570,450	99,375	209,328	260,490	74,070	174,030
	20歯以上	1,264	549,203	92,565	203,384	246,300	70,035	164,310



歯周病の程度別診療費（一人あたり１年間、円）

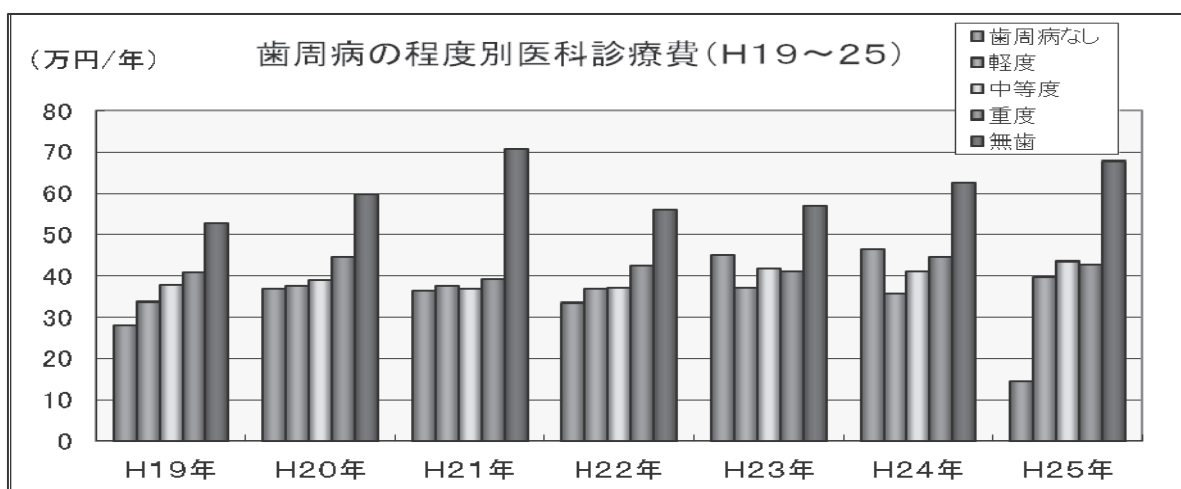
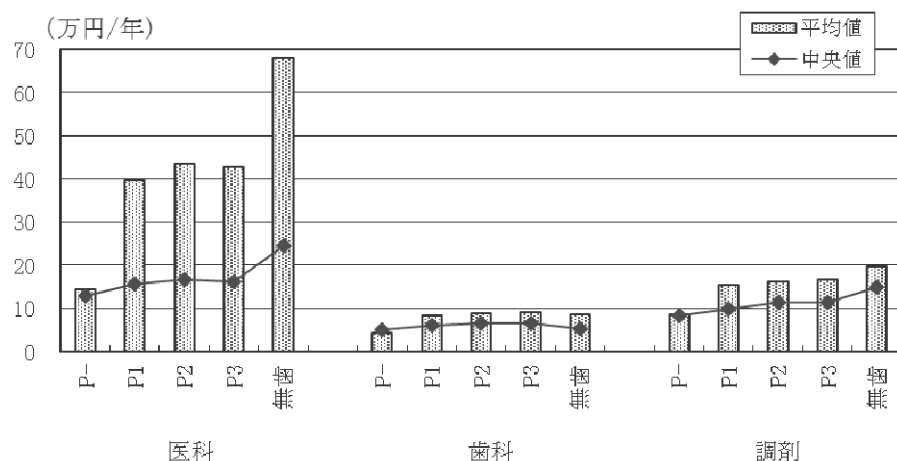
医科では P- の平均診療費は約 14.4 万円と低く、P1 が 39.7 万円、P2 が 43.6 万円と歯周病の程度が重度になるほど高くなり、P3 では 42.8 万円とやや低くなっていた。

歯科では P- が平均約 4.4 万円、P3 は約 9.2 万円と、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていた。

調剤では P- が平均約 8.6 万円、P1 が約 15.4 万円、P2 が約 16.2 万円、P3 は約 16.6 万円と歯周病の程度が重度になるほど高くなっていた。

歯周病あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも歯周病ありの方が高くなっていた。医科では、歯周病ありが歯周病なしの約 3 倍高くなっていた。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	17	144,741	129,570	43,857	49,920	86,214	82,755
P1	4,918	396,651	158,040	83,054	60,210	153,655	97,500
P2	8,144	436,410	166,860	87,892	64,800	162,184	113,790
P3	3,054	428,374	163,020	92,258	66,210	166,508	113,370
歯周病有り(A)	16,116	422,819	162,930	87,321	63,570	160,405	108,360
無 歯	671	679,682	246,510	86,842	52,590	197,495	149,280
全 体	16,804	433,262	165,630	87,274	63,270	161,921	109,905
比 較 (A)/(P-)	94800.0%	292.1%	125.7%	199.1%	127.3%	186.1%	130.9%

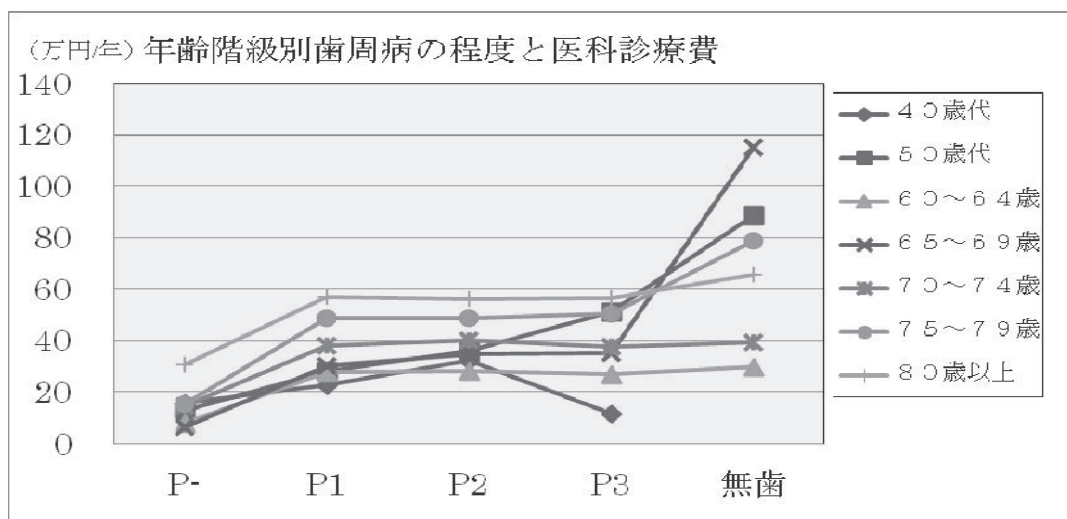


平成 19～25 年調査別 歯周病の程度別診療費(医科)

年齢階級別歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別に歯周病の程度と診療費の関係をみると、医科では、各年齢階級とも P- が最も低く、歯周病あり、無歯の順に高くなっていた。歯周病ありの中では、40 歳代は P3 がひくくなっていたが、その他の年齢階級では、P1、P2、P3 で大きな差はなかった。

年齢階級	歯周病分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	P-	3	158,780	31,260	58,840	129,630	17,100	49,500
	P1	278	228,288	71,800	97,091	73,635	54,270	38,550
	P2	187	322,797	78,235	195,964	76,920	56,220	50,175
	P3	77	118,363	80,942	172,234	85,800	61,545	40,650
	無歯	0	0	0	0	0	0	0
50歳代	P-	2	131,220	74,250	26,100	131,220	74,250	26,100
	P1	371	281,307	73,412	106,191	85,770	51,645	44,220
	P2	416	358,581	82,811	101,496	91,230	67,650	49,830
	P3	131	511,784	97,271	208,954	113,790	73,620	60,690
	無歯	5	889,388	47,325	50,700	139,470	47,325	50,700
60-64歳	P-	2	81,450	83,850	90,120	81,450	83,850	90,120
	P1	608	278,818	75,134	110,822	108,900	57,540	62,760
	P2	892	280,787	77,452	113,314	96,825	56,250	68,550
	P3	373	270,476	90,250	104,698	108,300	61,395	60,615
	無歯	19	300,611	121,807	78,184	74,280	110,310	28,725
65-69歳	P-	3	62,025	32,415	9,660	62,025	32,415	9,660
	P1	950	303,710	78,314	126,131	121,650	58,950	66,195
	P2	1,374	346,742	82,121	122,149	120,420	61,260	78,360
	P3	597	350,778	80,361	124,001	115,470	59,520	84,825
	無歯	35	1,151,571	60,120	130,508	113,265	61,800	84,510
70-74歳	P-	2	145,485	61,200	77,910	145,485	61,200	77,910
	P1	933	380,996	86,411	160,380	170,400	62,745	99,810
	P2	1,634	403,730	91,365	152,812	155,220	64,260	105,285
	P3	637	375,705	93,559	153,386	160,080	67,635	105,390
	無歯	59	391,709	66,244	137,926	169,395	44,310	98,190
75-79歳	P-	4	154,073	16,800	160,610	162,075	16,800	115,200
	P1	900	487,857	87,035	169,924	218,475	60,135	114,510
	P2	1,727	489,453	91,576	181,790	211,980	68,085	140,355
	P3	610	506,539	96,015	191,299	194,610	70,530	147,570
	無歯	136	789,574	93,227	179,069	214,905	51,180	116,760
80歳以上	P-	1	306,060	0	0	306,060	0	0
	P1	878	572,021	92,517	204,369	279,000	70,455	167,730
	P2	1,914	563,682	92,580	201,534	247,185	68,970	163,905
	P3	629	565,699	100,952	210,004	239,880	72,000	173,055
	無歯	417	657,585	87,971	221,650	283,740	53,175	195,840



歯科健診受診頻度別診療費(一人あたり1年間、円)

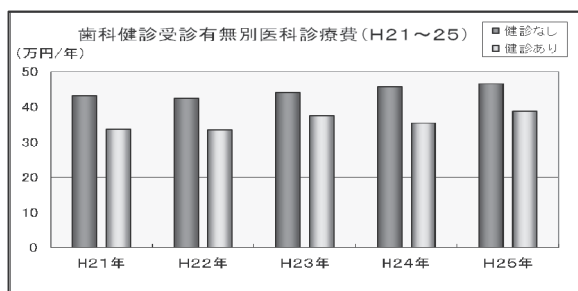
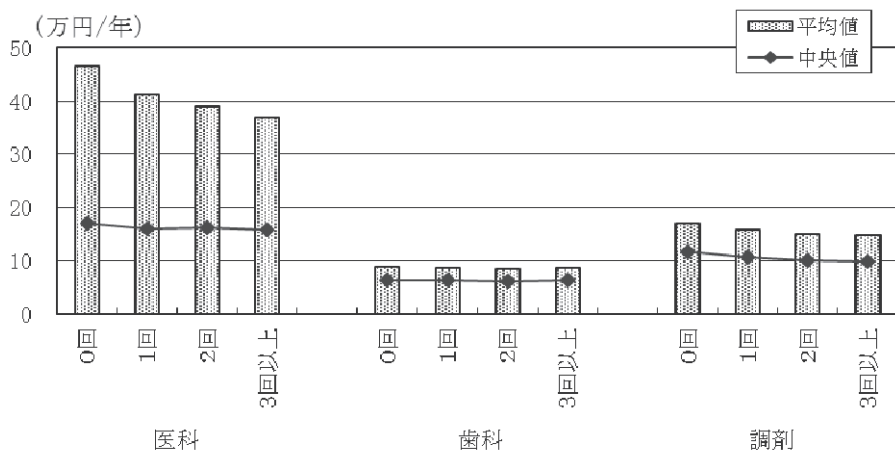
医科では健診なしの平均診療費が約46.7万円、1回が約41.3万円、2回が約38.9万円、3回以上が約37.0万円と歯科健診を受診するほど診療費が低くなっていた。

歯科では健診なしが平均約8.9万円、1回が約8.6万円、2回が約8.4万円と歯科健診を受診するほど低くなり、3回以上では約8.6万円と高くなっていた。

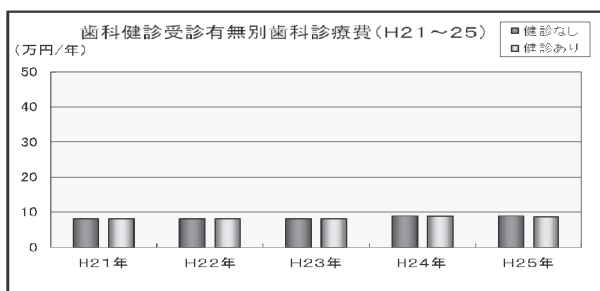
調剤では健診なしが平均約17.0万円、1回が約15.7万円、2回が約15.0万円、3回以上が約14.8万円と歯科健診を受診するほど低くなっていた。

健診あり・なしでは、医科、調剤では、健診ありの方が低くなっていた。

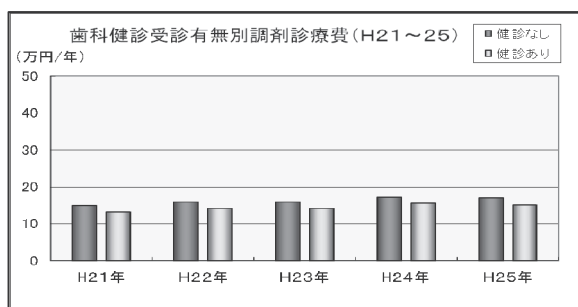
健診頻度	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	9,660	466,652	170,850	88,864	63,795	169,723	117,285
1回	2,149	413,314	159,780	86,341	63,420	157,427	107,430
2回	1,456	388,926	161,835	84,224	62,070	149,909	99,780
3回以上	3,539	370,226	158,070	85,976	63,210	147,804	97,995
健診有り(B)	7,144	387,159	159,360	85,735	63,000	151,185	101,040
全 体	16,804	433,262	165,630	87,274	63,270	161,921	109,905
比 較 (A)/(B)	135.2%	120.5%	107.2%	103.7%	101.3%	112.3%	116.1%



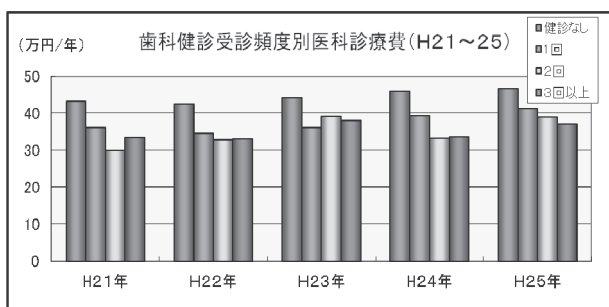
歯科健診受診有無別診療費(医科)



歯科健診受診有無別診療費(歯科)



歯科健診受診有無別診療費(調剤)

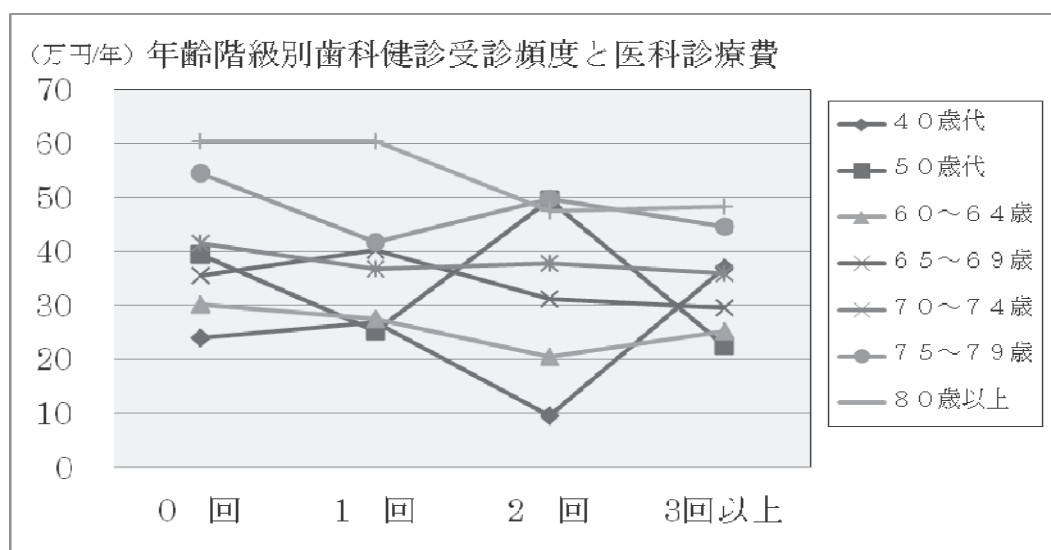


歯科健診受診頻度別診療費 (医科)

年齢階級別歯科健診受診頻度別診療費（一人あたり１年間、円）

年齢階級別に歯科健診受診頻度と診療費の関係をみると、医科では、50歳代と75～79歳の2回が高くなっていたが、その他の年齢階級では概ね、歯科健診なしが高く、1回、2回が低くなり、3回以上はやや高くなる傾向が認められた。

年齢階級	健診頻度	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0回	369	239,262	72,951	163,865	71,520	52,785	45,480
	1回	58	269,313	79,490	120,989	101,805	67,245	56,235
	2回	43	95,142	70,285	64,440	66,240	54,765	30,210
	3回	75	369,131	80,998	78,093	77,265	62,280	40,890
50歳代	0回	570	393,760	81,129	126,190	99,495	60,330	50,055
	1回	124	252,402	83,866	89,730	80,040	71,760	49,770
	2回	48	495,112	75,158	168,620	75,120	65,190	28,110
	3回	183	225,096	81,651	89,689	80,925	63,180	47,025
60-64歳	0回	1,013	302,258	84,200	113,976	103,365	62,310	68,400
	1回	270	275,012	75,414	109,487	97,575	55,680	59,835
	2回	179	205,711	68,692	94,612	89,220	51,210	54,300
	3回	432	252,247	79,086	108,698	111,330	57,150	62,115
65-69歳	0回	1,562	355,637	83,311	128,064	120,360	62,355	84,345
	1回	384	401,955	82,531	117,472	115,305	60,090	62,190
	2回	283	312,596	71,456	117,749	116,130	49,320	66,090
	3回	730	295,955	78,669	120,562	124,560	59,775	69,870
70-74歳	0回	1,668	416,043	90,187	166,071	164,490	61,800	113,145
	1回	486	367,481	93,708	153,267	150,420	63,630	100,920
	2回	310	378,012	92,757	142,020	162,975	67,860	96,990
	3回	801	359,416	87,054	136,892	153,225	64,905	90,645
75-79歳	0回	1,919	545,441	92,684	186,885	215,130	68,820	138,480
	1回	414	416,717	88,535	175,827	204,900	62,610	138,780
	2回	320	497,748	92,353	159,516	220,260	67,890	115,200
	3回	724	445,969	89,511	174,299	195,930	62,280	122,415
80歳以上	0回	2,559	603,732	94,220	206,711	256,770	66,300	169,140
	1回	413	604,877	87,786	214,127	268,965	68,910	179,460
	2回	273	475,552	91,890	206,466	238,320	69,825	169,935
	3回	594	482,931	96,106	194,646	247,980	75,375	157,260



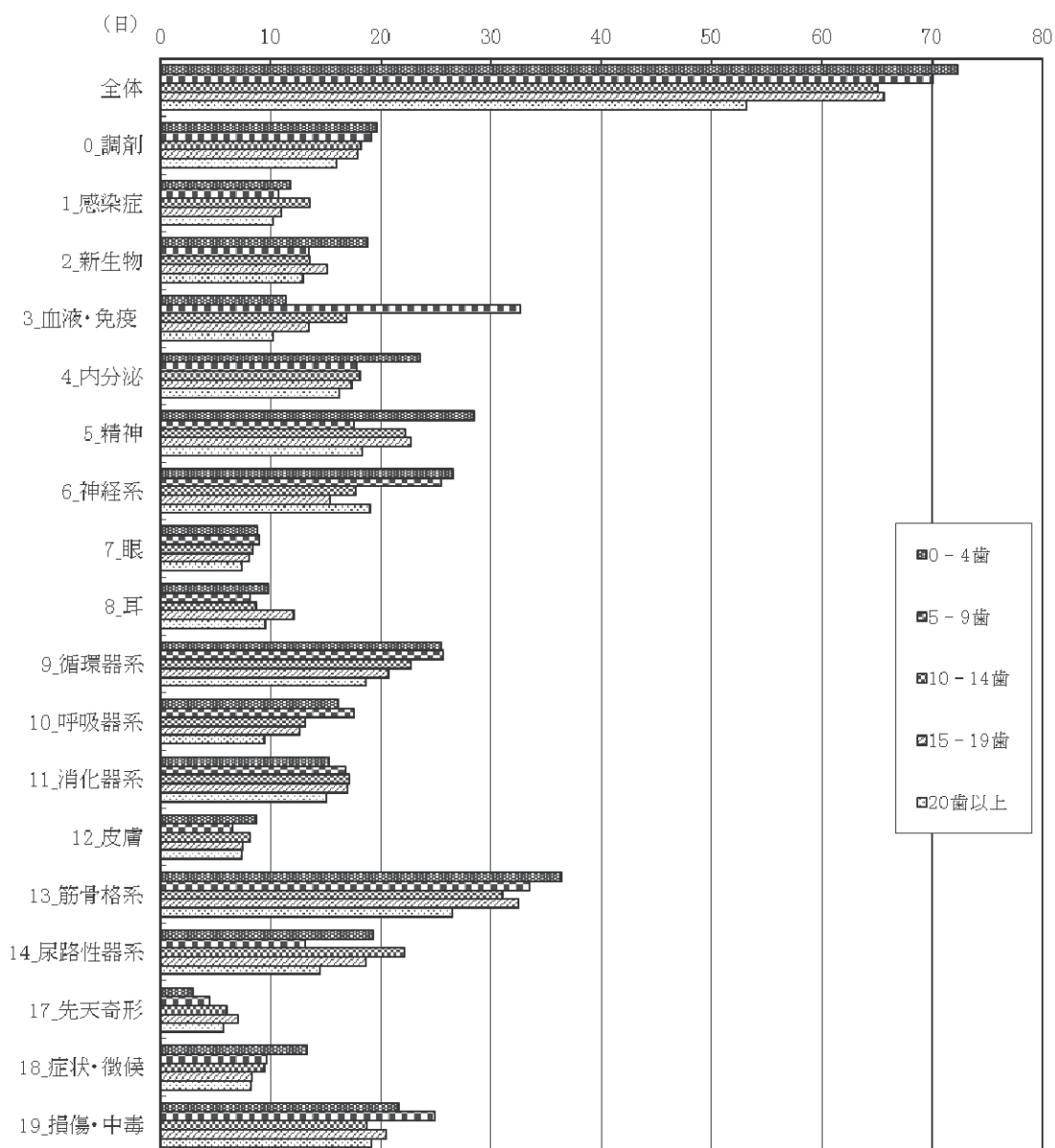
(2) 19 分類別の分析

現在歯数別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、現在歯数が多いほど診療日数が少なくなっており、0-4 歯は 72.3 日、20 歯以上は 53.2 日で 19.1 日多くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、循環器系、呼吸器系、皮膚、筋骨格系、症状・徴候で概ね現在歯数が多いほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0・4歯	72.3	19.7	11.8	18.9	11.3	23.5	28.4	26.6	8.8
5・9歯	70.0	19.1	10.8	13.5	32.7	17.9	17.6	25.5	8.9
10・14歯	65.0	18.2	13.6	13.6	16.9	18.1	22.2	17.8	8.5
15・19歯	65.6	17.9	11.0	15.1	13.5	17.4	22.7	15.4	8.1
20歯以上	53.2	16.0	10.2	12.9	10.3	16.2	18.3	19.0	7.4

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.8	25.5	16.1	15.3	8.7	36.4	19.3	3.0	13.3	21.6
8.1	25.6	17.5	16.9	6.6	33.5	13.1	4.5	9.6	25.0
8.7	22.7	13.1	17.1	8.1	31.0	22.2	6.0	9.4	18.7
12.1	20.7	12.7	17.0	7.5	32.5	18.7	7.0	8.4	20.5
9.5	18.6	9.4	15.1	7.4	26.5	14.5	5.8	8.3	19.1

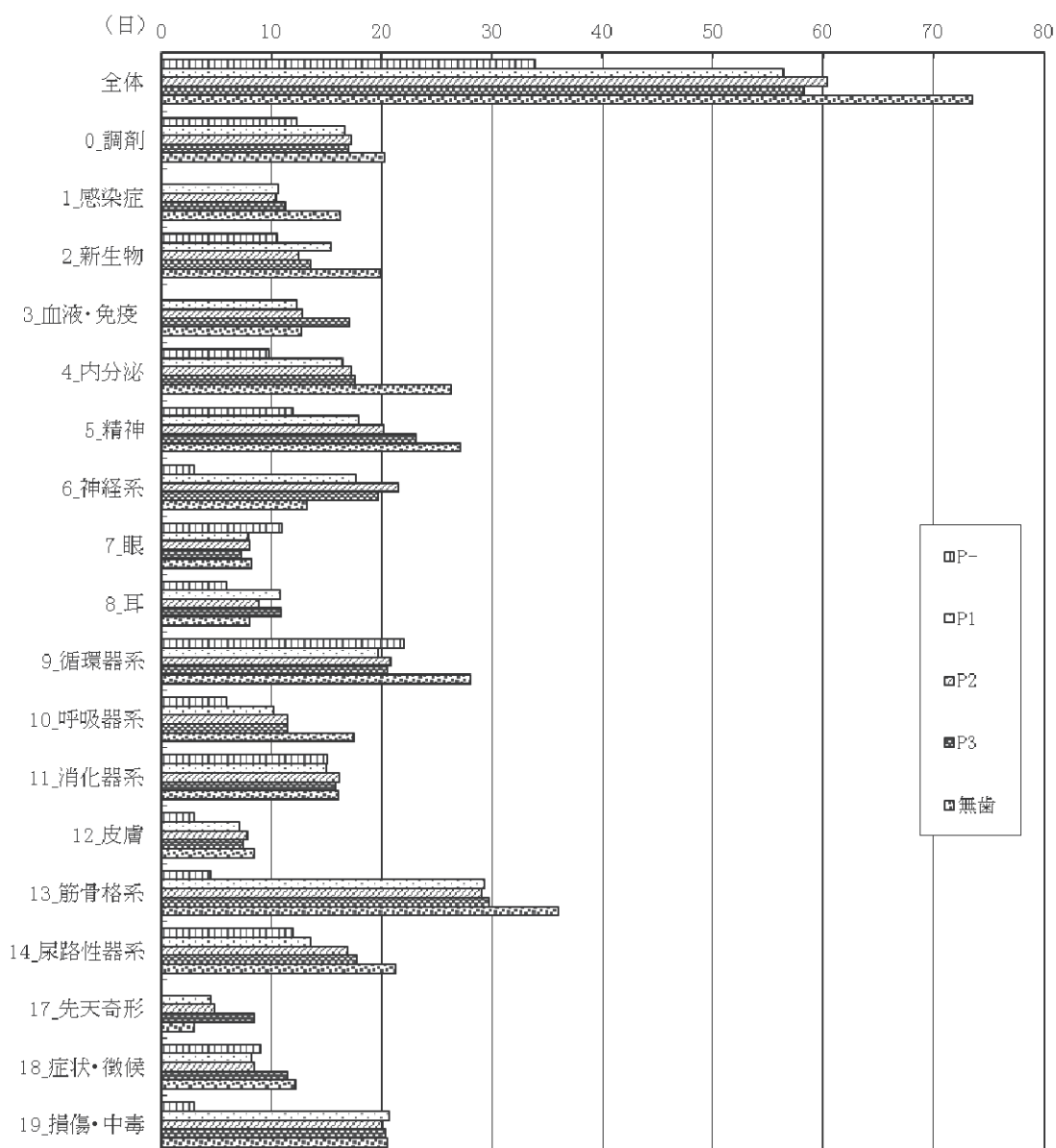


歯周病の程度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、P-が33.9日と少なく、歯周病ありと大きく差があった。歯周病ありではP1が56.4日、P2が60.3日と歯周病が重度になるほど多くなっていたが、P3は56.2日でやや少なくなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、内分泌、精神、呼吸器系、皮膚、筋骨格系、尿路性器系で歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	33.9	12.3	0.0	10.5	0.0	9.8	12.0	3.0	11.0
P1	56.4	16.6	10.6	15.4	12.2	16.4	17.9	17.6	7.9
P2	60.3	17.3	10.4	12.4	12.8	17.2	20.1	21.5	8.0
P3	58.2	17.0	11.3	13.6	17.1	17.5	23.1	19.7	7.2
無歯	73.6	20.3	16.3	19.9	12.8	26.2	27.1	13.1	8.2

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
6.0	22.0	6.0	15.0	3.0	4.5	12.0	0.0	9.0	3.0
10.8	19.7	10.2	15.0	7.0	29.3	13.5	4.5	8.1	20.7
8.8	20.8	11.5	16.2	7.9	29.1	16.9	4.9	8.4	20.0
10.9	20.5	11.4	15.7	7.4	29.7	17.7	8.5	11.4	20.3
8.0	28.0	17.4	16.1	8.5	36.0	21.3	3.0	12.2	20.5

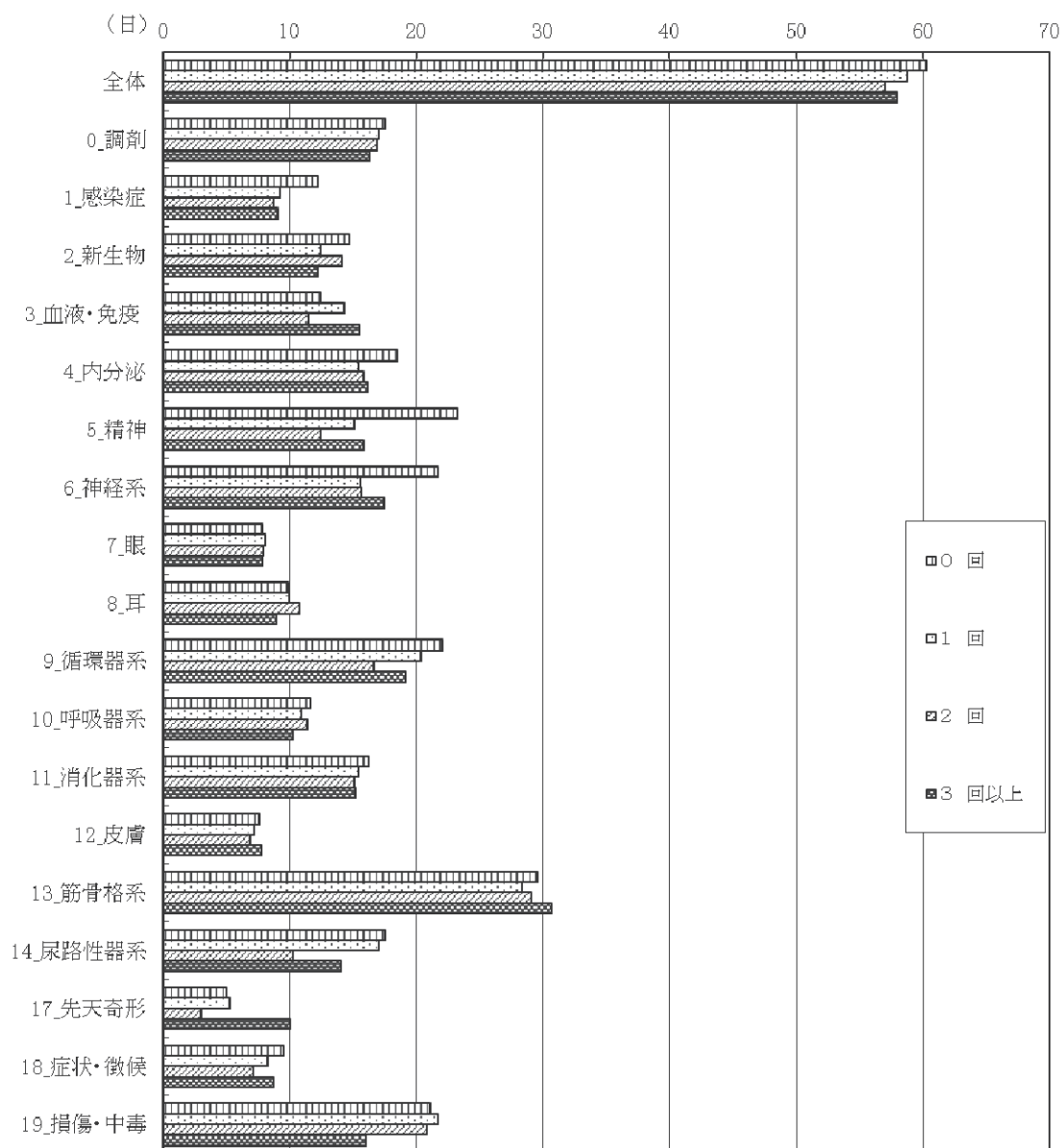


歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなり、3回以上では多くなっていた。健診なしは60.3日、2回は57.0日で、約3日多くなっていた。疾病分類別でも、調剤、感染症、精神、神経系、循環器系、消化器系、皮膚、尿路性器系、症状・徴候において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	60.3	17.5	12.2	14.7	12.4	18.5	23.3	21.7	7.8
1 回	58.7	17.0	9.2	12.4	14.3	15.5	15.1	15.6	8.1
2 回	57.0	16.9	8.7	14.1	11.4	15.8	12.5	15.7	7.9
3 回以上	58.0	16.3	9.1	12.2	15.5	16.1	15.8	17.5	7.8

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.9	22.0	11.6	16.3	7.6	29.5	17.5	5.0	9.6	21.0
9.9	20.3	10.9	15.4	7.2	28.3	17.1	5.3	8.3	21.8
10.7	16.7	11.4	15.1	6.9	29.1	10.3	3.0	7.1	20.9
9.0	19.2	10.2	15.2	7.8	30.7	14.1	10.0	8.8	16.0

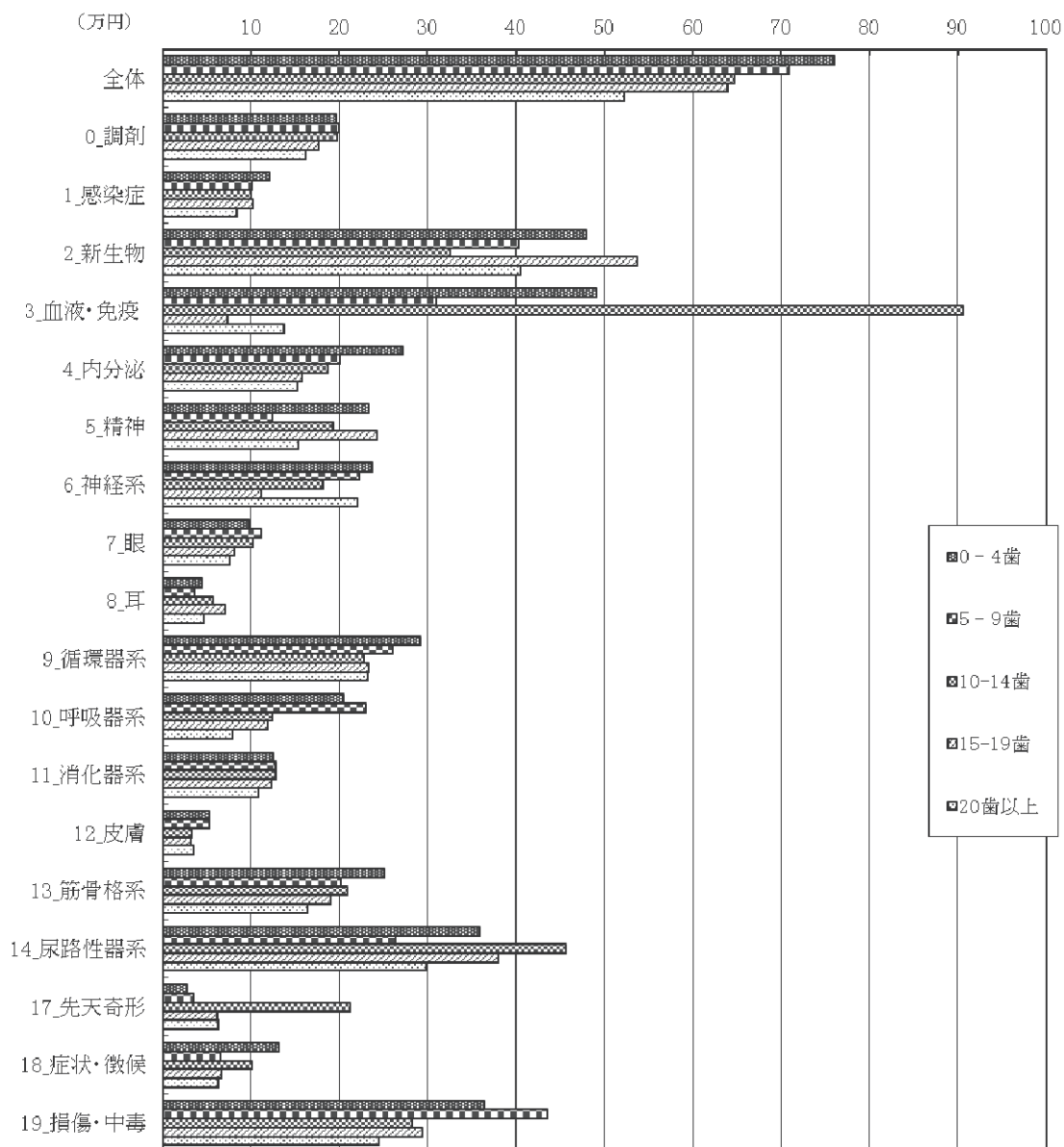


現在歯数別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間平均、円）

全体では、現在歯数が多いほど診療費が低くなっており、0-4 歯は 76.0 万円、20 歯以上は 52.3 万円で 23.7 万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、循環器系、筋骨格系で概ね現在歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0・4歯	760090	195990	120650	479470	491410	272040	233890	236800	97380
5・9歯	708760	199810	101120	402220	309810	200480	124240	222910	111310
10-14歯	647070	197750	100130	324880	905980	187310	192380	180680	102560
15-19歯	639240	176840	102130	537370	73410	158100	242430	111720	81880
20歯以上	522640	161620	84350	405170	136920	151970	153950	220570	75570

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
44620	291190	204030	125910	52520	250430	358920	28070	131800	363900
36680	260520	229560	127870	52550	202420	263060	34670	65780	435370
57300	228180	125000	128040	32650	209040	456070	212220	100660	282230
71190	233750	118780	123450	31150	190320	380020	61740	66230	294100
46190	232120	78910	108050	35130	163910	298590	62550	62630	244990

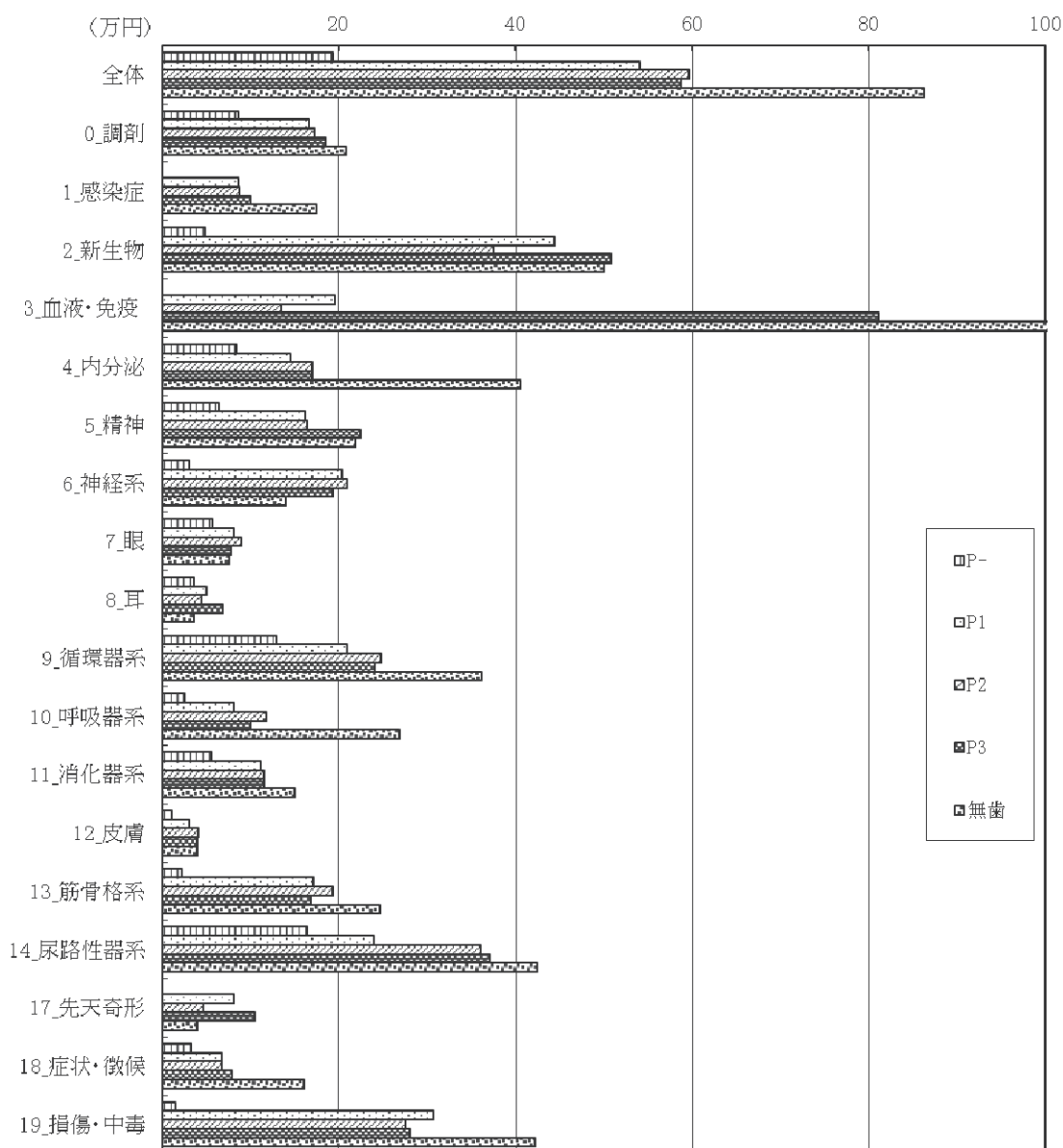


歯周病の程度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、P-の診療費が 19.3 万円と低く、歯周病ありと大きく差があった。歯周病ありの中では、P1 が 54.1 万円、P2 が 59.7 万円と歯周病の程度が重いほど診療費が多くなり、P3 では 58.8 万円とわずかに低くなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、内分泌、精神、循環器系、呼吸器系、消化器系、皮膚、尿路性器系、で全体と同様の傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	193130	86210	0	48690	0	84430	64470	30330	57290
P1	541090	166900	85740	444410	195230	146100	161640	203870	81550
P2	596840	172210	87790	375190	134550	170460	163920	209800	89640
P3	587560	185230	100510	508020	811400	169430	224700	193510	78320
無歯	862910	208270	175030	499740	1057360	405870	218460	139350	76290

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
35880	129170	25830	55870	11040	22610	163770	#VALUE!	33030	14910
50080	209980	82020	111360	30200	171090	239130	81170	67260	306730
44350	247410	117940	115920	40520	193430	360490	47180	68170	275610
68530	240580	100700	115300	39590	168640	370460	105110	79590	280040
36210	361290	268620	150080	40040	246940	424040	40310	160530	422010

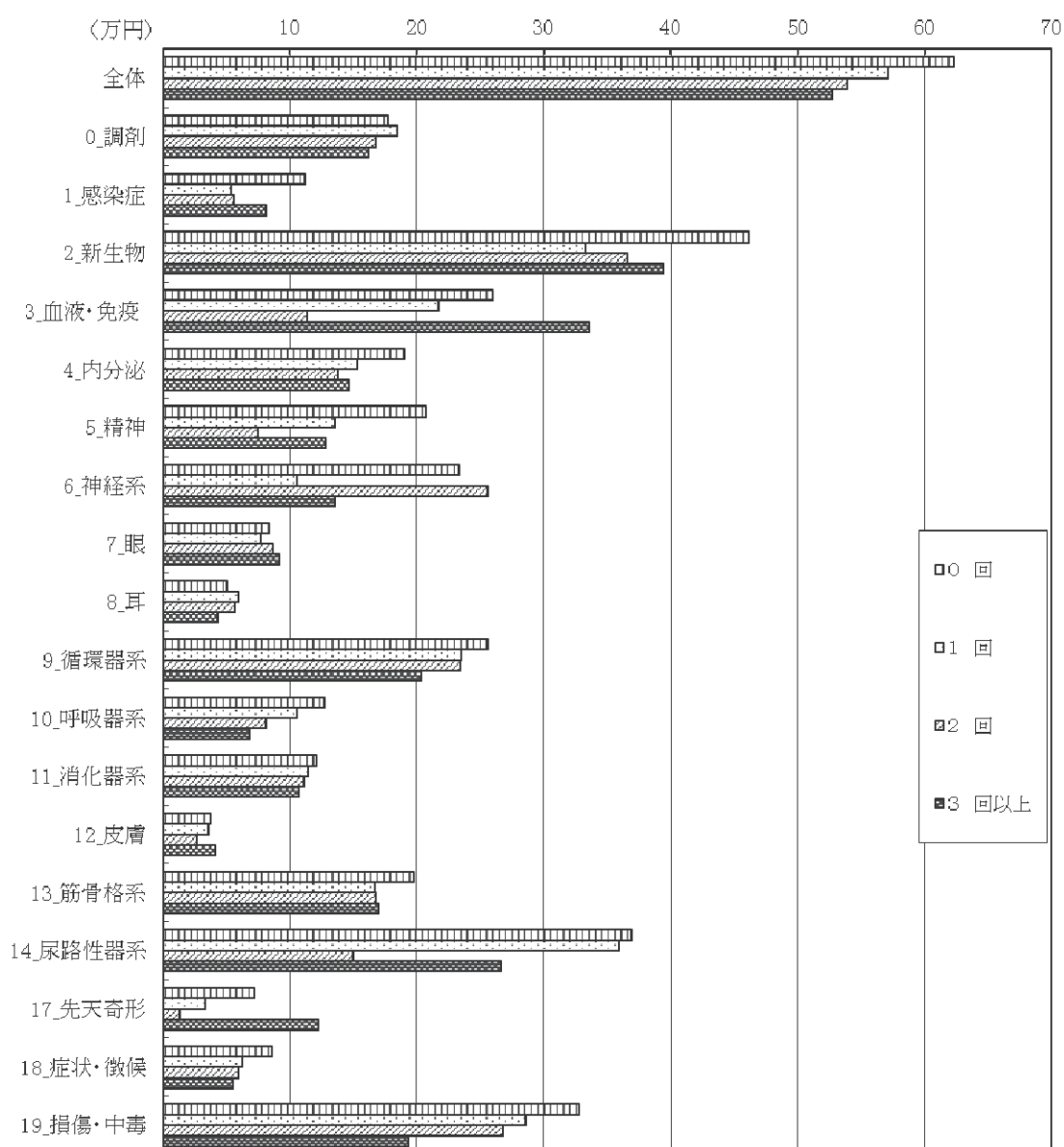


歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなっていた。健診なしは 62.3 万円、3 回以上は 52.7 万円で、約 10 万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、循環器系、呼吸器系、消化器系、症状・徴候、損傷・中毒において概ね歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	623080	177530	112010	461580	259930	190160	207140	233170	83420
1 回	571640	184960	53580	332930	216870	153320	135360	105610	76680
2 回	538880	167440	56400	365610	113620	137530	74620	255740	86550
3 回以上	527370	162220	81160	393940	335890	146430	127830	135070	91670

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
50390	255770	127340	120870	37630	197670	368900	72050	86150	327940
59450	235030	105390	114640	35740	166620	359620	33040	62660	285990
56550	233770	81500	110640	26630	167900	149790	13160	58970	267980
42720	203630	68080	106960	41200	170440	266570	122080	55060	193620



(3) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別現在歯数別

悪性新生物の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

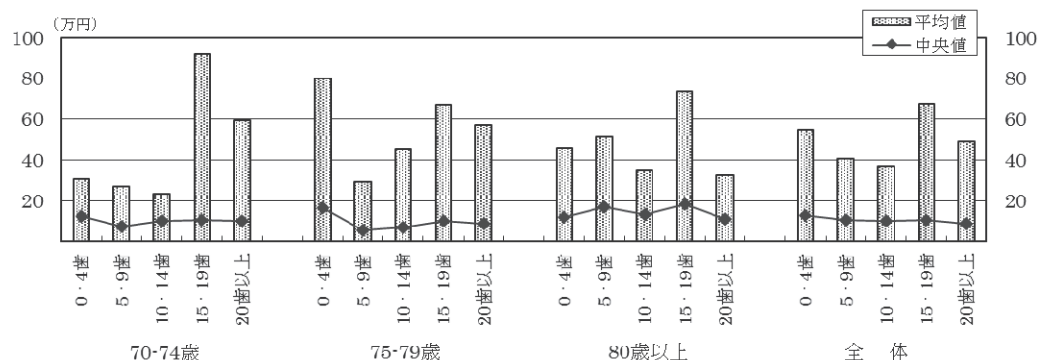
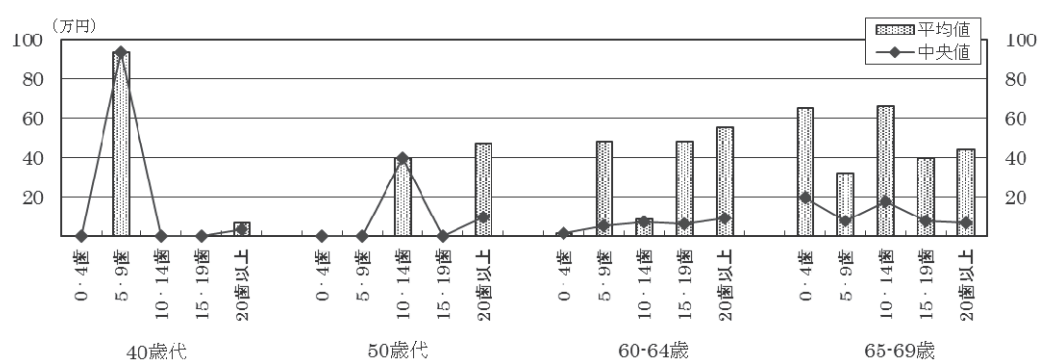
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	10	11	33	65	120
5 - 9 歯	2	0	4	11	22	40	68	147
10 - 14 歯	0	1	5	11	35	45	40	137
15 - 19 歯	0	0	15	36	41	49	54	195
20 歯以上	24	31	77	158	184	172	128	774
計	26	32	102	226	293	339	355	1,373

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、中央値でみると概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					18180	18180	651910	196200
5 - 9 歯	935010	935010			483820	53850	321100	79710
10 - 14 歯			396720	396720	86470	71280	666550	175920
15 - 19 歯					485320	64200	397050	77420
19 歯以下 (A)	935010	935010	396720	396720	386620	64200	465840	121650
20 歯以上 (B)	70980	34290	467460	95160	556750	91500	442270	69680
全 体	137450	37460	465250	97380	515050	77850	449360	77900
比 較 (A)/(B)	1317.2%	2726.8%	84.9%	416.9%	69.4%	70.2%	105.3%	174.6%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	306540	122160	798780	163800	456970	119250	549770	126950
5 - 9 歯	268610	74700	293070	54870	516390	169880	408730	105870
10 - 14 歯	234470	102420	453750	70800	349420	133290	370530	101640
15 - 19 歯	919330	104520	672940	99180	736670	182670	677030	106350
19 歯以下 (A)	506240	104520	547760	95820	516010	143490	513210	114120
20 歯以上 (B)	592700	103520	570670	86750	325570	112070	488150	88490
全 体	560530	104520	559380	93540	451400	136710	500120	98280
比 較 (A)/(B)	85.4%	101.0%	96.0%	110.5%	158.5%	128.0%	105.1%	129.0%



悪性新生物 年齢階級別歯周病の程度別

悪性新生物の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

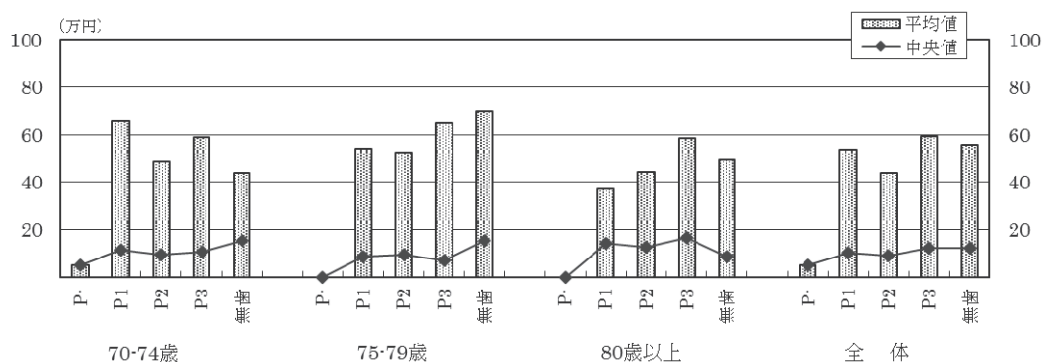
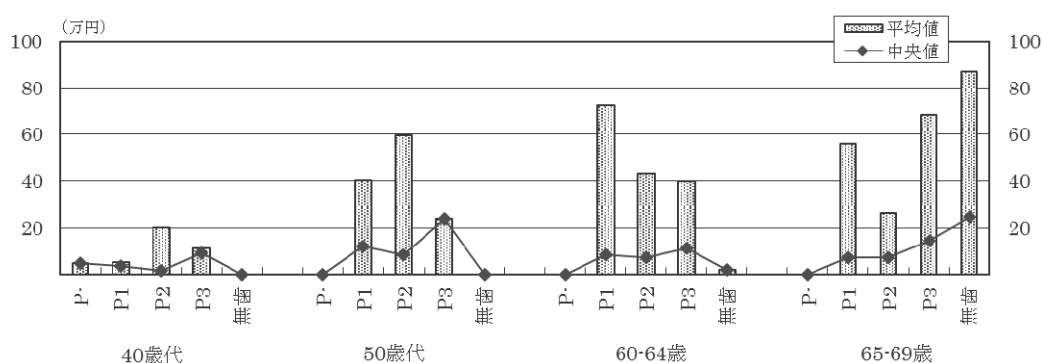
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	0	0	0	1	0		2
P1	7	18	33	77	99	92		326
P2	13	12	49	103	134	164		475
P3	5	2	19	43	54	65		188
無 歯	0	0	1	3	5	18		27
計	26	32	102	226	293	339	0	1,018

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、高い年齢階級では、歯周病の程度が重度なほど、概ね診療費が高くなっていた。全体でも、中央値でみると概ね歯周病の程度が重度なほど、診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	45780	45780						
P1	51170	33180	403810	120740	725500	82110	557260	70200
P2	200430	15600	595530	83970	428850	72690	259010	72270
P3	112820	93540	236570	236570	398030	113160	682710	143640
歯 周 病 あ り (A)	141110	35400	465250	97380	519970	77940	443690	77100
無 歯					18180	18180	870640	243960
全 体	137450	97380	465250	77940	515050	77100	449360	102420
比 較 (A)/(P-)	308.2%	77.3%	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	51600	51600					48690	48690
P1	655850	112140	540350	87210	371800	140610	537440	100790
P2	486280	92750	520240	93650	443430	125330	439330	90600
P3	590830	106230	646600	71460	586030	165350	593300	119780
歯 周 病 あ り (A)	564440	102420	551590	87930	446050	140870	498000	97020
無 歯	437800	154980	698350	151830	494790	85890	555850	120050
全 体	560530	104520	559380	93540	451400	136710	500120	98280
比 較 (A)/(P-)	1093.9%	198.5%	-	-	-	-	1022.8%	199.3%



悪性新生物 年齢階級別歯科健診受診頻度別

悪性新生物の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

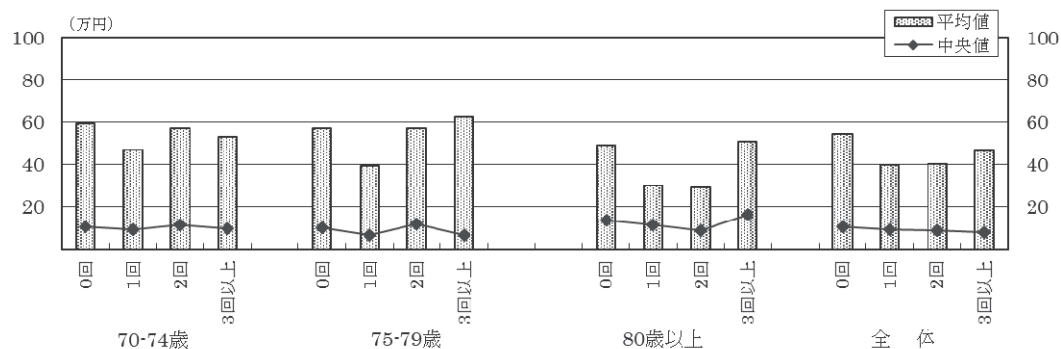
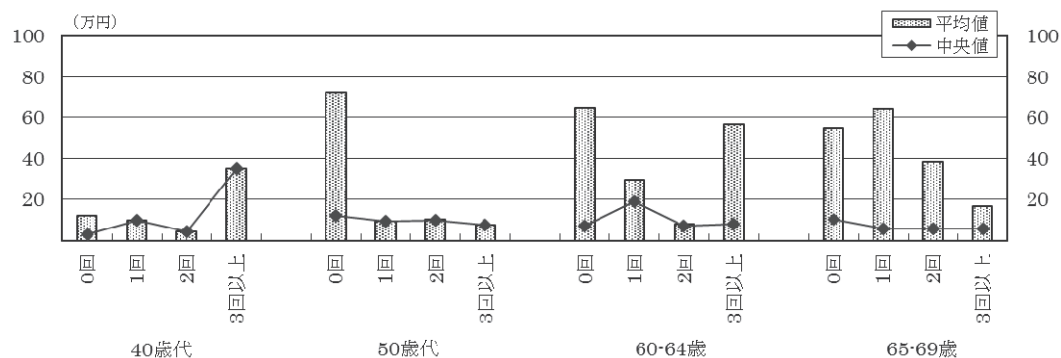
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	22	19	54	130	153	202	233	813
1 回	1	5	17	22	35	41	42	163
2 回	1	3	11	16	23	30	34	118
3 回以上	2	5	20	58	82	66	46	279
計	26	32	102	226	293	339	355	1,373

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では歯科健診なしが最も高く、1回、2回が低くなり、3回でやや高くなっていた。また、健診なしは健診ありと比較しても約1.3倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	123940	30630	722330	123840	651630	70980	550920	104720
1 回	97890	97890	96200	95160	298530	189180	643440	56880
2 回	45780	45780	102230	99600	82700	72000	383640	55800
3 回以上	351630	351630	75230	76410	568130	80030	166250	59340
健 診 有 り (B)	211730	144810	89520	95160	361400	91430	311840	59250
全 体	137450	37460	465250	97380	515050	77850	449360	77900
比 較 (A)/(B)	59%	21%	807%	130%	180%	78%	177%	177%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	595260	106470	569750	98690	490460	137970	545760	106020
1 回	470360	93450	394040	63900	300520	114360	399080	93540
2 回	572260	115380	572530	119580	289880	89030	403340	87470
3 回以上	530930	96090	624400	67460	510730	163460	467110	80460
健 診 有 り (B)	522580	96680	544100	67080	376810	126890	433870	88260
全 体	560530	104520	559380	93540	451400	136710	500120	98280
比 較 (A)/(B)	114%	110%	105%	147%	130%	109%	126%	120%



虚血性心疾患 年齢階級別現在歯数別

虚血性心疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

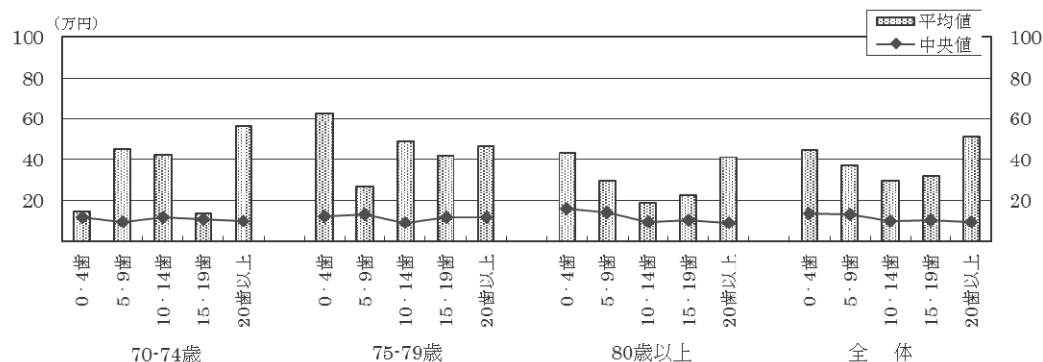
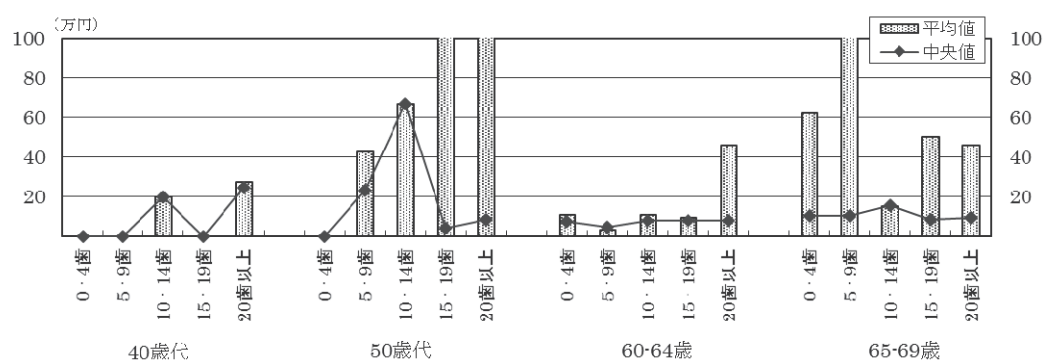
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	6	10	13	31	95	155
5 - 9 歯	0	3	3	11	19	33	70	139
10 - 14 歯	1	1	6	18	24	36	61	147
15 - 19 歯	0	3	9	29	25	52	70	188
20 歯以上	4	16	55	111	166	167	138	657
計	5	23	79	179	247	319	434	1,286

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体でみると、平均値では20歯以上が高くなっていたが、中央値では、現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					109430	73740	621460	104870
5 - 9 歯			429310	233100	33130	46380	1095100	104670
10 - 14 歯	196770	196770	671220	671220	107420	79560	149740	153470
15 - 19 歯			1268470	40920	95470	79140	502860	85920
19 歯以下 (A)	196770	196770	823510	233100	94160	63080	522630	111390
20 歯以上 (B)	273430	244310	1955690	86420	458390	77580	462060	93150
全 体	258100	196770	1611110	117270	347740	77400	485070	101340
比 較 (A)/(B)	72.0%	80.5%	42.1%	269.7%	20.5%	81.3%	113.1%	119.6%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	147000	118740	628730	127350	435960	159810	449600	137760
5 - 9 歯	455100	99930	269810	133740	299950	141450	373960	134370
10 - 14 歯	428010	119190	489720	95160	189910	99570	297240	104520
15 - 19 歯	138810	112290	421430	122240	223500	106940	320620	106940
19 歯以下 (A)	300000	112290	454630	111780	302850	128730	360730	118470
20 歯以上 (B)	561880	102110	467230	122940	410770	93480	512740	98880
全 体	476000	105330	457570	119400	337160	116030	437410	108650
比 較 (A)/(B)	53.4%	110.0%	97.3%	90.9%	73.7%	137.7%	70.4%	119.8%



虚血性心疾患 年齢階級別歯周病の程度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

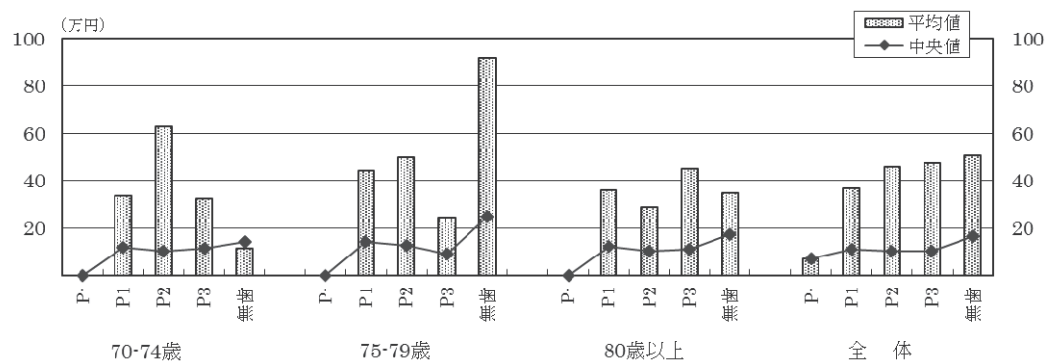
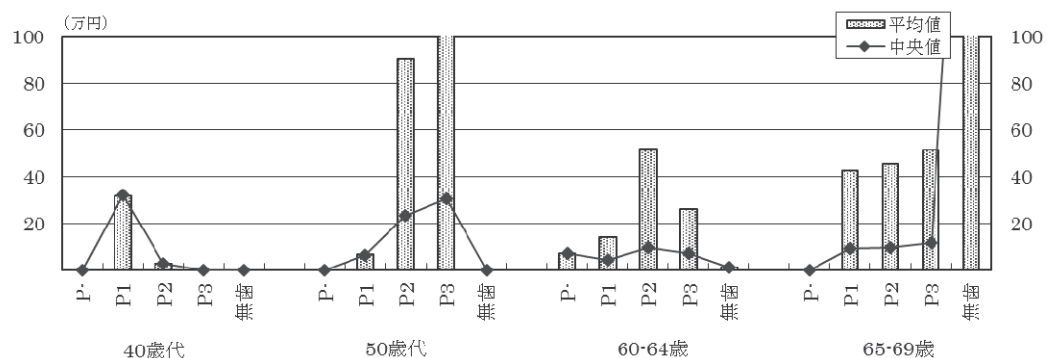
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	1	0	0	0	0	1
P1	4	6	23	58	68	86	109	354
P2	1	13	39	77	124	166	207	627
P3	0	4	15	42	51	54	68	234
無 歯	0	0	1	2	4	13	50	70
計	5	23	79	179	247	319	434	1,286

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、平均値でみると歯周病の程度が重度なほど、診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-					70410	70410		
P1	315410	320460	67130	62040	138520	45000	424120	91460
P2	28860	28860	905000	233100	519810	94470	455370	96090
P3			6221930	303960	262140	72210	513330	114270
歯 周 病 あり (A)	258100	196770	1611110	117270	355720	77580	458890	96840
無 歯					10410	10410	2802470	2802470
全 体	258100	117270	1611110	77580	347740	96840	485070	104520
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	505.2%	110.2%	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-							70410	70410
P1	335170	118590	442230	139590	358150	119640	365290	110910
P2	627810	100730	498350	124430	287420	101280	458060	101400
P3	323160	112290	245890	91680	448770	111450	472880	101480
歯 周 病 あり (A)	481980	104520	438020	115140	336070	108650	433880	104520
無 歯	112720	139380	917790	248880	345540	171450	503920	166250
全 体	476000	105330	457570	119400	337160	116030	437410	108650
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	616.2%	148.4%



虚血性心疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

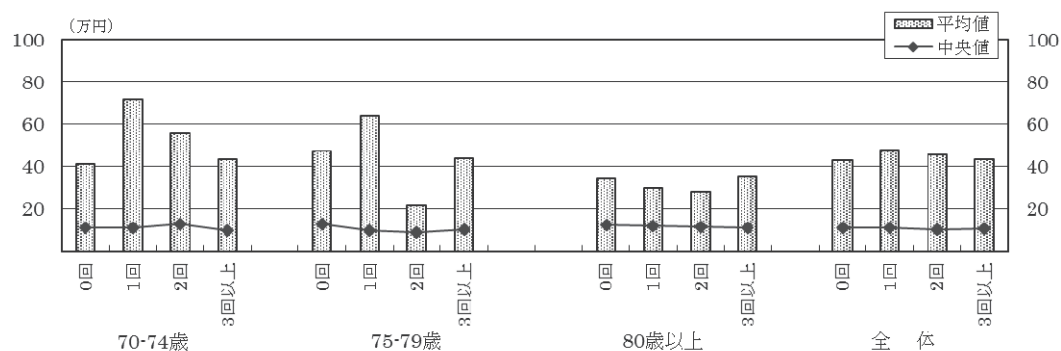
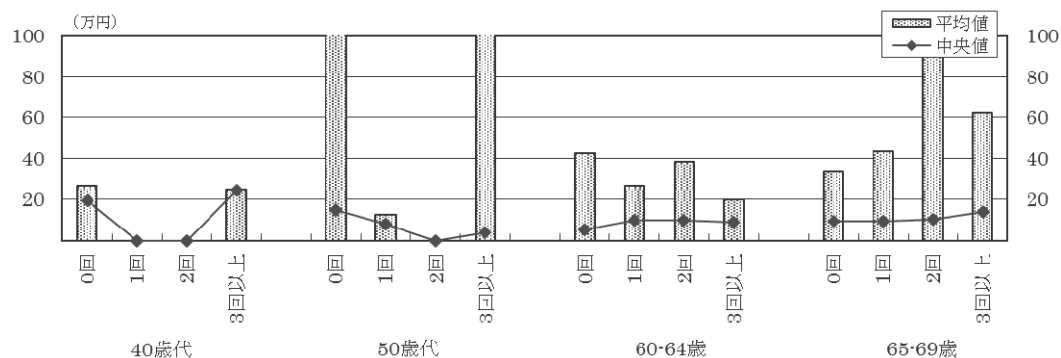
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	3	17	42	103	124	191	281	761
1 回	0	3	14	26	36	34	50	163
2 回	0	0	7	15	26	33	34	115
3 回以上	2	3	16	35	61	61	69	247
計	5	23	79	179	247	319	434	1,286

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では歯科健診なしが平均値では最も低い、中央値では最も高く、健診ありの中では、健診回数が多くなるほど低くなっていた。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	267290	196770	1934790	150870	425270	51680	339080	93150
1 回			127230	79980	268260	101120	433130	96410
2 回					383610	99060	1259120	101760
3 回以上	244310	244310	1260790	38370	198060	90510	621540	139380
健 診 有 り (B)	244310	244310	694010	67250	259730	94560	682920	112520
全 体	258100	196770	1611110	117270	347740	77400	485070	101340
比 較 (A)/(B)	109%	81%	279%	224%	164%	55%	50%	83%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	409830	110390	473110	125310	346880	121710	427250	110130
1 回	717320	108800	640870	94440	297760	117360	477910	107670
2 回	556390	127760	214880	88290	280060	113090	457840	102810
3 回以上	433830	94290	438070	101250	354300	109230	432500	105630
健 診 有 り (B)	542710	102810	434390	99620	319320	115410	452150	105630
全 体	476000	105330	457570	119400	337160	116030	437410	108650
比 較 (A)/(B)	76%	107%	109%	126%	109%	105%	94%	104%



脳血管疾患 年齢階級別現在歯数別

脳血管疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

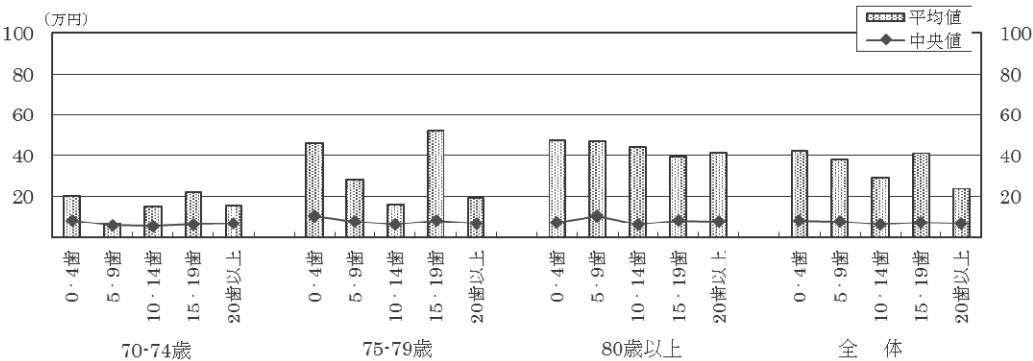
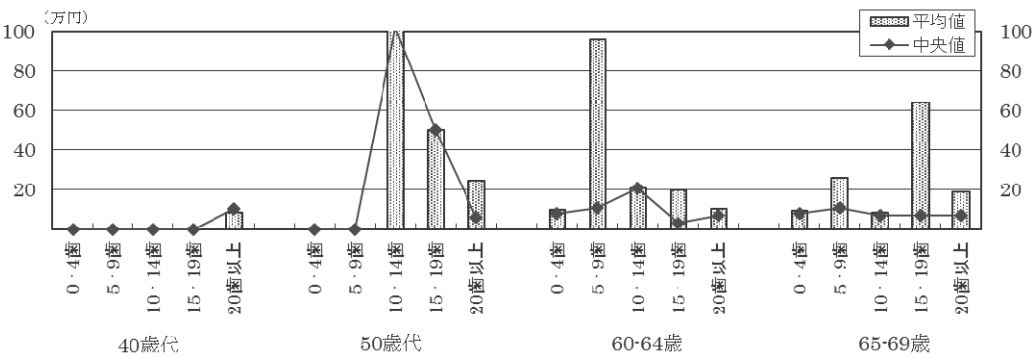
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	3	5	9	34	74	125
5 - 9 歯	0	0	4	14	9	26	51	104
10 - 14 歯	0	2	2	11	11	30	44	100
15 - 19 歯	0	1	10	16	31	48	45	151
20 歯以上	3	19	34	58	101	108	121	444
計	3	22	53	104	161	246	335	924

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体でみると、平均値、中央値とも、15-19 歯が高くなっていたが、概ね現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					97180	80520	95840	81360
5 - 9 歯					962000	109850	260970	110370
10 - 14 歯			1020210	1020210	206210	206210	83820	67620
15 - 19 歯			501840	501840	199400	32940	641600	68820
19 歯以下 (A)			847420	501840	344520	74280	333050	68820
20 歯以上 (B)	84520	103800	247590	62280	104960	70500	188590	70500
全 体	84520	103800	329390	64800	190840	70500	252490	69900
比 較 (A)/(B)	-	-	342.3%	805.8%	328.3%	105.4%	176.6%	97.6%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	203480	84900	464240	107400	475400	74360	428520	84900
5 - 9 歯	68730	61200	286640	78000	471610	105840	381010	79580
10 - 14 歯	153820	58200	159700	68270	445930	66570	294790	67110
15 - 19 歯	219330	64500	520950	83160	396100	84900	413180	76050
19 歯以下 (A)	182350	67350	384300	86000	485440	81290	400910	78000
20 歯以上 (B)	158660	70500	193350	71210	415870	79800	240300	70500
全 体	167490	70500	300470	73370	438800	80040	315750	72620
比 較 (A)/(B)	114.9%	95.5%	198.8%	120.8%	116.7%	101.9%	166.8%	110.6%



脳血管疾患 年齢階級別歯周病の程度別

脳血管疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

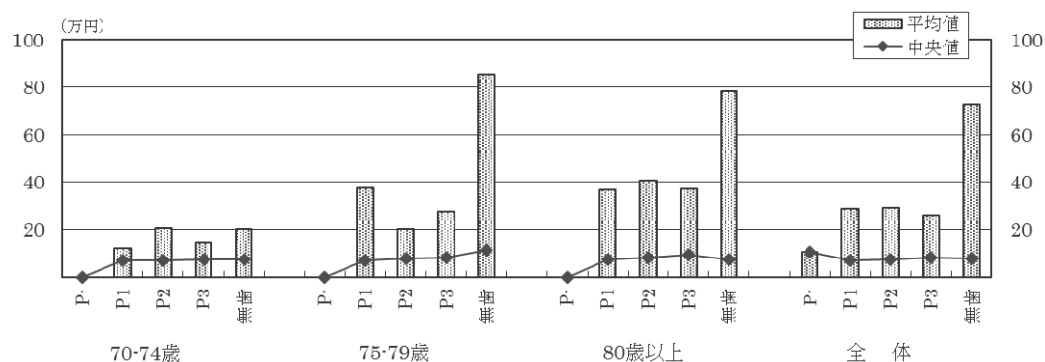
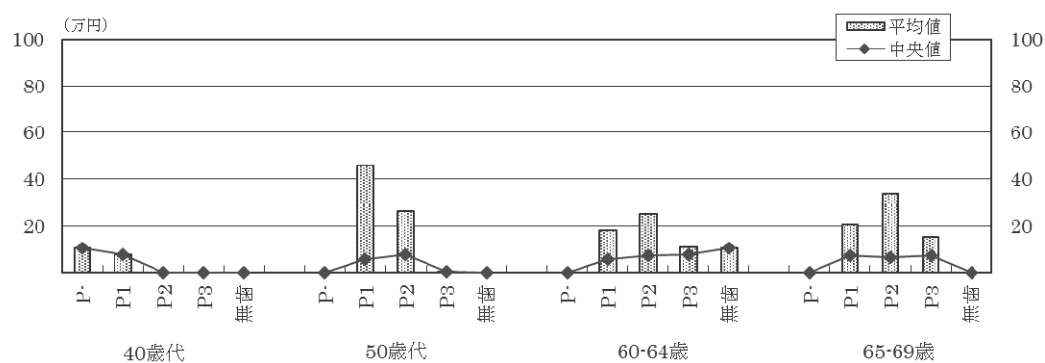
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	0	0	0	0	0	0	1
P1	2	9	14	23	55	60	83	246
P2	0	12	24	50	76	122	143	427
P3	0	1	13	31	24	48	65	182
無 歯	0	0	2	0	6	16	44	68
計	3	22	53	104	161	246	335	924

・診療費（一人あたり 1 年間、円）

年齢階級によりばらつきがあるが、全体では、平均値では、歯周病なしが歯周病ありより低くなっていたが、中央値では逆の結果であった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	103800	103800						
P1	74880	74880	457080	53700	181080	53970	202530	70500
P2			260900	74730	248010	70220	336940	62360
P3			2100	2100	108930	74310	153330	70500
歯 周 病 あ り (A)	74880	74880	329390	64800	194180	70500	252490	69900
無 歯					105510	105510		
全 体	84520	64800	329390	70500	190840	69900	252490	70500
比 較 (A)/(P-)	72.1%	72.1%	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-							103800	103800
P1	120400	70500	375300	70050	366710	73200	288750	70470
P2	206550	70320	199980	77970	405870	82530	290550	72630
P3	143320	74250	277220	81830	371540	95370	258610	80730
歯 周 病 あ り (A)	166190	70500	261830	72660	387030	82530	283230	72600
無 歯	201050	75300	855840	111810	781190	74360	727690	79020
全 体	167490	70500	300470	73370	438800	80040	315750	72620
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	272.9%	69.9%



脳血管疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

脳血管疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

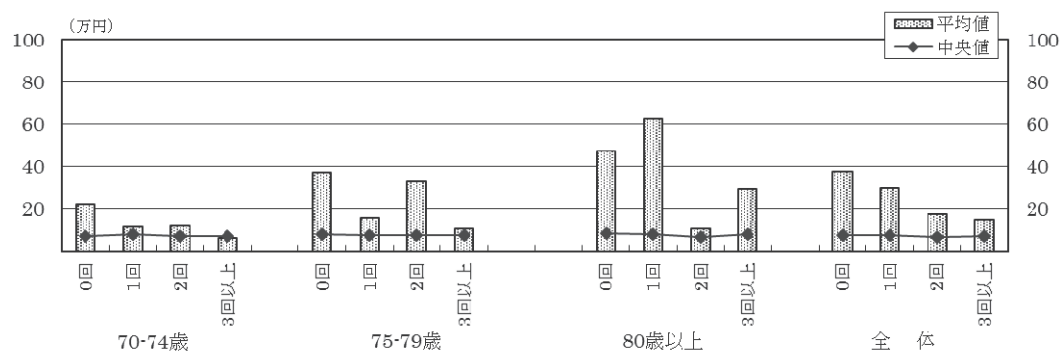
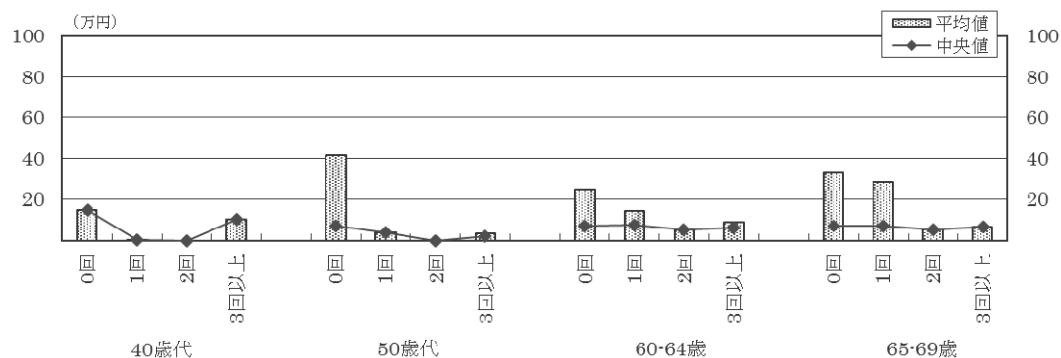
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	17	32	54	94	156	232	586
1 回	1	2	8	23	25	29	33	121
2 回	0	0	3	9	11	23	20	66
3 回以上	1	3	10	18	31	38	50	151
計	3	22	53	104	161	246	335	924

・診療費（一人あたり１年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなっていた。健診なしは健診ありの 1.8 倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし (A)	147690	147690	415710	70500	246740	72540	330810	69900
1 回	2070	2070	40530	40530	144890	76800	287820	70500
2 回					51740	53700	59840	54750
3 回以上	103800	103800	32820	20940	90430	62100	68710	66480
健診有り (B)	52940	52940	35900	20940	105650	70500	167900	69060
全 体	84520	103800	329390	64800	190840	70500	252490	69900
比較 (A)/(B)	279%	279%	1158%	337%	234%	103%	197%	101%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし (A)	222250	68520	370330	79670	472820	83730	377700	75590
1 回	113580	78510	156380	72270	625080	78000	296400	73260
2 回	117280	70440	331980	72720	105930	65550	177850	63380
3 回以上	62730	70500	104550	74250	291150	77610	151110	70500
健診有り (B)	90660	70500	179370	72440	362170	73260	208340	70500
全 体	167490	70500	300470	73370	438800	80040	315750	72620
比較 (A)/(B)	245%	97%	206%	110%	131%	114%	181%	107%



糖尿病 年齢階級別現在歯数別

糖尿病の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

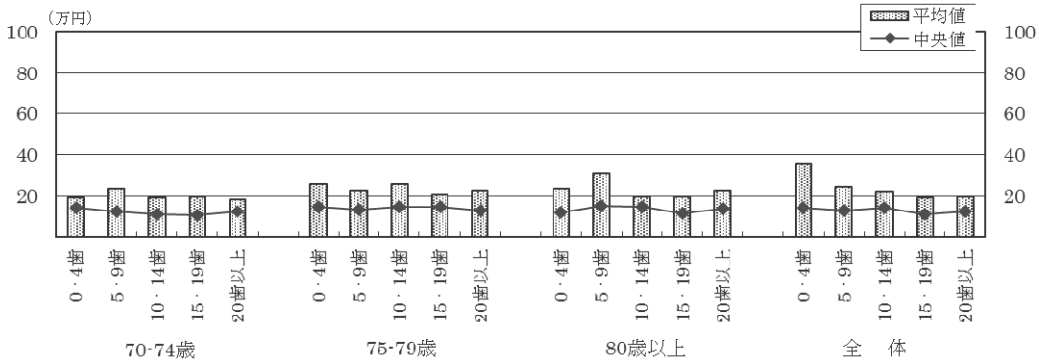
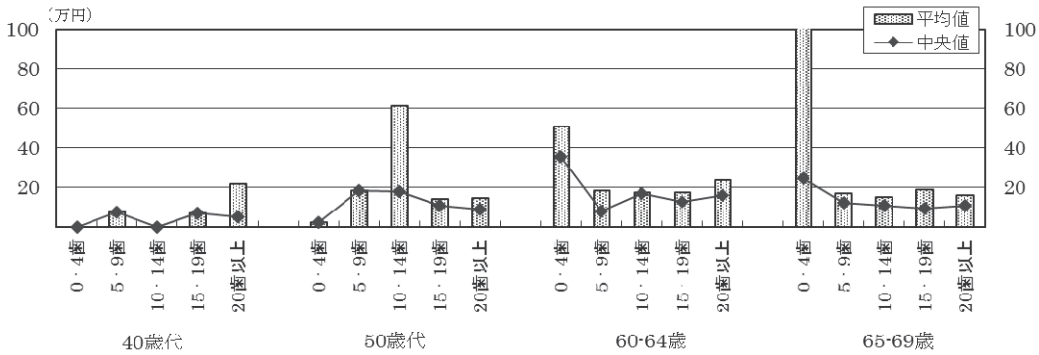
現在歯数	40歳代	50歳代	60・64歳	65・69歳	70・74歳	75・79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	1	3	11	23	42	53	133
5 - 9 歯	1	2	9	22	29	51	52	166
10 - 14 歯	0	7	12	28	46	55	43	191
15 - 19 歯	1	4	21	46	62	50	45	229
20 歯以上	20	47	104	176	158	155	110	770
計	22	61	149	283	318	353	303	1,489

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60・64歳		65・69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			24060	24060	510360	354300	1649550	245160
5 - 9 歯	74580	74580	185090	185090	184280	77250	172160	122250
10 - 14 歯			612660	178320	173320	171060	150740	106200
15 - 19 歯	69060	69060	143600	107390	176660	126660	189980	93980
19 歯以下 (A)	71820	71820	375520	153080	199540	128850	323980	103610
20 歯以上 (B)	217580	52410	148430	88890	236700	160230	162230	107820
全 体	204330	60960	200550	94590	225470	153360	224190	106500
比 較 (A)/(B)	33.0%	137.0%	253.0%	172.2%	84.3%	80.4%	199.7%	96.1%

現在歯数分類	70・74歳		75・79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	194610	142890	257650	147690	235670	121650	357060	142890
5 - 9 歯	236610	123210	227060	133530	313740	154520	244860	131120
10 - 14 歯	194950	113880	258760	149910	199430	150240	221800	145290
15 - 19 歯	197520	109170	207580	149760	197060	115740	194690	110910
19 歯以下 (A)	203450	112910	236850	145110	244410	145670	244410	128640
20 歯以上 (B)	185750	126680	225050	131940	225000	137150	199320	123540
全 体	194650	121080	232000	140820	234320	139080	220660	124380
比 較 (A)/(B)	109.5%	89.1%	105.2%	110.0%	108.6%	106.2%	122.6%	104.1%



糖尿病 年齢階級別歯周病の程度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

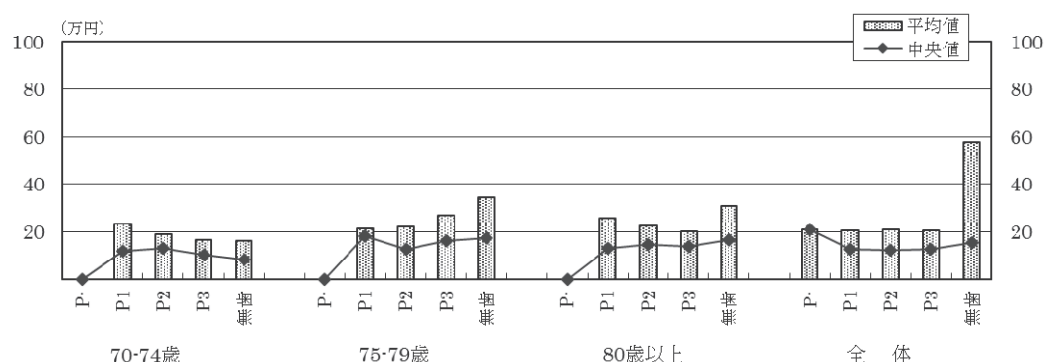
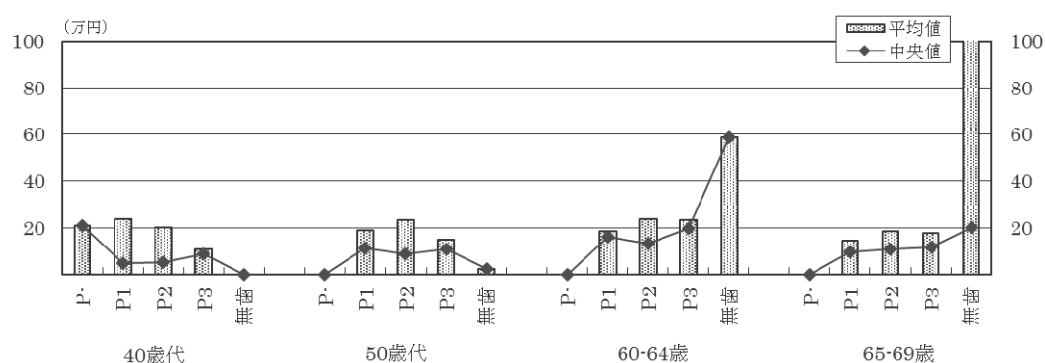
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	0	0	0	0	0	0	1
P1	10	17	44	84	88	74	62	379
P2	8	31	72	131	153	197	159	751
P3	3	12	31	62	72	69	55	304
無 歯	0	1	2	6	5	13	27	54
計	22	61	149	283	318	353	303	1,489

・診療費（一人あたり1年間、円）

P-が40歳代の1人だけである。年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯周病の程度による差は認められなかった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	207900	207900						
P1	236050	46410	187760	110490	184040	161370	142960	93860
P2	201100	52680	233040	88890	237760	131030	184730	106080
P3	106060	89130	149470	109500	232340	194460	174470	116010
歯 周 病 あ り (A)	204160	52860	203490	96990	220540	153360	169770	106080
無 歯			24060	24060	588390	588390	2736470	200220
全 体	204330	96990	200550	153360	225470	106080	224190	121320
比 較 (A)/(P-)	98.2%	25.4%	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-							207900	207900
P1	231010	115970	211750	180080	256890	129710	204710	125040
P2	188080	131070	219800	125580	224680	144930	210320	123330
P3	166530	103530	267670	161340	201310	139110	202840	124650
歯 周 病 あ り (A)	195190	121320	227760	139020	227260	139080	207250	123870
無 歯	160850	80760	342720	171450	306450	165540	576920	152430
全 体	194650	121080	232000	140820	234320	139080	220660	124380
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	99.7%	59.6%



糖尿病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

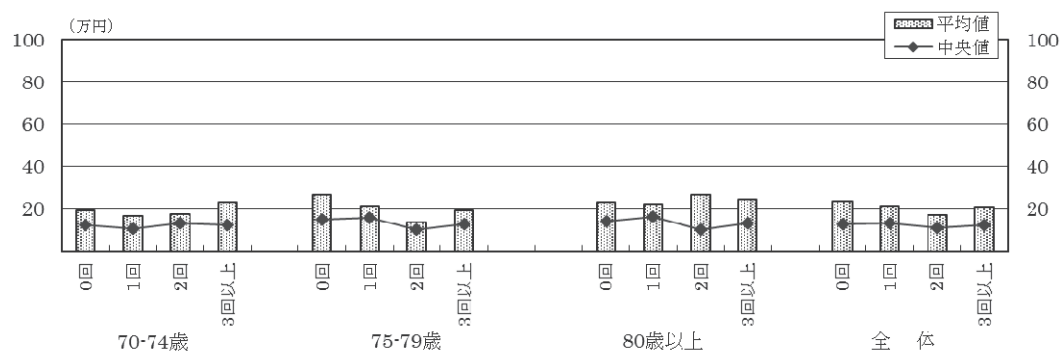
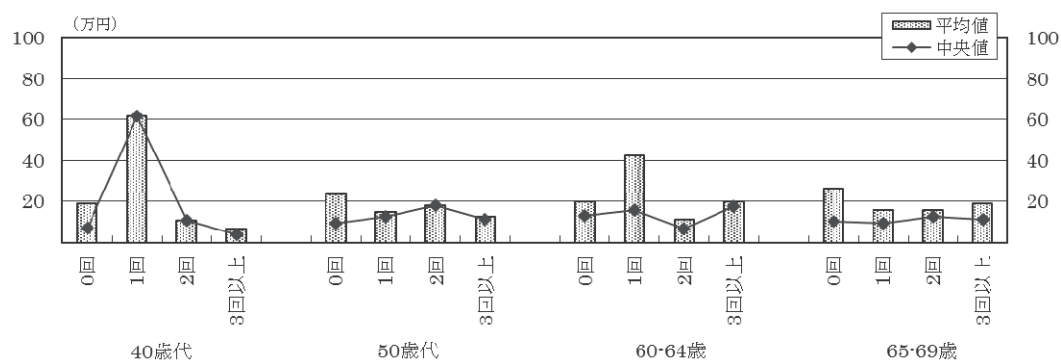
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	15	38	87	153	172	204	202	871
1 回	2	11	21	39	49	50	31	203
2 回	2	2	9	24	31	34	22	124
3 回以上	3	10	32	67	66	65	48	291
計	22	61	149	283	318	353	303	1,489

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、平均値でも中央値でも、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上でやや高くなっていた。健診なしは健診ありの 1.2 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	190130	69060	236080	92400	198110	132090	265520	104220
1 回	615890	615890	147310	128040	426070	159720	157990	93870
2 回	106320	106320	183390	183390	114940	66960	159320	127380
3 回以上	66310	40860	127550	112050	199310	177630	191580	113520
健 診 有 り (B)	234760	52860	141860	128040	263870	160830	175540	114000
全 体	204330	60960	200550	94590	225470	153360	224190	106500
比 較 (A)/(B)	81%	131%	166%	72%	75%	82%	151%	91%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	193170	121520	265180	150540	231400	141920	233920	126660
1 回	165960	105570	210370	158360	219180	161190	213820	130050
2 回	177210	131280	138150	100470	266080	98610	173240	107700
3 回以上	228000	123230	193580	125490	241820	133760	205930	125220
健 診 有 り (B)	196390	120110	186570	124020	240160	132300	201960	123770
全 体	194650	121080	232000	140820	234320	139080	220660	124380
比 較 (A)/(B)	98%	101%	142%	121%	96%	107%	116%	102%



高血圧性疾患
 年齢階級別現在歯数別

高血圧性疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

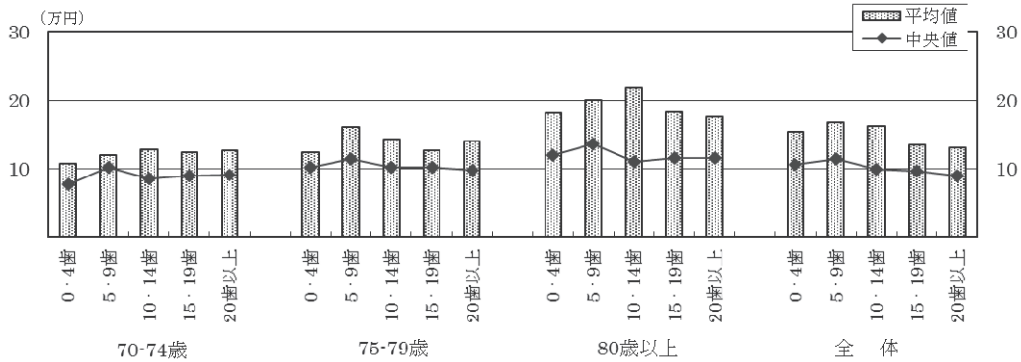
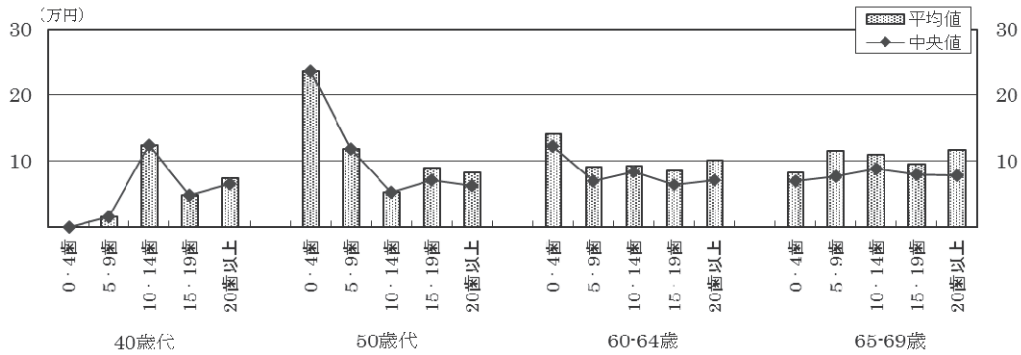
現在歯数	40歳代	50歳代	60・64歳	65・69歳	70・74歳	75・79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	2	9	27	46	85	243	412
5 - 9 歯	1	2	11	40	66	115	214	449
10 - 14 歯	1	2	32	60	77	124	193	489
15 - 19 歯	1	15	53	89	143	184	201	686
20 歯 以上	20	115	293	491	574	530	449	2,472
計	23	136	398	707	906	1,038	1,300	4,508

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、平均値、中央値とも 0-4 歯がやや低くなっていたが、概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60・64歳		65・69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			236990	236990	141070	122850	83150	69870
5 - 9 歯	14730	14730	118340	118340	91220	70200	115770	77150
10 - 14 歯	124530	124530	52400	52400	92560	83930	110090	88040
15 - 19 歯	48600	48600	90140	71040	84720	63960	94850	79710
19 歯 以下 (A)	62620	48600	103220	92760	91890	73340	101500	77400
20 歯 以上 (B)	73730	65730	82280	62280	101470	70920	116290	77940
全 体	72280	65520	85510	65130	99140	71840	111770	77880
比 較 (A)/(B)	84.9%	73.9%	125.4%	148.9%	90.6%	103.4%	87.3%	99.3%

現在歯数分類	70・74歳		75・79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	107650	77240	123690	101340	181550	120090	154300	105650
5 - 9 歯	119400	102560	160370	113880	200300	135930	167200	114690
10 - 14 歯	128230	85920	142600	101390	217890	109620	162380	98760
15 - 19 歯	123260	89370	127030	102530	183080	115980	134300	96840
19 歯 以下 (A)	121480	87530	138360	104040	193920	120560	152200	103230
20 歯 以上 (B)	125920	91370	139700	98490	176050	116250	130720	90200
全 体	124300	90950	138780	102330	188370	119270	140490	95580
比 較 (A)/(B)	96.5%	95.8%	99.0%	105.6%	110.2%	103.7%	116.4%	114.5%



高血圧性疾患
 年齢階級別歯周病の程度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

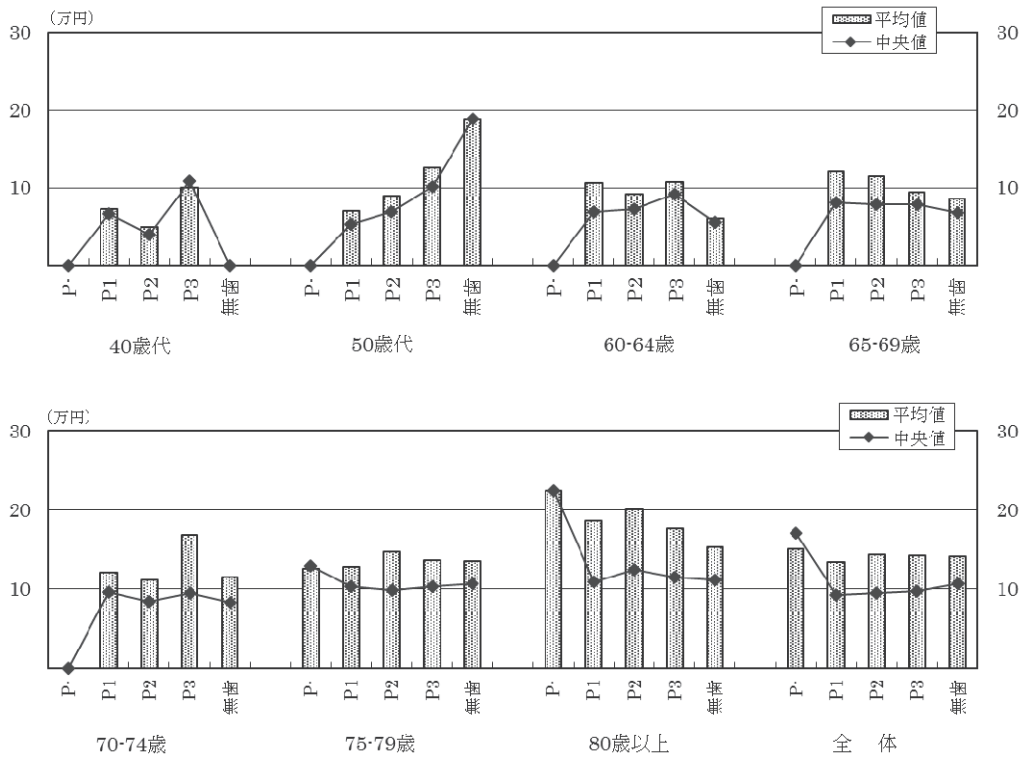
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	3	1	4
P1	14	54	127	231	281	290	324	1,321
P2	5	67	181	311	447	509	634	2,154
P3	4	14	85	155	161	199	215	833
無 歯	0	1	5	10	17	37	126	196
計	23	136	398	707	906	1,038	1,300	4,508

・診療費（一人あたり1年間、円）

P-の人数が少ない。年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯周病ありでは、概ね歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	72550	65730	69320	52700	106300	68130	121090	80220
P2	49330	40170	88690	68520	91290	71610	114650	77670
P3	100070	108510	125450	100620	107450	91140	93790	78600
歯 周 病 あ り (A)	72280	65520	84750	65070	99640	72060	112140	77940
無 歯			188340	188340	59920	55590	85670	67610
全 体	72280	65070	85510	72060	99140	77940	111770	91020
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-			125480	129510	224400	224400	150210	170970
P1	120870	95400	127400	103550	185650	108950	134210	92460
P2	110940	83460	146610	98700	200780	123930	143860	95150
P3	168330	94950	136330	103560	176490	115050	141660	97590
歯 周 病 あ り (A)	124470	91020	138980	102110	192150	119340	140480	94790
無 歯	115130	82860	134560	107010	152860	111320	140520	106710
全 体	124300	90950	138780	102330	188370	119270	140490	95580
比 較 (A)/(P-)	-	-	110.8%	78.8%	85.6%	53.2%	93.5%	55.4%



高血圧性疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

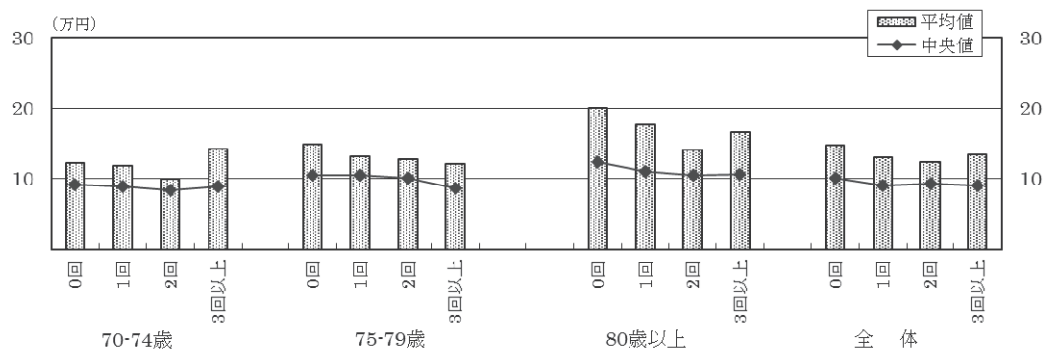
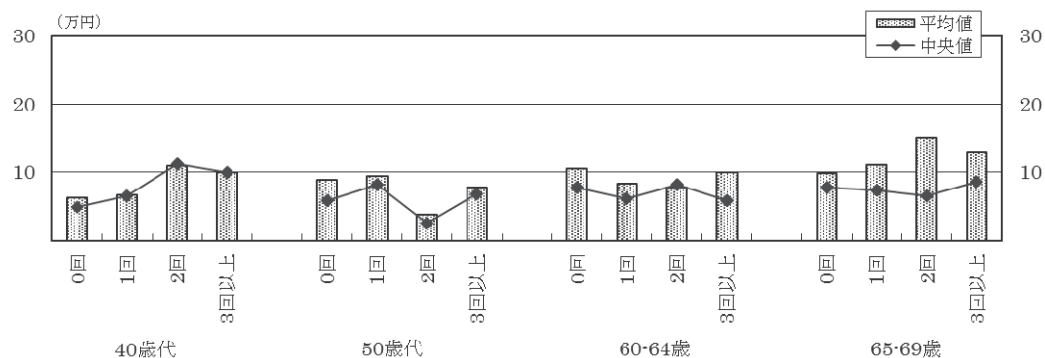
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	15	91	223	393	465	596	844	2,627
1 回	3	13	62	94	140	122	147	581
2 回	3	5	28	60	81	88	97	362
3 回以上	2	27	85	160	220	232	212	938
計	23	136	398	707	906	1,038	1,300	4,508

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなり3回以上では高くなる傾向が見られた。健診なしは健診ありの約 1.1 倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	62370	48600	89310	58740	105620	77280	98850	77280
1 回	66190	65940	93760	82170	83570	61850	110490	74100
2 回	109600	112110	37450	25380	77700	81920	151480	65130
3 回以上	99830	99830	77640	68520	100570	57960	129370	86120
健 診 有 り (B)	90880	84710	77830	67710	90890	65490	127940	78270
全 体	72280	65520	85510	65130	99140	71840	111770	77880
比 較 (A)/(B)	69%	57%	115%	87%	116%	118%	77%	99%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	121870	91710	149070	104910	201340	123290	147280	100740
1 回	118190	89060	130910	104660	177140	109620	130020	89940
2 回	99470	83310	127820	100650	140730	105180	123580	92190
3 回以上	142450	88370	120630	86480	166310	106620	134460	89750
健 診 有 り (B)	126860	86850	124900	96750	164360	108570	131000	90420
全 体	124300	90950	138780	102330	188370	119270	140490	95580
比 較 (A)/(B)	96%	106%	119%	108%	122%	114%	112%	111%



肺炎 年齢階級別現在歯数別

肺炎の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

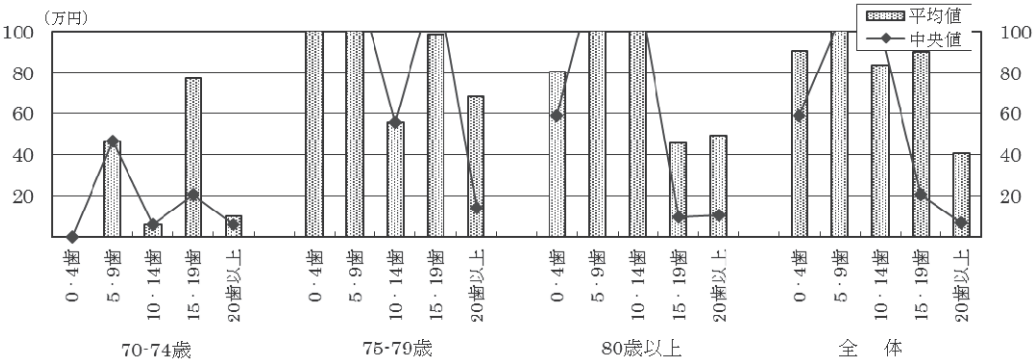
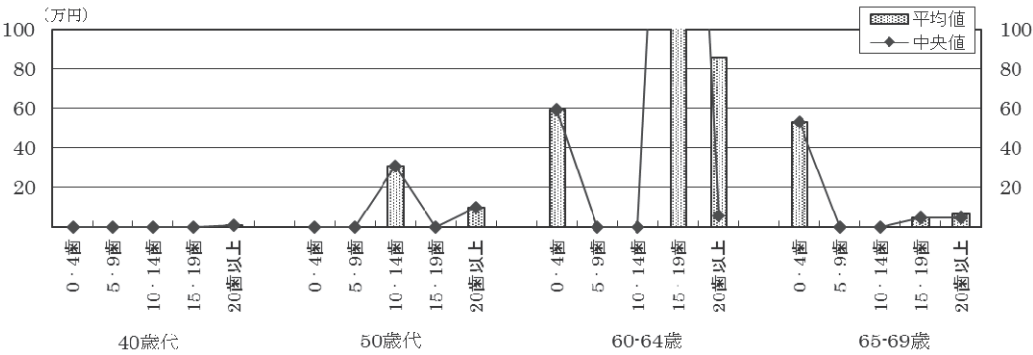
現在歯数	40歳代	50歳代	60・64歳	65・69歳	70・74歳	75・79歳	80歳以上	全 体
0・ 4 歯	0	0	1	2	0	2	7	12
5・ 9 歯	0	0	0	0	1	5	4	10
10・14 歯	0	1	0	0	1	2	7	11
15・19 歯	0	0	1	1	3	3	5	13
20 歯 以上	1	1	5	11	6	11	12	47
計	1	2	7	14	11	23	35	93

・診療費（一人あたり1年間、円）

昨年から、肺炎についても分析を行っているが、該当者が少なく、現在歯数との関連は不明であった。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60・64歳		65・69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					594420	594420	533400	533400
5 - 9 歯								
10 - 14 歯			308670	308670				
15 - 19 歯					4087050	4087050	44550	44550
19 歯 以下 (A)			308670	308670	2340740	2340740	370450	44550
20 歯 以上 (B)	10200	10200	97590	97590	856600	55200	62820	46500
全 体	10200	10200	203130	203130	1280640	366660	128740	45530
比 較 (A)/(B)	-	-	316.3%	316.3%	273.3%	4240.5%	589.7%	95.8%

現在歯数分類	70・74歳		75・79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			1787060	1787060	803480	589530	904970	591980
5 - 9 歯	467670	467670	1488250	1295580	1232960	1350480	1284080	1066310
10 - 14 歯	61950	61950	557250	557250	1100680	1215780	835440	1011060
15 - 19 歯	773670	205410	988270	1274130	457330	99930	900310	205410
19 歯 以下 (A)	570130	205410	1257890	1142600	893370	744330	969440	721050
20 歯 以上 (B)	103870	60800	685890	142020	493210	108980	407840	69060
全 体	315800	69060	984320	697770	756170	687360	685620	142020
比 較 (A)/(B)	548.9%	337.9%	183.4%	804.5%	181.1%	683.0%	237.7%	1044.1%



肺炎 年齢階級別歯周病の程度別

肺炎の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

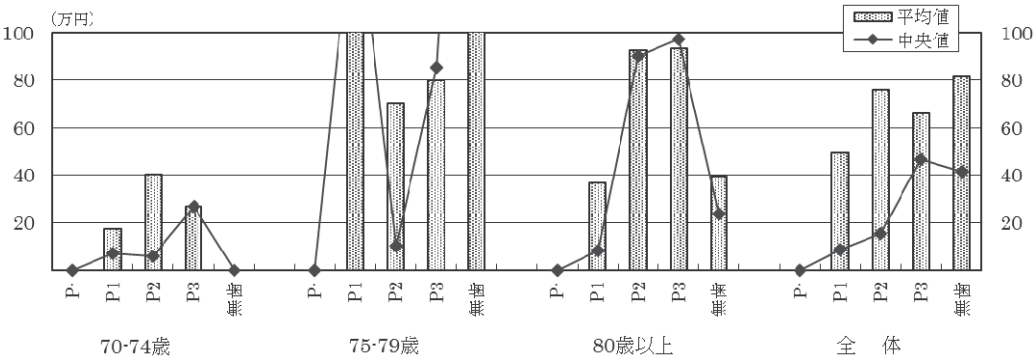
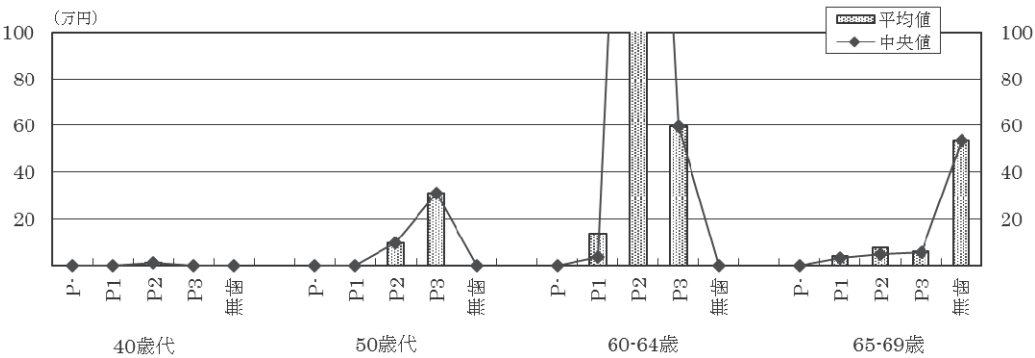
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	0	0	3	3	3	5	6	20
P2	1	1	3	6	6	11	16	44
P3	0	1	1	3	2	6	8	21
無 歯	0	0	0	2	0	1	5	8
計	1	2	7	14	11	23	35	93

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明であるが、全体では、歯周病ありでは、重度の方が診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1					137860	36630	37840	30120
P2	10200	10200	97590	97590	2652150	3814200	74780	45530
P3			308670	308670	594420	594420	57800	55260
歯 周 病 あ り (A)	10200	10200	203130	203130	1280640	366660	61300	45530
無 歯							533400	533400
全 体	10200	203130	203130	366660	1280640	45530	128740	69060
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	173530	69180	1324270	1631340	368340	80240	493950	84560
P2	402760	57810	704080	103440	925290	903000	760890	153690
P3	268370	268370	799490	854420	934540	974840	661260	467670
歯 周 病 あ り (A)	315800	69060	871050	558980	816370	718140	673460	138330
無 歯			3476310	3476310	395020	238080	814780	413810
全 体	315800	69060	984320	697770	756170	687360	685620	142020
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



肺炎 年齢階級別歯科健診受診頻度別

肺炎の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

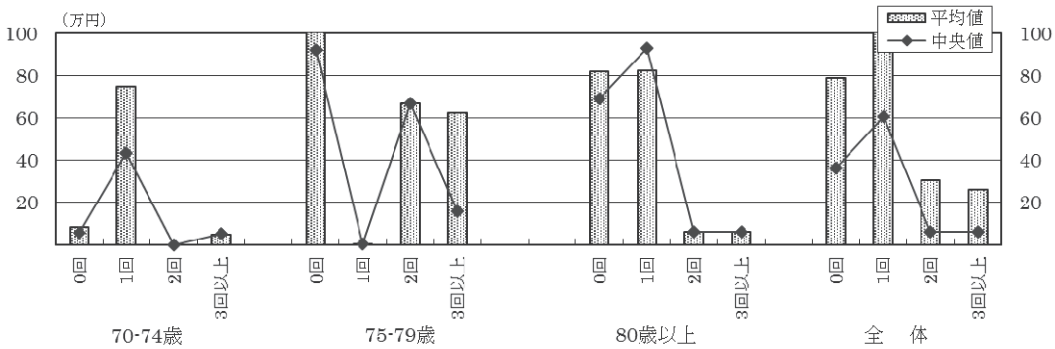
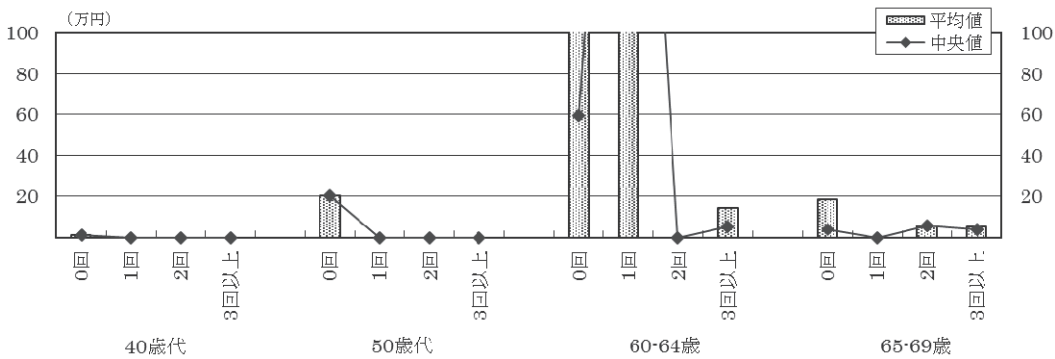
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	2	3	8	4	14	28	60
1 回	0	0	1	0	4	1	4	10
2 回	0	0	0	2	0	2	1	5
3 回以上	0	0	3	4	3	6	2	18
計	1	2	7	14	11	23	35	93

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯科健診受診頻度との関係は不明であるが、全体では、健診なし、1回が高く、2回、3回以上は低くなっていた。健診なしは健診ありの約1.6倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	10200	10200	203130	203130	1572700	594420	184330	37340
1 回					3814200	3814200		
2 回							59190	59190
3 回以上					144050	55200	52340	37380
健 診 有 り (B)					1061590	210930	54620	50880
全 体	10200	10200	203130	203130	1280640	366660	128740	45530
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	148%	282%	337%	73%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	81990	57240	1253000	924050	821310	689660	791260	364430
1 回	749390	433280	5100	5100	822560	931290	1010710	606000
2 回			669900	669900	60540	60540	303740	60540
3 回以上	49450	53670	625430	160680	59340	59340	258950	61040
健 診 有 り (B)	449410	69180	566390	142020	495640	66870	493540	69060
全 体	315800	69060	984320	697770	756170	687360	685620	142020
比 較 (A)/(B)	18%	83%	221%	651%	166%	1031%	160%	528%



歯の疾患 年齢階級別現在歯数別

歯の疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

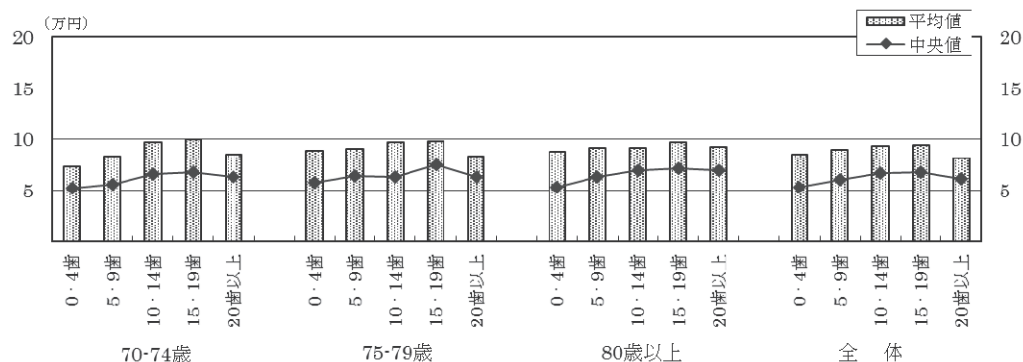
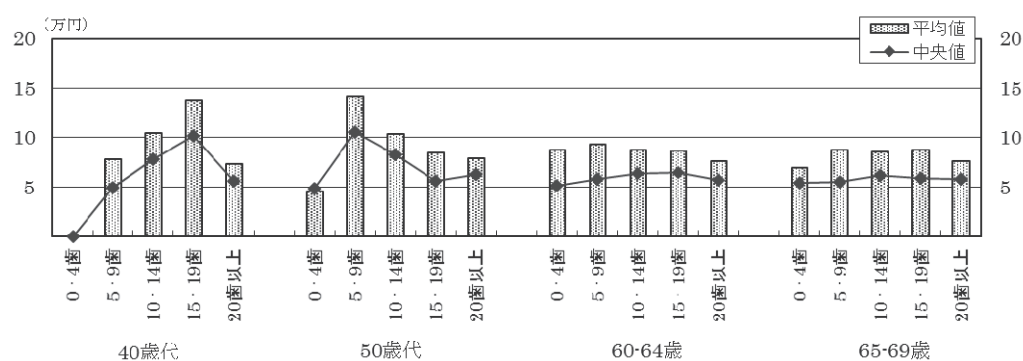
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	3	24	43	91	156	395	712
5 - 9 歯	6	10	37	112	166	248	389	968
10 - 14 歯	6	24	93	167	262	306	406	1,264
15 - 19 歯	5	42	165	298	349	425	436	1,720
20 歯以上	346	525	998	1,462	1,477	1,188	886	6,882
計	363	604	1,317	2,082	2,345	2,323	2,512	11,546

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、概ね5-19歯の診療費が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。全体でも、同様に5-19歯が高く、0-4歯と20歯以上は低くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			45810	47880	87140	51180	69170	54480
5 - 9 歯	77600	49430	141950	105360	92790	57750	87540	55250
10 - 14 歯	104980	78290	103680	82950	87040	63510	85260	62040
15 - 19 歯	138080	101790	84950	55920	86300	64800	87060	58640
19 歯以下 (A)	105050	67530	96370	63060	87330	63510	85330	57960
20 歯以上 (B)	72980	55910	78530	62460	76020	57200	76330	58170
全 体	74480	55950	80870	62630	78760	57990	79040	58080
比 較 (A)/(B)	143.9%	120.8%	122.7%	101.0%	114.9%	111.0%	111.8%	99.6%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	73850	52350	89210	57540	87620	53250	84900	53700
5 - 9 歯	83810	56250	90870	64280	91840	63000	90180	60620
10 - 14 歯	97180	65690	96950	63500	92060	70160	93320	66890
15 - 19 歯	99520	67740	97710	75660	97110	71700	94790	67950
19 歯以下 (A)	93120	63510	94770	67080	92160	65640	91860	64380
20 歯以上 (B)	85610	63210	83080	63020	92300	69650	81500	61310
全 体	88390	63270	88830	65250	92290	67500	85710	62550
比 較 (A)/(B)	108.8%	100.5%	114.1%	106.5%	99.8%	94.2%	112.7%	105.0%



歯の疾患 年齢階級別歯周病の程度別

歯の疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

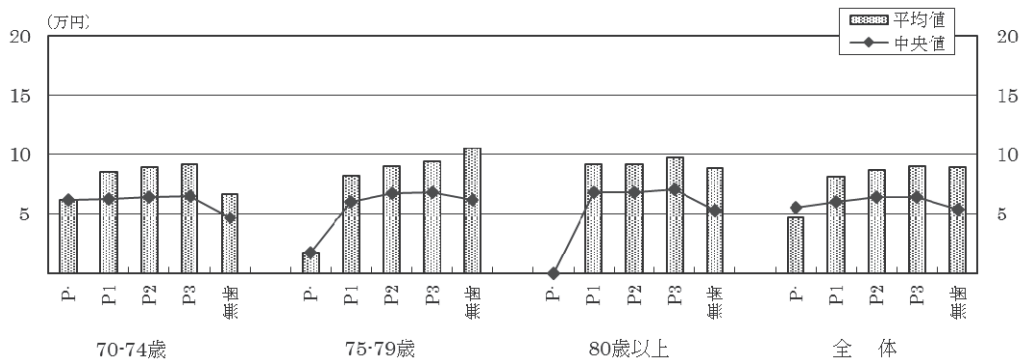
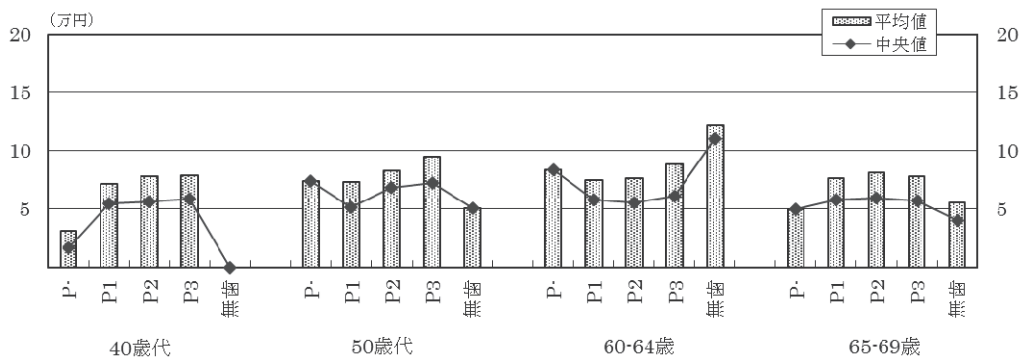
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	3	1	1	1	1	1	0	8
P1	182	228	408	628	666	623	599	3,334
P2	126	287	616	992	1,169	1,223	1,307	5,720
P3	52	87	283	454	477	422	440	2,215
無 歯	0	1	9	7	32	54	166	269
計	363	604	1,317	2,082	2,345	2,323	2,512	11,546

・診療費（一人あたり1年間、円）

P-の該当者が少なく比較できないが、歯周病ありでは概ね歯周病が重度なほど診療費が高くなっていた。全体でも、同様の傾向が認められ、歯周病ありは歯周病なしの約 1.8倍高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	31260	17100	74250	74250	83850	83850	49920	49920
P1	71740	54260	73450	51650	74430	58040	76620	57990
P2	77820	56330	82550	67920	76660	55490	81110	59150
P3	78460	58650	95160	72390	88200	60660	78290	57240
歯 周 病 あ り (A)	74840	56090	80930	62630	78460	57630	79140	58100
無 歯			50400	50400	121810	110310	55220	39870
全 体	74480	62630	80870	57630	78760	58100	79040	63510
比 較 (A)/(P-)	239.4%	328.0%	109.0%	84.3%	93.6%	68.7%	158.5%	116.4%

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	61200	61200	16800	16800			47480	55560
P1	85610	62580	81920	59760	91930	68010	81410	59780
P2	89370	63600	89960	67260	91260	67710	86530	64080
P3	91400	64680	93790	67740	97360	69960	89790	63660
歯 周 病 あ り (A)	88710	63510	88470	65280	92580	68090	85660	62730
無 歯	66440	46310	105350	61560	88260	53180	89220	53370
全 体	88390	63270	88830	65250	92290	67500	85710	62550
比 較 (A)/(P-)	144.9%	103.8%	526.6%	388.6%	-	-	180.4%	112.9%



歯の疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

歯の疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

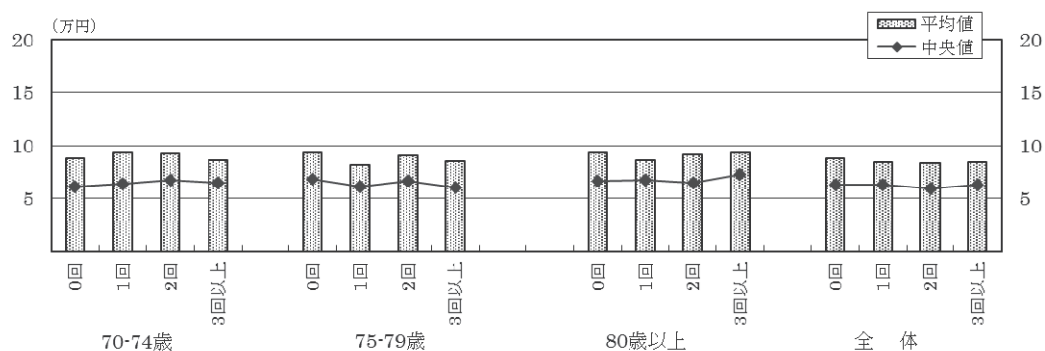
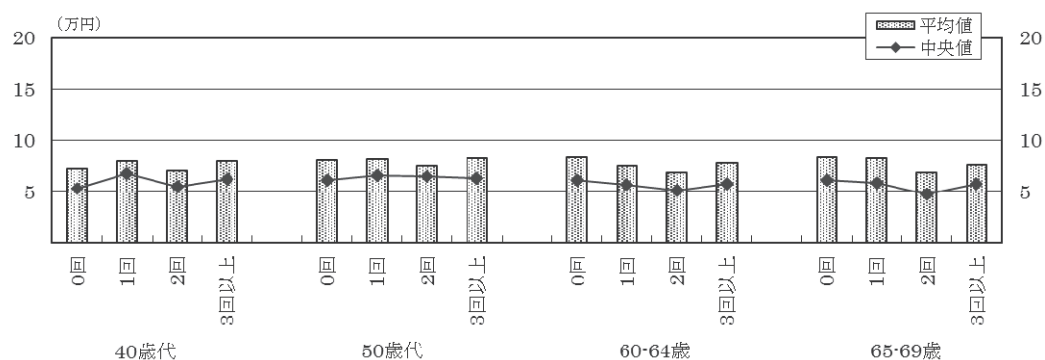
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	218	321	601	908	1,015	1,097	1,467	5,627
1 回	50	83	195	287	358	311	307	1,591
2 回	32	40	140	222	251	248	209	1,142
3 回以上	63	160	381	665	721	667	529	3,186
計	363	604	1,317	2,082	2,345	2,323	2,512	11,546

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、健診なしが最も高く、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなり3回以上では高くなる傾向が見られた。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	72460	52460	80830	60720	82720	61440	82830	60990
1 回	79490	67250	81700	65850	75240	56790	81970	58020
2 回	70290	54770	75160	65190	68650	51210	68250	47720
3 回以上	79630	62250	81930	63380	78040	57390	76200	57840
健診有り(B)	77520	62100	80910	63570	75440	55610	76110	56000
全 体	74480	55950	80870	62630	78760	57990	79040	58080
比較(A)/(B)	93%	84%	100%	96%	110%	110%	109%	109%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	87360	60600	92710	68490	93420	66060	87800	62880
1 回	92720	63630	81460	61320	85880	67500	84130	63000
2 回	92500	67530	90480	66680	91060	64740	82930	59610
3 回以上	86260	64260	85270	60450	93380	72450	83800	62490
健診有り(B)	89180	64760	85360	62280	90710	69420	83720	62280
全 体	88390	63270	88830	65250	92290	67500	85710	62550
比較(A)/(B)	98%	94%	109%	110%	103%	95%	105%	101%



(4) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別現在歯数別

生活習慣病の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

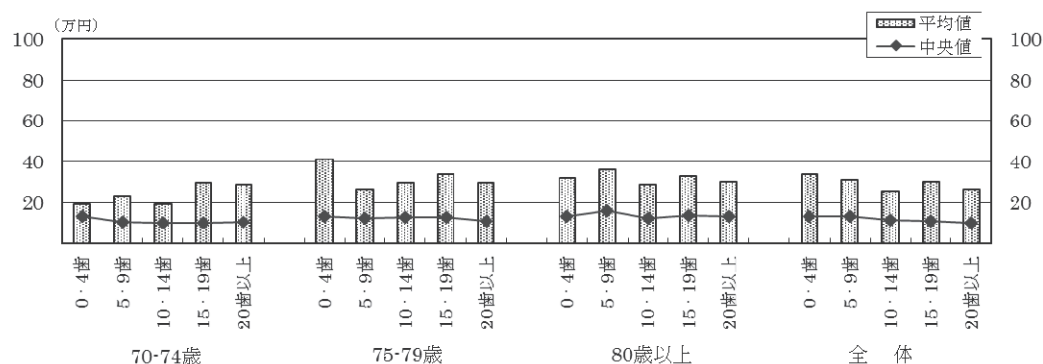
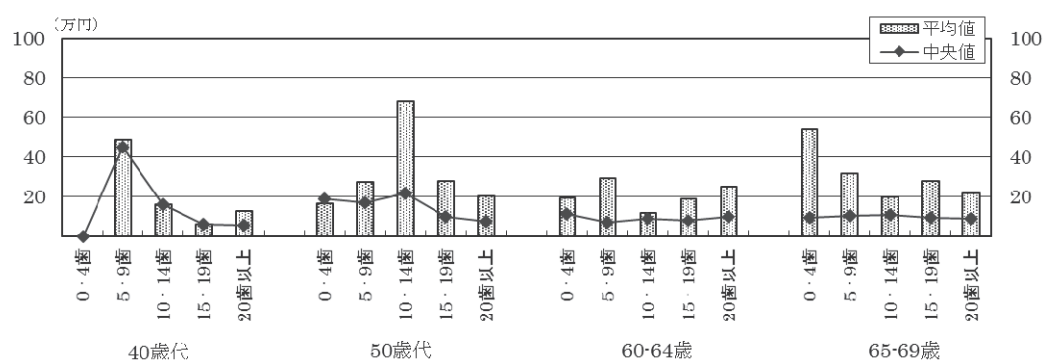
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	3	18	55	82	182	431	771
5 - 9 歯	4	6	29	87	123	206	364	819
10 - 14 歯	2	10	51	102	168	230	313	876
15 - 19 歯	2	22	96	180	254	306	335	1,195
20 歯以上	67	209	483	833	972	906	752	4,222
計	75	250	677	1,257	1,599	1,830	2,195	7,883

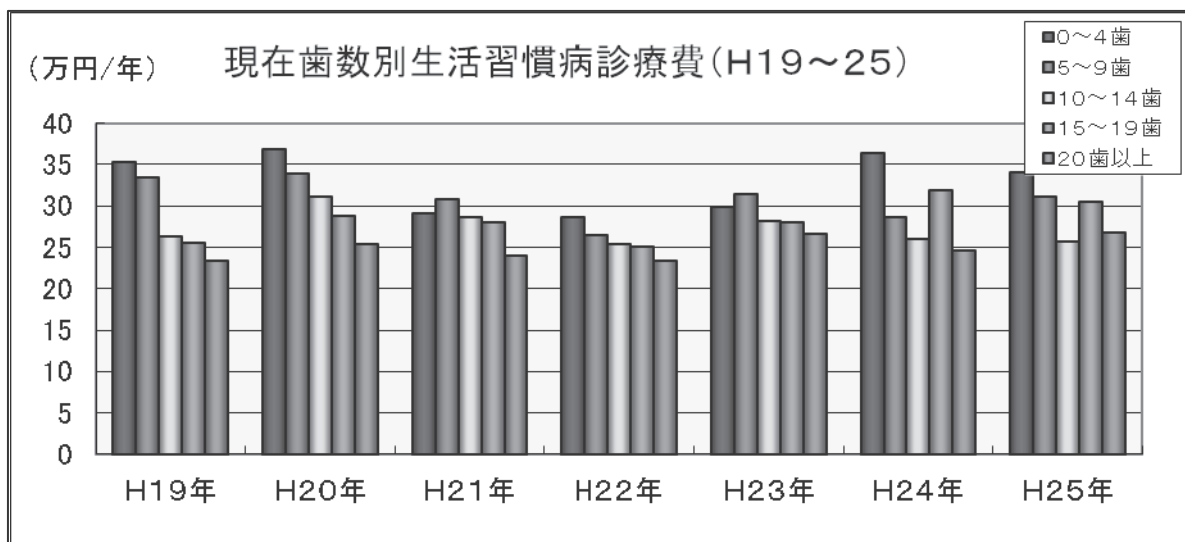
・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では 10-14 歯の平均値が低い、概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。0-4 歯は 20 歯以上の 1.2 倍高かった。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			166010	188340	195250	110960	542450	96090
5 - 9 歯	489830	450170	276950	171980	293040	69570	315450	102360
10 - 14 歯	160650	160650	683060	218580	119310	91140	200730	109080
15 - 19 歯	58830	58830	281490	96690	188070	80100	281400	93800
19 歯以下 (A)	299790	99560	370320	116130	185470	79140	302360	100170
20 歯以上 (B)	125250	55380	202010	72930	248960	97320	217450	90900
全 体	143870	65520	229610	78530	231020	92340	246250	93150
比 較 (A)/(B)	239.3%	179.8%	183.3%	159.2%	74.5%	81.3%	139.0%	110.2%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	194650	133200	410610	135120	319410	135870	340090	132390
5 - 9 歯	231040	104910	267680	126900	361490	160590	311000	134250
10 - 14 歯	192510	103350	297140	130920	288550	125370	256520	114140
15 - 19 歯	300150	100890	338770	128340	328400	139080	305380	112290
19 歯以下 (A)	243950	106110	326480	130530	329440	140390	303780	121350
20 歯以上 (B)	290070	107090	297660	113130	304810	133650	268320	104190
全 体	271990	106770	312330	121500	318360	138150	284080	110700
比 較 (A)/(B)	84.1%	99.1%	109.7%	115.4%	108.1%	105.0%	113.2%	116.5%





平成 19～25 年調査別 現在歯数別生活習慣病診療費

生活習慣病 年齢階級別歯周病の程度別

生活習慣病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

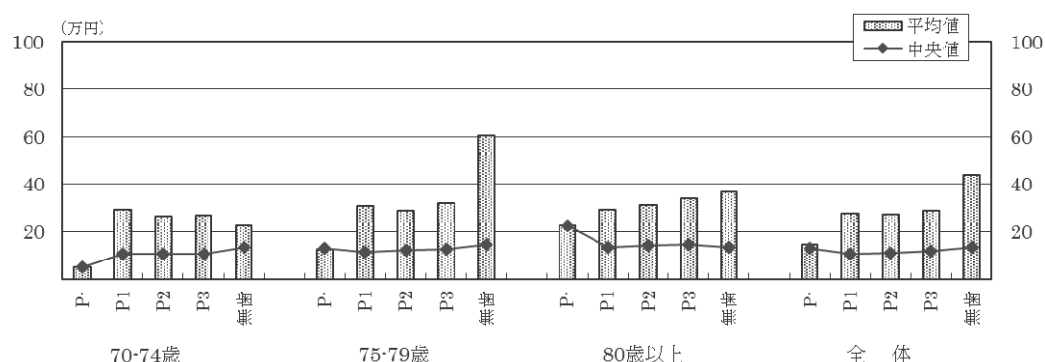
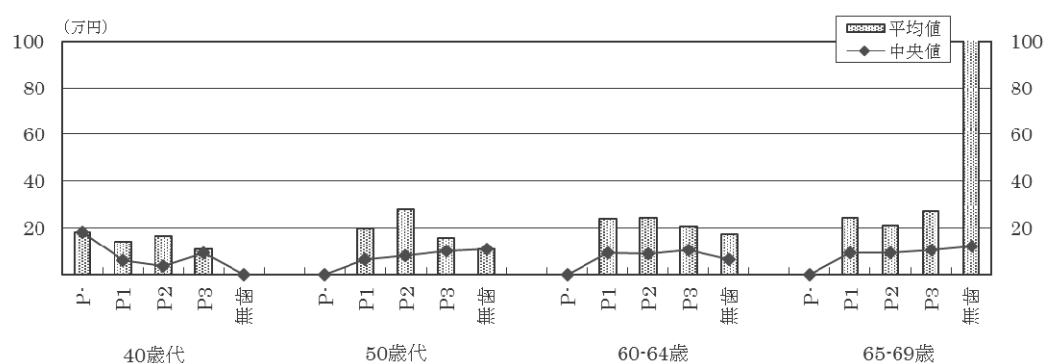
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	2	0	0	0	1	3	1	7
P1	33	95	209	391	490	484	518	2,220
P2	28	123	320	566	782	923	1,079	3,821
P3	12	30	138	281	297	345	362	1,465
無 歯	0	2	10	19	29	75	235	370
計	75	250	677	1,257	1,599	1,830	2,195	7,883

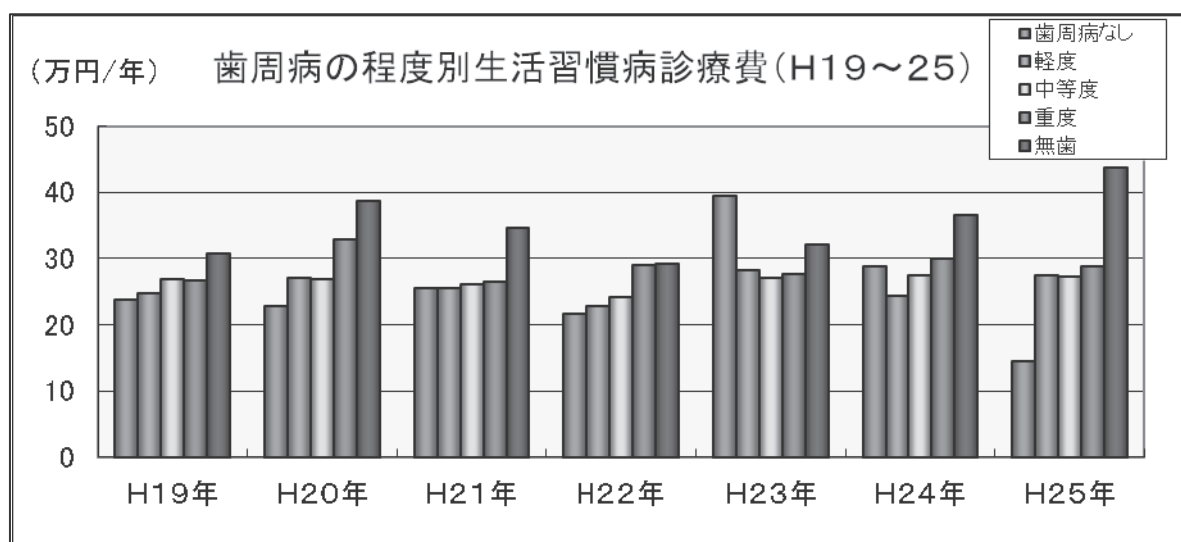
・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、P-が低く、P1～3 が高くなっていた。歯周病ありの中
では、P3 がわずかに高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	178740	178740						
P1	138470	59100	194970	62040	235700	91920	239940	92970
P2	163600	34290	276390	79080	241790	89000	209570	90500
P3	106880	91340	155720	100620	203360	104660	267900	104190
歯 周 病 あ り (A)	142910	59100	230600	78530	231930	92730	232400	92960
無 歯			106200	106200	170560	64940	1149020	121740
全 体	143870	78530	229610	92730	231020	92960	246250	106650
比 較 (A)/(P-)	80.0%	33.1%	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	51600	51600	125480	129510	224400	224400	144270	129510
P1	290710	106460	306190	112340	293440	132890	274240	105830
P2	263230	107090	289640	120870	312140	141600	273370	110580
P3	269700	107430	320060	124950	340430	143430	288770	115920
歯 周 病 あ り (A)	273040	106650	300200	120720	312420	139050	284080	110700
無 歯	222600	131970	603030	143910	368230	131730	437750	132000
全 体	271990	106770	312330	121500	318360	138150	284080	110700
比 較 (A)/(P-)	529.1%	206.7%	239.2%	93.2%	139.2%	62.0%	196.9%	85.5%





平成 19～25 年調査別 歯周病の程度別生活習慣病診療費

生活習慣病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

生活習慣病の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

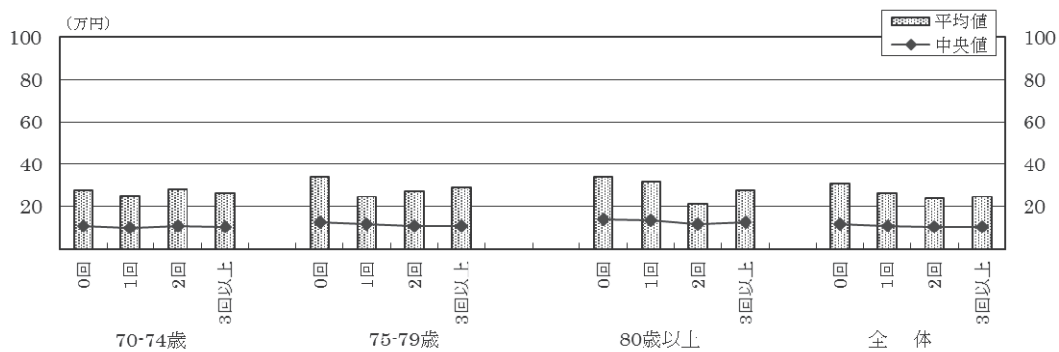
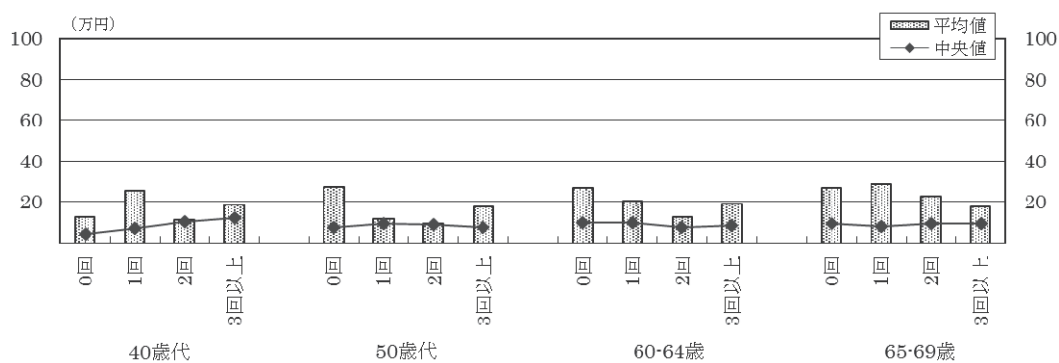
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	54	166	371	699	837	1,069	1,450	4,646
1 回	6	32	103	165	242	216	237	1,001
2 回	6	9	53	103	137	170	165	643
3 回 以上	9	43	150	290	383	375	343	1,593
計	75	250	677	1,257	1,599	1,830	2,195	7,883

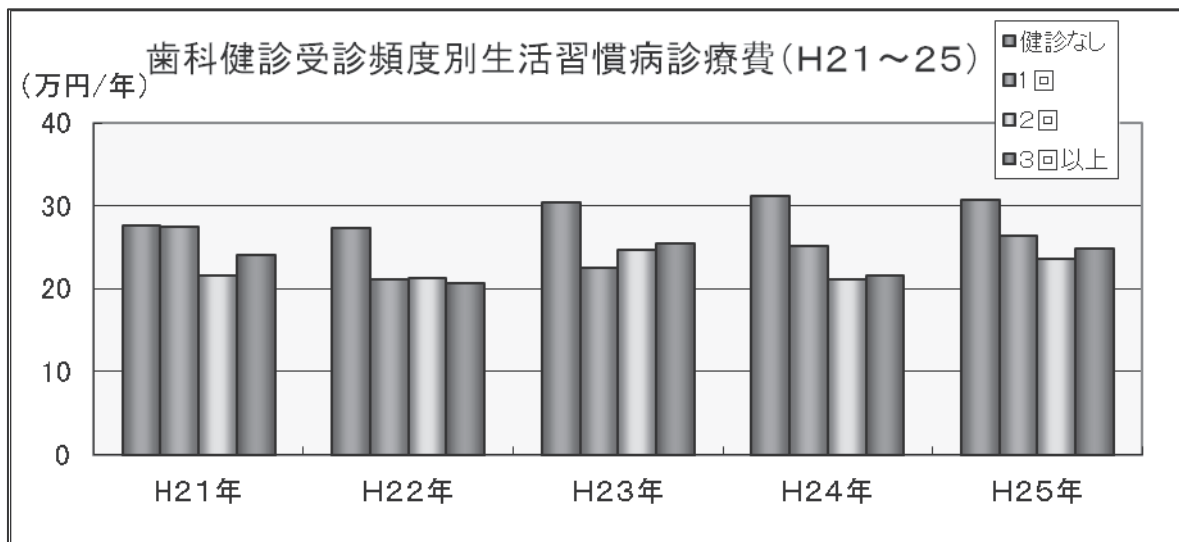
・診療費（一人あたり1年間、円）

40歳代を除き、各年齢階級とも、健診なしが健診ありより高くなり、全体では、健診なしが最も高く、歯科健診受診頻度が多くなるほど低くなり3回以上ではやや高くなっていた。健診なしは健診ありの約1.1倍高かった。

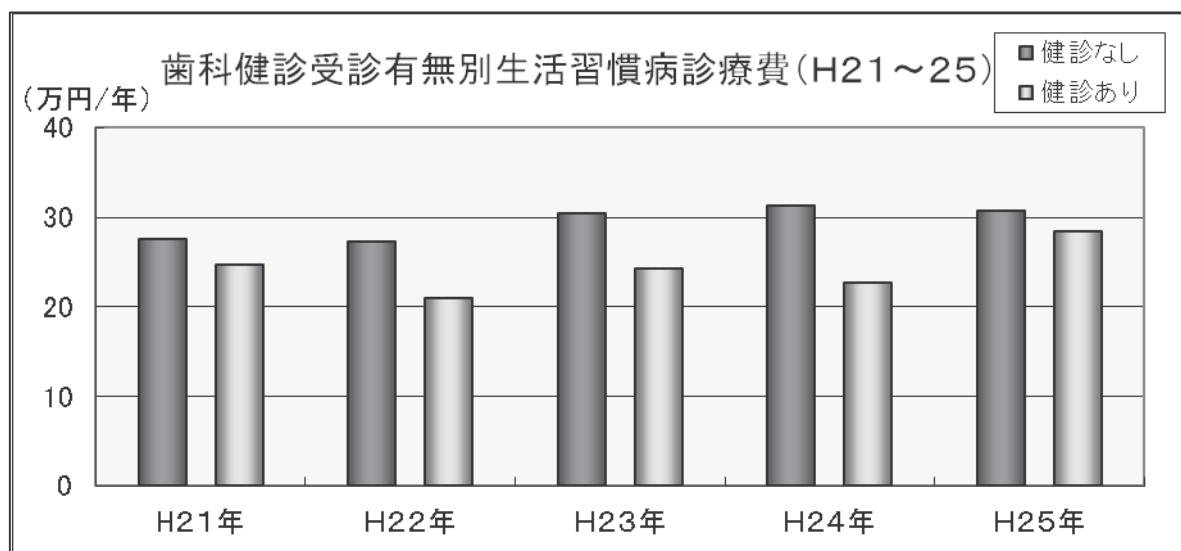
健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	127550	45090	272450	75470	269390	96930	268600	94620
1 回	255050	72630	115720	92990	205270	98160	286330	82260
2 回	113020	102140	95630	88140	128200	77250	227960	94140
3 回 以上	188250	121770	177000	76410	190150	84450	176090	94640
健 診 有 り (B)	185840	97890	144940	80850	184510	89160	218260	90890
全 体	143870	65520	229610	78530	231020	92340	246250	93150
比 較 (A)/(B)	69%	46%	188%	93%	146%	109%	123%	104%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	279040	108840	338830	128100	339550	141740	307340	116390
1 回	252350	102930	247840	117780	319020	138060	263570	109260
2 回	283870	108750	273560	111690	212370	119190	236780	103620
3 回 以上	264730	105630	291500	108180	279320	129360	248210	103800
健 診 有 り (B)	264240	104880	275100	111990	277120	130830	284080	110700
全 体	271990	106770	312330	121500	318360	138150	284080	110700
比 較 (A)/(B)	106%	104%	123%	114%	123%	108%	108%	105%





平成 19～25 年調査別 歯科健診受診頻度別生活習慣病診療費



平成 19～25 年調査別 歯科健診受診有無別生活習慣病診療費

まとめ・考察（Ⅰ）

A 平成 25 年 5 月歯科受診者の状況

現在歯数の状況

- ・平成 25 年 5 月に香川県下の歯科医院を受診した調査対象者の現在歯数の状況をみると、80 歳以上の平均現在歯数は 13.6 本で、20 歯以上の歯を有する 8020 達成者の割合は 32.8%であった。これは、昨年の調査より、現在歯数では 0.4 本多く、8020 達成者の割合で 2.5%多くなり過去最高となった。また、79 歳以下の各年齢階級においても、40 歳代の平均現在指数を除き、平均現在歯数、20 歯以上の歯を有する者の割合とも、昨年、一昨年来を上回り過去最高となり、全体的にも現在歯数は着実に増加している。

歯周病の状況

- ・有歯者のうち歯周病がある者（P1～P3）は、40 歳代で 99.4%、50 歳代では 99.7%、60 歳以上では 99.9%、80 歳以上では 100%とほぼ全ての者が歯周病に罹患していた。

歯科健診受診頻度の状況

- ・歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳の年齢階級が約 45～48%と高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて減少していた。この傾向はこれまでの調査と変わらないが、今回は、各年齢階級において、昨年より、歯科健診受診者の割合は減少していた。しかし、3 回以上の割合は、昨年より増加しており、かかりつけ歯科医においてメンテナンスを行う者が増加していると思われる。

B 平成 25 年 5 月に歯科を受診し、平成 24 年 5, 8, 11, 平成 25 年 2 月に受診した者の状況

現在歯数と診療日数・診療費の関係

- ・現在歯数と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、15-19 歯の診療日数・診療費がやや高くなっていたが、概ね現在歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。この傾向はこれまでの調査と同じである。
- ・歯科の診療日数・診療費は、5-19 歯で多く、0-4 歯と 20 歯以上では少なくなっていた。これは、中程度の欠損歯数が治療において多くの補綴装置を必要とするためと考えられる。

歯周病の程度と診療日数・診療費の関係

- ・歯周病の程度と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、P-が歯周病ありと比べて平均値、中央値ともかなり低く、歯周病ありの中では、P1が低く、P2 で最も高くなり、P3 は P2 よりやや低くなっていた。
- ・平成 23 年、24 年の結果では P-が高くなっていたが、これは電子レセプト移行に伴い、平成 23 年より 5 月歯科受診者データの歯科医院からの提出方法をそれまでのレセプト記入から、レセプトとは別の調査結果記入用紙またはエクセル表への記入に変更したため、P-と無歯のものが混同していた可能性があり、その影響があったものと考えられる。今年は、提出されたデータを事前にチェックし、現在歯数が 0 のものは歯周病の程度でも無歯に分類した上で分析を行った結果、P-がかなり低くなった。
- ・歯科では、平均値、中央値とも P-が最も低く、歯周病の程度が重度なほど、診療日数・診療費は増加していた。

歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係

- ・歯科健診受診頻度と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、健診なしが最も高く、健診回数が増えるほど低くなっていた。このことは、歯の健康に関する意識が高く健診を受診する人ほど、医療費も少なくなることを示唆している。
- ・歯科では、診療日数、診療費とも、健診なしが最も高くなっていたが、健診ありとの差はほとんどなかった。

19 分類疾病別の状況

- ・19 分類疾病別の現在歯数と診療日数・診療費の関係では、内分泌、循環器系、筋骨格系において現在歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。
- ・19 分類疾病別の歯周病の程度と診療日数・診療費の関係では、感染症、内分泌、精神、呼吸器系、皮膚、尿路性器系で歯周病の程度が重いほど診療日数・診療費が増加していた。
- ・19 分類疾病別の歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係では、循環器系、呼吸器系、消化器系、症状・徴候、損傷・中毒で歯科健診受診頻度が多いほど診療日数・診療費が増加していた。

主要疾病別の状況

- ・主要疾病別分析では、糖尿病、高血圧性疾患において、残存歯数が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。また、虚血性心疾患、歯の疾患において、歯周病の程度が重度になるほど、診療費が高くなる傾向が見られた。また、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、歯の疾患において、歯科健診受診頻度が多くなるほど、診療費が低くなる傾向が見られた。
- ・昨年から肺炎についても分析を行っているが、対象者が 93 名と少なく、はっきりとした傾向はつかめないが、歯周病の程度との関係では、歯周病が重度になるほど、肺炎の診療費が高くなる傾向があった。

生活習慣病の状況

- ・生活習慣病の診療費は、10-14 歯の平均値がやや低くなっていたが、概ね現在歯数が少なくなるほど高くなっていた。歯周病の程度については、今年は P-がかなり低く、歯周病ありの中では、わずかながら歯周病の程度が重度になるほど、平均診療費が高くなっていた。また歯科健診受診頻度については、健診なしが最も高く、健診回数が 1 回、2 回と増えるほど低くなり、3 回以上でやや高くなっていた。

Ⅱ 平成24年度特定健診受診者の特定健診結果

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

平成20年度から特定健診・特定保健指導が始まったが、歯科に関する質問項目は含まれていない。当初より香川県では市町国保の特定健診および後期高齢者健診（以下特定健診という）の質問票に香川県独自の歯科に関する7項目の質問（下表）を追加している。この質問項目から下図の方法で歯科階層化判定を行い、歯科保健指導モデル事業を行っている。

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成23年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、その属性および歯科階層化判定別と歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」、項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目7「定期的に（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目5×7）に特定健診結果の分析を行った。なお、以下、項目5も7も「はい」を「5-Y 7-Y」、5が「はい」で7は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5が「いいえ」で7が「はい」を「5-N 7-Y」、5も7も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

表 特定健診における歯科質問票

歯について	1	何でもかんで食べられる	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	2	歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることがある	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	3	歯ぐきが腫れることがある	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	4	歯がぐらぐらする	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	5	デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	6	フッ素入り歯みがき剤を使っている	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	7	定期的（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ

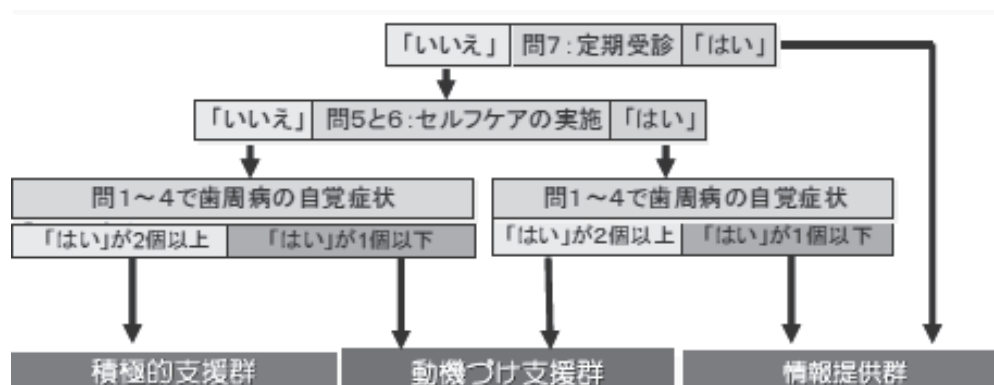


図 歯科保健指導モデル事業における歯科階層化判定方法

※問5と6では、2個とも「はい」の場合「はい」に判定、1個でも「いいえ」があれば「いいえ」に判定

※問1～4で「はい」の個数は、問1は「いいえ」を「はい」と読み替え、問2～4は「はい」を用いて判定

二 調査・分析結果

A 平成 24 年度特定健診受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった特定健診受診者 96,940 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40-64歳	6,957	18.6%	11,200	18.8%
65-74歳	14,270	38.1%	21,097	35.5%
75歳以上	16,252	43.4%	27,164	45.7%
合計	37,479	100.0%	59,461	100.0%

(2) 対象者の歯科階層化判定の状況

2-1 年齢階級別歯科階層化判定別人数

年齢階級別歯科階層化判定について人数並びに割合を表 A-2 および図 A-2 に示す。

積極的支援の割合は、40-64 歳が 11.4%、65-74 歳が 8.4%、75 歳以上は 7.1%と年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各階層化判定別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-2

年齢階級	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	総数
40 - 64歳	9,125	6,971	2,061	18,157
65 - 74歳	21,032	11,350	2,985	35,367
75歳以上	22,933	17,383	3,100	43,416
合計	53,090	35,704	8,146	96,940
40 - 64歳	50.3%	38.4%	11.4%	100.0%
65 - 74歳	59.5%	32.1%	8.4%	100.0%
75歳以上	52.8%	40.0%	7.1%	100.0%
合計	54.8%	36.8%	8.4%	100.0%

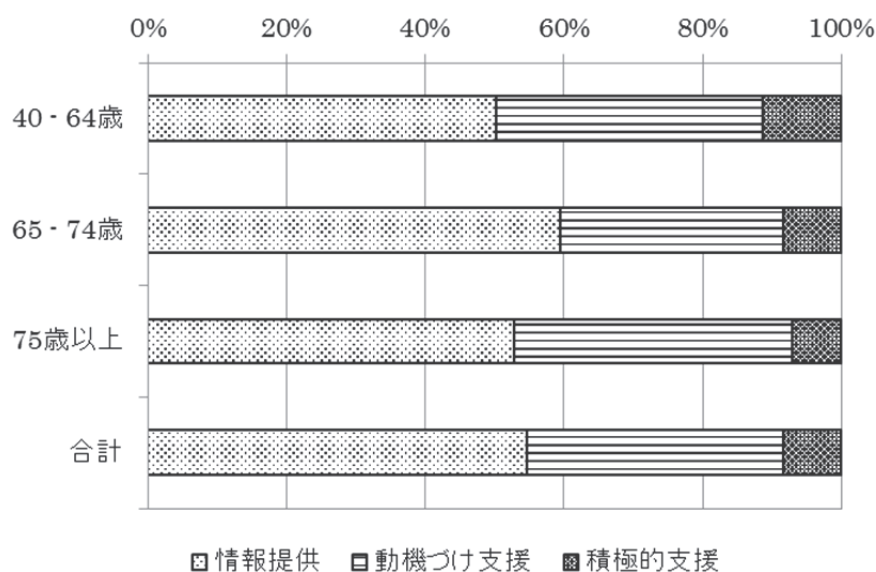


図 A-2

(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況

3-1 年齢階級別歯科質問項目1回答別人数

年齢階級別歯科質問項目1回答について人数ならびに割合を表 A-3 および図 A-3 に示す。
 歯科質問項目1に「はい」(何でもかんで食べられる)と回答したのは、40-64歳が89.3%、65-74歳が86.6%、75歳以上が78%で、年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各回答別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-3

年齢階級	はい	いいえ	無回答	総数
40・64歳	16,213	1,884	60	18,157
65・74歳	30,620	4,549	198	35,367
75歳以上	33,876	8,166	1,374	43,416
合計	80,709	14,599	1,632	96,940
40・64歳	89.3%	10.4%	0.3%	100.0%
65・74歳	86.6%	12.9%	0.6%	100.0%
75歳以上	78.0%	18.8%	3.2%	100.0%
合計	83.3%	15.1%	1.7%	100.0%

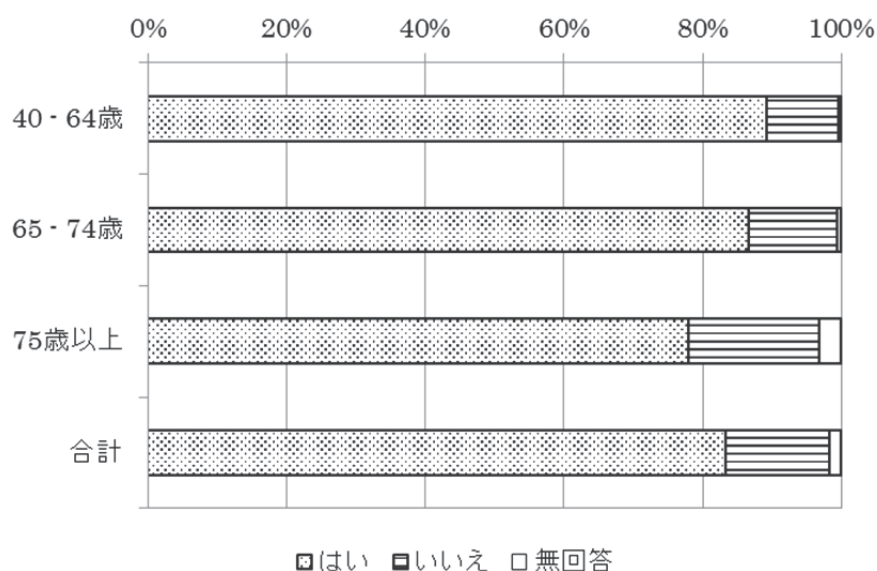


図 A-3-2 年齢階級別歯科質問項目1回答別割合

(4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況

4-1 年齢階級別項目5×7回答別人数

年齢階級別項目5×7回答について人数ならびに割合を表 A-4 および図 A-4 に示す。

質問項目5は補助清掃器具を使ったセルフケアの実施、質問項目7は定期健診の受診を表している。両方とも行っているほうが口腔の健康への関心が高いと考えられ、逆に行っていないほうは関心が低いと考えられる。「5-Y 7-Y」の割合は、65-74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順に多く、「5-N 7-N」の割合は逆に、75 歳以上、40-64 歳、65-74 歳の順に多かった。全体としては、「5-N 7-N」の割合が最も多く 36.1%、その次が「5-Y 7-Y」の 29.2%、そして「5-Y 7-N」の 17.7%、「5-N 7-Y」の 15.2%と続いた。各年齢階級で「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回ったのは 65-74 歳のみであった。

表 A-4

年齢階級	5-Y 7-Y	5-Y 7-N	5-N 7-Y	5-N 7-N	分類不能	総数
40 - 64歳	4,935	3,631	2,532	6,998	61	18,157
65 - 74歳	12,374	6,407	5,306	11,077	203	35,367
75歳以上	11,028	7,106	6,914	16,953	1,415	43,416
合計	28,337	17,144	14,752	35,028	1,679	96,940
40 - 64歳	27.2%	20.0%	13.9%	38.5%	0.3%	100.0%
65 - 74歳	35.0%	18.1%	15.0%	31.3%	0.6%	100.0%
75歳以上	25.4%	16.4%	15.9%	39.0%	3.3%	100.0%
合計	29.2%	17.7%	15.2%	36.1%	1.7%	100.0%

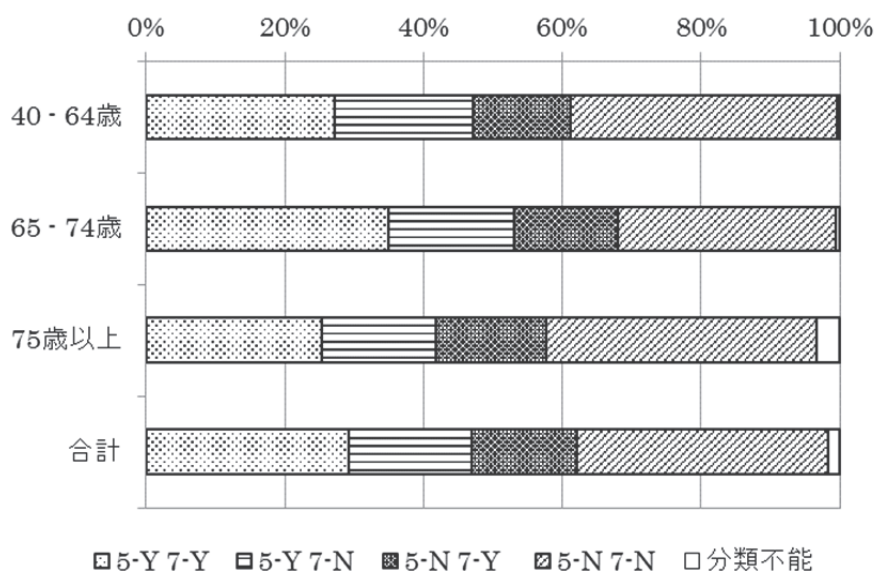


図 A-4-2 年齢階級別歯科質問項目 5 回答別割合

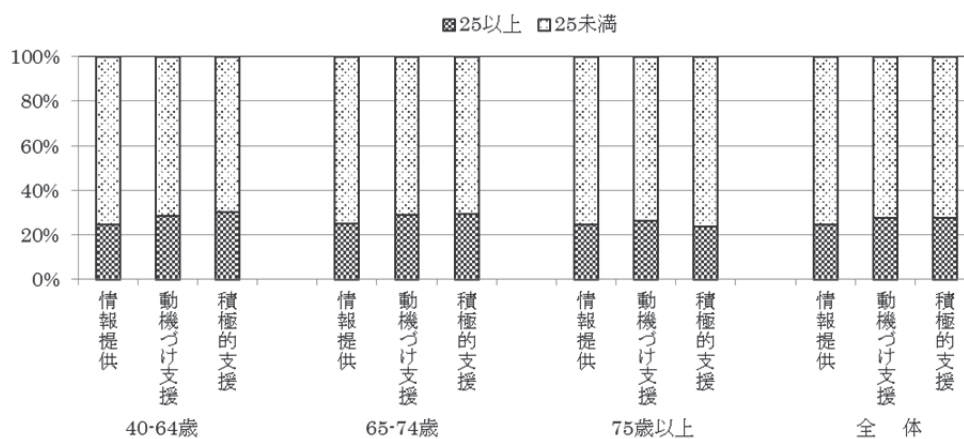
B 平成 24 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目 1 回答別、特定健診結果の状況

1-1 歯科階層化判定別 BMI

BMIは、肥満度の判定基準のひとつで、25 以上であると特定保健指導の対象となる。
 BMI25 以上の割合は、40-64 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。
 65-74 歳では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高かった。
 75 歳以上では、積極的支援が情報提供、動機づけ支援より低くなっていた。
 全体では、情報提供が、動機づけ支援、積極的支援より低くなっていた。
 これらの傾向は昨年との調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	情報提供	9,125	6,903	2,222	75.6%	24.4%
	動機づけ支援	6,971	4,985	1,986	71.5%	28.5%
	積極的支援	2,061	1,437	624	69.7%	30.3%
65-74歳	情報提供	21,032	15,765	5,267	75.0%	25.0%
	動機づけ支援	11,350	8,057	3,293	71.0%	29.0%
	積極的支援	2,985	2,105	880	70.5%	29.5%
75歳以上	情報提供	22,933	17,305	5,628	75.5%	24.5%
	動機づけ支援	17,383	12,791	4,592	73.6%	26.4%
	積極的支援	3,100	2,368	732	76.4%	23.6%
全 体	情報提供	53,090	39,973	13,117	75.3%	24.7%
	動機づけ支援	35,704	25,833	9,871	72.4%	27.6%
	積極的支援	8,146	5,910	2,236	72.6%	27.4%



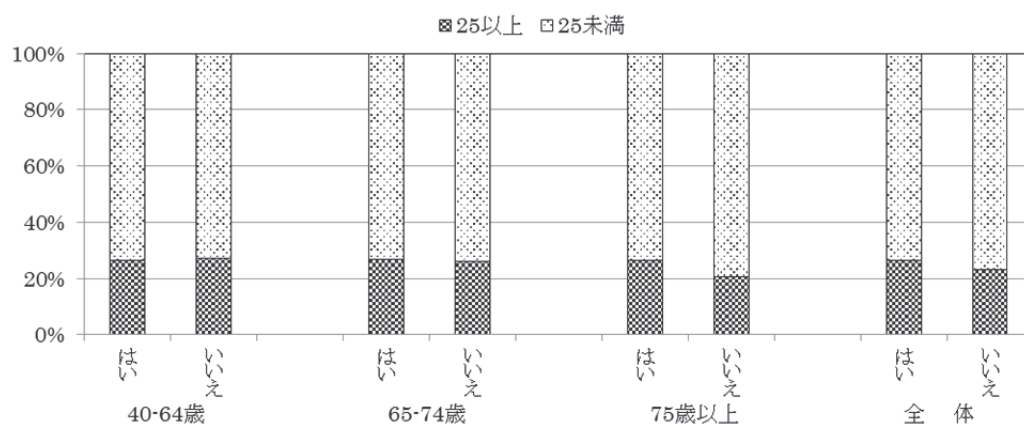
1-2 歯科質問項目 1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI

BMI25以上の割合は、40-64歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、65-74歳、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人よりBMI25以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

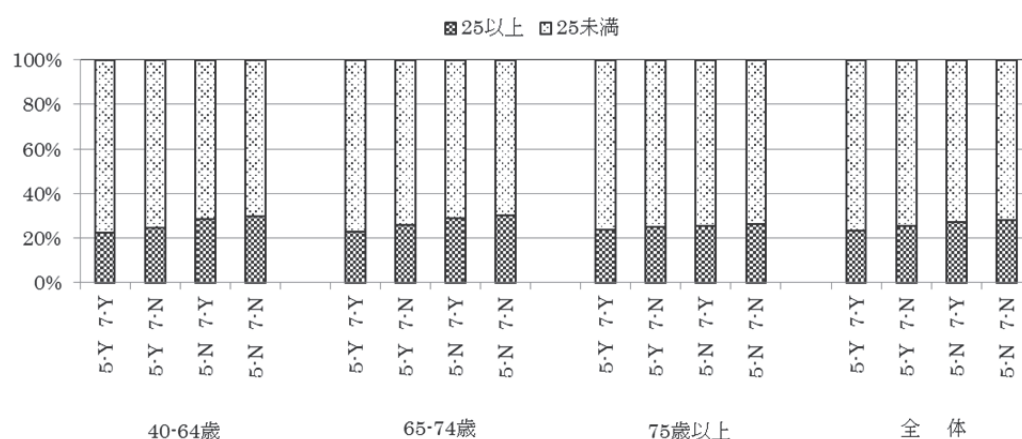
年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	はい	16,213	11,914	4,299	73.5%	26.5%
	いいえ	1,884	1,374	510	72.9%	27.1%
	無回答	60	37	23	61.7%	38.3%
65-74歳	はい	30,620	22,427	8,193	73.2%	26.8%
	いいえ	4,549	3,367	1,182	74.0%	26.0%
	無回答	198	133	65	67.2%	32.8%
75歳以上	はい	33,876	24,960	8,916	73.7%	26.3%
	いいえ	8,166	6,497	1,669	79.6%	20.4%
	無回答	1,374	1,007	367	73.3%	26.7%
全 体	はい	80,709	59,301	21,408	73.5%	26.5%
	いいえ	14,599	11,238	3,361	77.0%	23.0%
	無回答	1,632	1,177	455	72.1%	27.9%



1-3 歯科質問項目 5×7回答別 BMI

全ての年齢階級で、BMI25以上の者の割合が「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に高かった。BMI25以上の占める割合は、全体では「5-N 7-N」の方が「5-Y 7-Y」よりも5.1%高かった。この傾向がもっとも強く表れていたのは40-64歳で、「5-N 7-N」と「5-Y 7-Y」の差が7.8%あった。5-Yと5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、BMI25以上の者の割合に3.0%～4.0%の違いがみられ、BMIに関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアの影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	3,838	1,097	77.8%	22.2%
	5-Y 7-N	3,631	2,739	892	75.4%	24.6%
	5-N 7-Y	2,532	1,809	723	71.4%	28.6%
	5-N 7-N	6,998	4,902	2,096	70.0%	30.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	9,527	2,847	77.0%	23.0%
	5-Y 7-N	6,407	4,750	1,657	74.1%	25.9%
	5-N 7-Y	5,306	3,773	1,533	71.1%	28.9%
	5-N 7-N	11,077	7,740	3,337	69.9%	30.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	8,415	2,613	76.3%	23.7%
	5-Y 7-N	7,106	5,330	1,776	75.0%	25.0%
	5-N 7-Y	6,914	5,171	1,743	74.8%	25.2%
	5-N 7-N	16,953	12,510	4,443	73.8%	26.2%
全 体	5-Y 7-Y	28,337	21,780	6,557	76.9%	23.1%
	5-Y 7-N	17,144	12,819	4,325	74.8%	25.2%
	5-N 7-Y	14,752	10,753	3,999	72.9%	27.1%
	5-N 7-N	35,028	25,152	9,876	71.8%	28.2%



1-4 歯科階層化判定別 腹囲

腹囲は、男性85cm以上、女性90cm以上で、特定保健指導の対象となる。

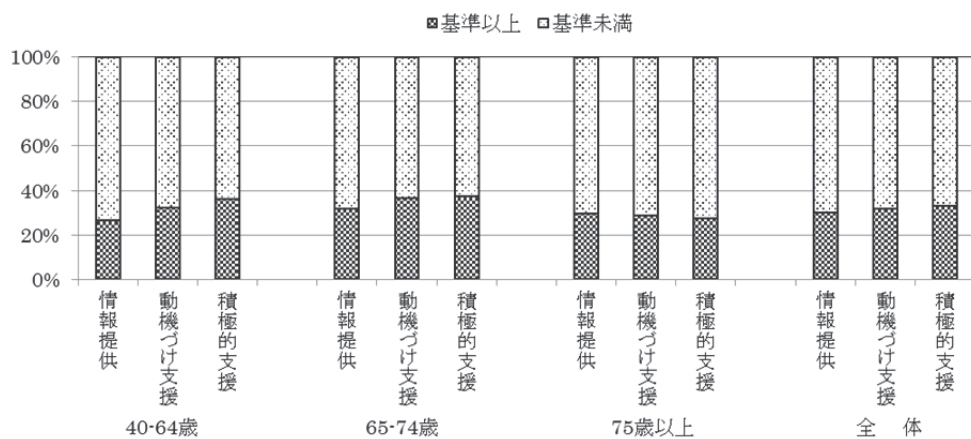
この基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていった。しかし、75 歳以上では、歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

これらの傾向は昨年との調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	情報提供	9,125	6,698	2,427	73.4%	26.6%
	動機づけ支援	6,971	4,715	2,256	67.6%	32.4%
	積極的支援	2,061	1,318	743	63.9%	36.1%
65-74歳	情報提供	21,032	14,340	6,692	68.2%	31.8%
	動機づけ支援	11,350	7,213	4,137	63.6%	36.4%
	積極的支援	2,985	1,874	1,111	62.8%	37.2%
75歳以上	情報提供	22,933	16,150	6,783	70.4%	29.6%
	動機づけ支援	17,383	12,365	5,018	71.1%	28.9%
	積極的支援	3,100	2,247	853	72.5%	27.5%
全 体	情報提供	53,090	37,188	15,902	70.0%	30.0%
	動機づけ支援	35,704	24,293	11,411	68.0%	32.0%
	積極的支援	8,146	5,439	2,707	66.8%	33.2%

基準:男性 85cm、女性 90cm



1-5 歯科質問項目 1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲

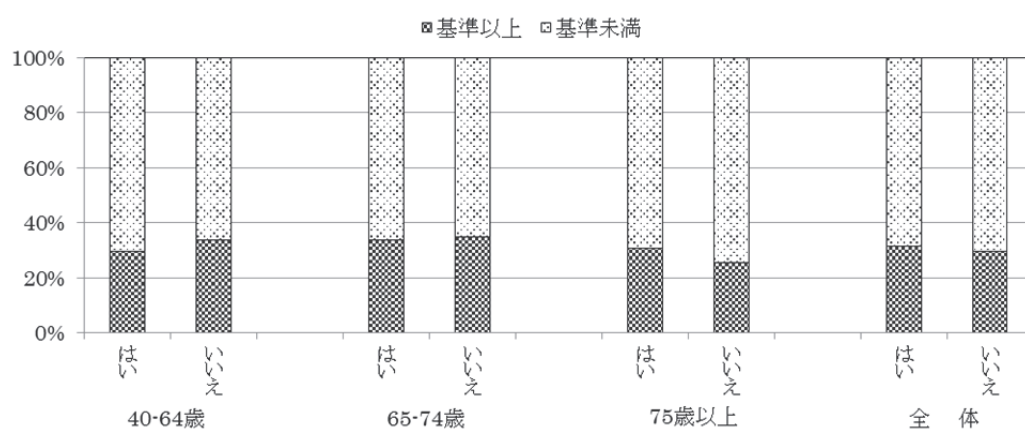
基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、75 歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より腹囲が基準以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	はい	16,213	11,444	4,769	70.6%	29.4%
	いいえ	1,884	1,251	633	66.4%	33.6%
	無回答	60	36	24	60.0%	40.0%
65-74歳	はい	30,620	20,340	10,280	66.4%	33.6%
	いいえ	4,549	2,970	1,579	65.3%	34.7%
	無回答	198	117	81	59.1%	40.9%
75歳以上	はい	33,876	23,525	10,351	69.4%	30.6%
	いいえ	8,166	6,084	2,082	74.5%	25.5%
	無回答	1,374	1,153	221	83.9%	16.1%
全 体	はい	80,709	55,309	25,400	68.5%	31.5%
	いいえ	14,599	10,305	4,294	70.6%	29.4%
	無回答	1,632	1,306	326	80.0%	20.0%

基準:男性 85cm、女性 90cm



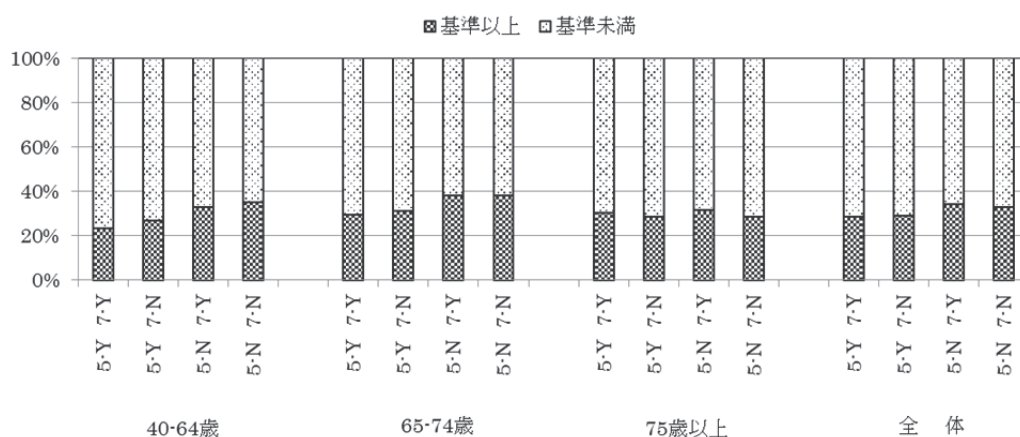
1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲

基準以上の割合は、全体としては「5-N 7-Y」が最も高く、次いで、「5-N 7-N」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に低くなっていた。また、基準以上の割合は、「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が高かった。

40-64 歳、65-74 歳もこの傾向がみられたが、75 歳以上のみ「5-N 7-N」で基準以上の割合が最も低くなっていた。5-Y と 5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、基準以上の割合に 3.8%～5.7%の違いがみられ、腹囲に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアのほうが影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	3,789	1,146	76.8%	23.2%
	5-Y 7-N	3,631	2,651	980	73.0%	27.0%
	5-N 7-Y	2,532	1,695	837	66.9%	33.1%
	5-N 7-N	6,998	4,560	2,438	65.2%	34.8%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	8,758	3,616	70.8%	29.2%
	5-Y 7-N	6,407	4,415	1,992	68.9%	31.1%
	5-N 7-Y	5,306	3,283	2,023	61.9%	38.1%
	5-N 7-N	11,077	6,850	4,227	61.8%	38.2%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	7,690	3,338	69.7%	30.3%
	5-Y 7-N	7,106	5,082	2,024	71.5%	28.5%
	5-N 7-Y	6,914	4,720	2,194	68.3%	31.7%
	5-N 7-N	16,953	12,089	4,864	71.3%	28.7%
全 体	5-Y 7-Y	28,337	20,237	8,100	71.4%	28.6%
	5-Y 7-N	17,144	12,148	4,996	70.9%	29.1%
	5-N 7-Y	14,752	9,698	5,054	65.7%	34.3%
	5-N 7-N	35,028	23,499	11,529	67.1%	32.9%

基準:男性 85cm、女性 90cm



1-7 歯科階層化判定別 HbA1c(JDS値)

HbA1cは、血糖状態の指標のひとつで、5.2%以上で特定保健指導の選定基準となり、6.1%以上で糖尿病の診断基準となる。

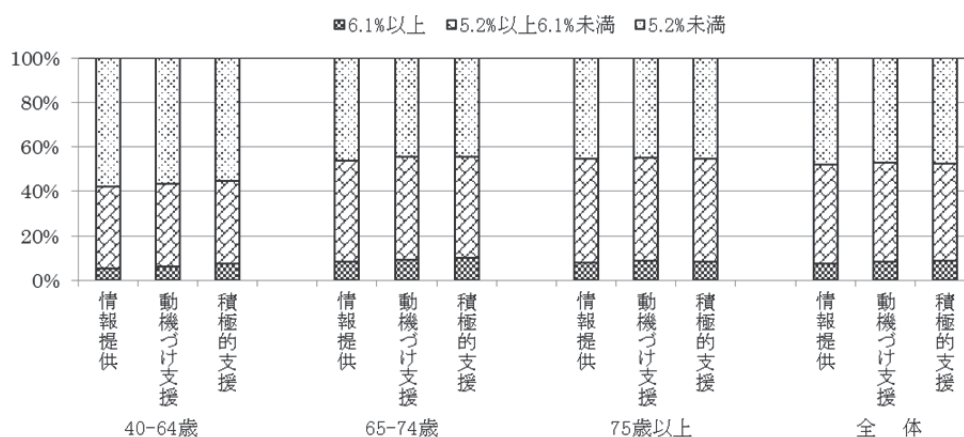
HbA1cが6.1%以上の割合は、40-64歳で歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。65-74歳でも、情報提供が低く、動機づけ支援、積極的支援が高くなっていた。75歳以上では、積極的支援が最も低くなっていた。

全体では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高くなっていた。

昨年はHbA1cが6.1%以上の割合は全体で、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていたが、今年はこの傾向がやや変わっていた。

HbA1cが5.2%以上でみても、同様の傾向であった。

年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	情報提供	9,125	5,277	3,353	495	57.8%	36.7%	5.4%
	動機づけ支援	6,971	3,945	2,601	425	56.6%	37.3%	6.1%
	積極的支援	2,061	1,137	773	151	55.2%	37.5%	7.3%
65-74歳	情報提供	21,032	9,750	9,532	1,750	46.4%	45.3%	8.3%
	動機づけ支援	11,350	5,059	5,263	1,028	44.6%	46.4%	9.1%
	積極的支援	2,985	1,330	1,350	305	44.6%	45.2%	10.2%
75歳以上	情報提供	22,933	10,357	10,736	1,840	45.2%	46.8%	8.0%
	動機づけ支援	17,383	7,833	8,021	1,529	45.1%	46.1%	8.8%
	積極的支援	3,100	1,398	1,439	263	45.1%	46.4%	8.5%
全 体	情報提供	53,090	25,384	23,621	4,085	47.8%	44.5%	7.7%
	動機づけ支援	35,704	16,837	15,885	2,982	47.2%	44.5%	8.4%
	積極的支援	8,146	3,865	3,562	719	47.4%	43.7%	8.8%



1-8 歯科質問項目 1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c(JDS値)

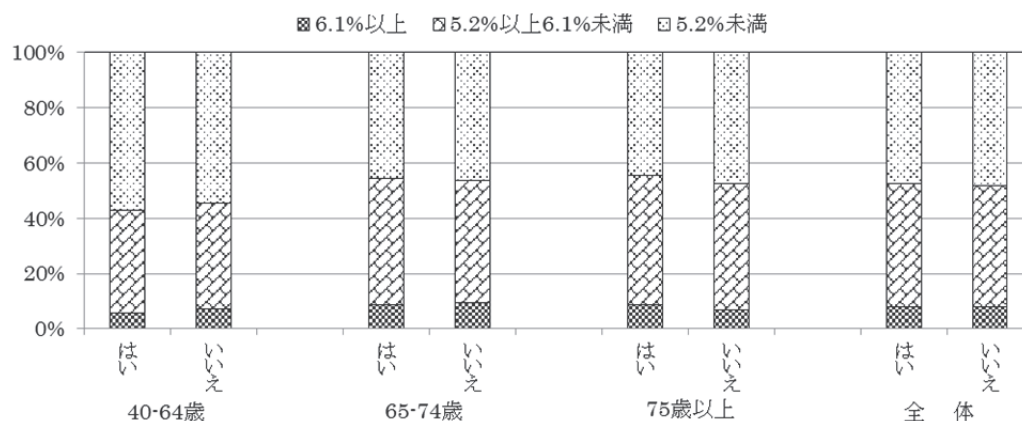
HbA1cが6.1%以上の割合は、40-64歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし65-74歳では同等、75歳以上では「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、「はい」は「いいえ」よりHbA1cが6.1%以上の割合が高くなっていた。

HbA1cが5.2%以上で見てもほぼ同様の傾向であった。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

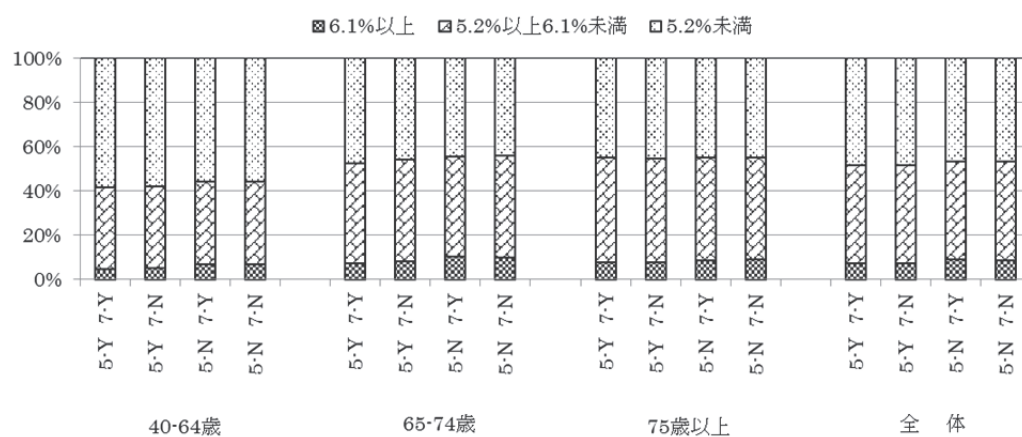
年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	はい	16,213	9,299	5,990	924	57.4%	36.9%	5.7%
	いいえ	1,884	1,029	716	139	54.6%	38.0%	7.4%
	無回答	60	31	21	8	51.7%	35.0%	13.3%
65-74歳	はい	30,620	13,956	14,044	2,620	45.6%	45.9%	8.6%
	いいえ	4,549	2,110	2,003	436	46.4%	44.0%	9.6%
	無回答	198	73	98	27	36.9%	49.5%	13.6%
75歳以上	はい	33,876	15,045	15,902	2,929	44.4%	46.9%	8.6%
	いいえ	8,166	3,894	3,700	572	47.7%	45.3%	7.0%
	無回答	1,374	649	594	131	47.2%	43.2%	9.5%
全 体	はい	80,709	38,300	35,936	6,473	47.5%	44.5%	8.0%
	いいえ	14,599	7,033	6,419	1,147	48.2%	44.0%	7.9%
	無回答	1,632	753	713	166	46.1%	43.7%	10.2%



1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c(JDS値)

HbA1cが6.1%以上の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が高かった。5.2%以上6.1%未満の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」と「5-N 7-N」の間に差がほとんど無かった。

年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上	5.2%未満	5.2%以上 6.1%未満	6.1%以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	2,894	1,802	239	58.6%	36.5%	4.8%
	5-Y 7-N	3,631	2,107	1,333	191	58.0%	36.7%	5.3%
	5-N 7-Y	2,532	1,419	945	168	56.0%	37.3%	6.6%
	5-N 7-N	6,998	3,909	2,624	465	55.9%	37.5%	6.6%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	5,876	5,577	921	47.5%	45.1%	7.4%
	5-Y 7-N	6,407	2,947	2,945	515	46.0%	46.0%	8.0%
	5-N 7-Y	5,306	2,366	2,391	549	44.6%	45.1%	10.3%
	5-N 7-N	11,077	4,881	5,126	1,070	44.1%	46.3%	9.7%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	4,965	5,205	858	45.0%	47.2%	7.8%
	5-Y 7-N	7,106	3,215	3,359	532	45.2%	47.3%	7.5%
	5-N 7-Y	6,914	3,104	3,223	587	44.9%	46.6%	8.5%
	5-N 7-N	16,953	7,634	7,799	1,520	45.0%	46.0%	9.0%
全 体	5-Y 7-Y	28,337	13,735	12,584	2,018	48.5%	44.4%	7.1%
	5-Y 7-N	17,144	8,269	7,637	1,238	48.2%	44.5%	7.2%
	5-N 7-Y	14,752	6,889	6,559	1,304	46.7%	44.5%	8.8%
	5-N 7-N	35,028	16,424	15,549	3,055	46.9%	44.4%	8.7%



1-10 歯科階層化判定別 尿糖

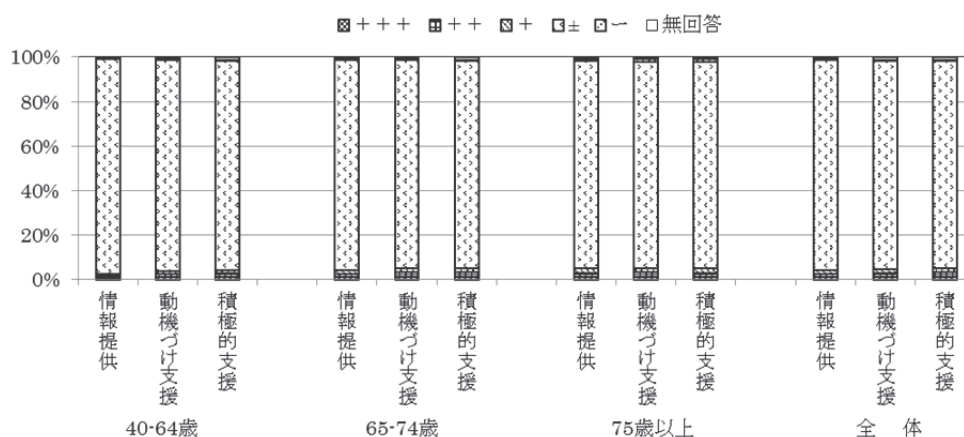
尿糖は特定健診の必須項目であるが、特定保健指導の選定基準にはなっていない。

尿糖が±～+++の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。75歳以上では、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど尿糖が±～+++の割合が高くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	情報提供	9,125	19	8,787	89	89	61	80
	動機づけ支援	6,971	11	6,612	103	93	71	81
	積極的支援	2,061	1	1,938	28	38	25	31
65-74歳	情報提供	21,032	39	19,850	345	337	233	228
	動機づけ支援	11,350	34	10,605	208	217	147	139
	積極的支援	2,985	8	2,780	56	65	34	42
75歳以上	情報提供	22,933	156	21,440	466	418	248	205
	動機づけ支援	17,383	216	16,101	330	341	208	187
	積極的支援	3,100	38	2,879	59	54	42	28
全 体	情報提供	53,090	214	50,077	900	844	542	513
	動機づけ支援	35,704	261	33,318	641	651	426	407
	積極的支援	8,146	47	7,597	143	157	101	101

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	情報提供	100%	0.2%	96.3%	1.0%	1.0%	0.7%	0.9%
	動機づけ支援	100%	0.2%	94.9%	1.5%	1.3%	1.0%	1.2%
	積極的支援	100%	0.0%	94.0%	1.4%	1.8%	1.2%	1.5%
65-74歳	情報提供	100%	0.2%	94.4%	1.6%	1.6%	1.1%	1.1%
	動機づけ支援	100%	0.3%	93.4%	1.8%	1.9%	1.3%	1.2%
	積極的支援	100%	0.3%	93.1%	1.9%	2.2%	1.1%	1.4%
75歳以上	情報提供	100%	0.7%	93.5%	2.0%	1.8%	1.1%	0.9%
	動機づけ支援	100%	1.2%	92.6%	1.9%	2.0%	1.2%	1.1%
	積極的支援	100%	1.2%	92.9%	1.9%	1.7%	1.4%	0.9%
全 体	情報提供	100%	0.4%	94.3%	1.7%	1.6%	1.0%	1.0%
	動機づけ支援	100%	0.7%	93.3%	1.8%	1.8%	1.2%	1.1%
	積極的支援	100%	0.6%	93.3%	1.8%	1.9%	1.2%	1.2%



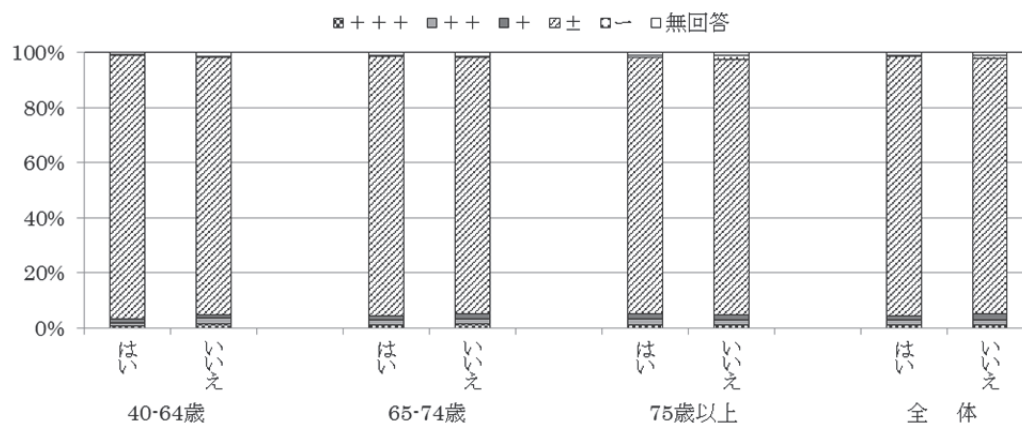
1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖

尿糖が±～+++の割合は、各年齢階級で「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より尿糖が±～+++の割合が低くなっていた。これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	はい	16,213	26	15,523	196	176	132	160
	いいえ	1,884	5	1,759	24	41	25	30
	無回答	60	0	55	0	3	0	2
65-74歳	はい	30,620	65	28,823	529	518	348	337
	いいえ	4,549	15	4,233	79	95	60	67
	無回答	198	1	179	1	6	6	5
75歳以上	はい	33,876	252	31,605	647	650	395	327
	いいえ	8,166	143	7,545	178	136	86	78
	無回答	1,374	15	1,270	30	27	17	15
全 体	はい	80,709	343	75,951	1,372	1,344	875	824
	いいえ	14,599	163	13,537	281	272	171	175
	無回答	1,632	16	1,504	31	36	23	22

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	一	±	+	++	+++	無回答
40-64歳	はい	100%	0.2%	95.7%	1.2%	1.1%	0.8%	1.0%
	いいえ	100%	0.3%	93.4%	1.3%	2.2%	1.3%	1.6%
	無回答	100%	0.0%	91.7%	0.0%	5.0%	0.0%	3.3%
65-74歳	はい	100%	0.2%	94.1%	1.7%	1.7%	1.1%	1.1%
	いいえ	100%	0.3%	93.1%	1.7%	2.1%	1.3%	1.5%
	無回答	100%	0.5%	90.4%	0.5%	3.0%	3.0%	2.5%
75歳以上	はい	100%	0.7%	93.3%	1.9%	1.9%	1.2%	1.0%
	いいえ	100%	1.8%	92.4%	2.2%	1.7%	1.1%	1.0%
	無回答	100%	1.1%	92.4%	2.2%	2.0%	1.2%	1.1%
全 体	はい	100%	0.4%	94.1%	1.7%	1.7%	1.1%	1.0%
	いいえ	100%	1.1%	92.7%	1.9%	1.9%	1.2%	1.2%
	無回答	100%	1.0%	92.2%	1.9%	2.2%	1.4%	1.3%

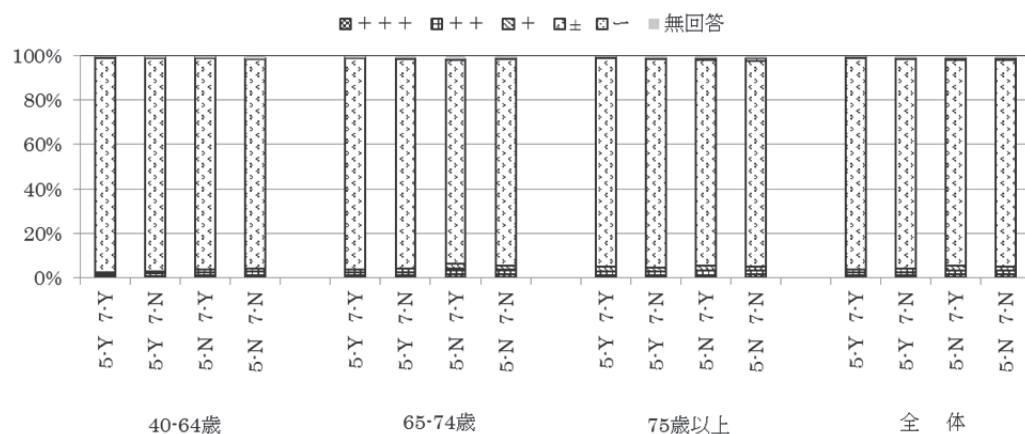


1-12 歯科質問項目5×7 尿糖

尿糖が±～+++の割合は、各年齢階級で「5-Y 7-Y」が「5-N 7-N」より低くなっていた。
全体でも、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-N」より尿糖が±～+++の割合が低くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数						
		総数	－	±	＋	＋＋	＋＋＋	無回答
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	7	4,784	36	40	31	37
	5-Y 7-N	3,631	6	3,485	41	35	28	36
	5-N 7-Y	2,532	7	2,405	38	35	23	24
	5-N 7-N	6,998	11	6,607	105	107	75	93
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	17	11,809	177	154	110	107
	5-Y 7-N	6,407	13	6,064	104	85	70	71
	5-N 7-Y	5,306	16	4,878	112	133	82	85
	5-N 7-N	11,077	34	10,300	215	241	146	141
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	49	10,377	227	182	117	76
	5-Y 7-N	7,106	41	6,675	128	132	61	69
	5-N 7-Y	6,914	71	6,394	149	142	82	76
	5-N 7-N	16,953	233	15,667	320	329	220	184
全 体	5-Y 7-Y	28,337	73	26,970	440	376	258	220
	5-Y 7-N	17,144	60	16,224	273	252	159	176
	5-N 7-Y	14,752	94	13,677	299	310	187	185
	5-N 7-N	35,028	278	32,574	640	677	441	418

年齢階級	区 分	割 合						
		総数	－	±	＋	＋＋	＋＋＋	無回答
40-64歳	5-Y 7-Y	100%	0.1%	96.9%	0.7%	0.8%	0.6%	0.7%
	5-Y 7-N	100%	0.2%	96.0%	1.1%	1.0%	0.8%	1.0%
	5-N 7-Y	100%	0.3%	95.0%	1.5%	1.4%	0.9%	0.9%
	5-N 7-N	100%	0.2%	94.4%	1.5%	1.5%	1.1%	1.3%
65-74歳	5-Y 7-Y	100%	0.1%	95.4%	1.4%	1.2%	0.9%	0.9%
	5-Y 7-N	100%	0.2%	94.6%	1.6%	1.3%	1.1%	1.1%
	5-N 7-Y	100%	0.3%	91.9%	2.1%	2.5%	1.5%	1.6%
	5-N 7-N	100%	0.3%	93.0%	1.9%	2.2%	1.3%	1.3%
75歳以上	5-Y 7-Y	100%	0.4%	94.1%	2.1%	1.7%	1.1%	0.7%
	5-Y 7-N	100%	0.6%	93.9%	1.8%	1.9%	0.9%	1.0%
	5-N 7-Y	100%	1.0%	92.5%	2.2%	2.1%	1.2%	1.1%
	5-N 7-N	100%	1.4%	92.4%	1.9%	1.9%	1.3%	1.1%
全 体	5-Y 7-Y	100%	0.3%	95.2%	1.6%	1.3%	0.9%	0.8%
	5-Y 7-N	100%	0.3%	94.6%	1.6%	1.5%	0.9%	1.0%
	5-N 7-Y	100%	0.6%	92.7%	2.0%	2.1%	1.3%	1.3%
	5-N 7-N	100%	0.8%	93.0%	1.8%	1.9%	1.3%	1.2%



1-13 歯科階層化判定別 喫煙

喫煙は特定保健指導の選定基準のひとつになっている。

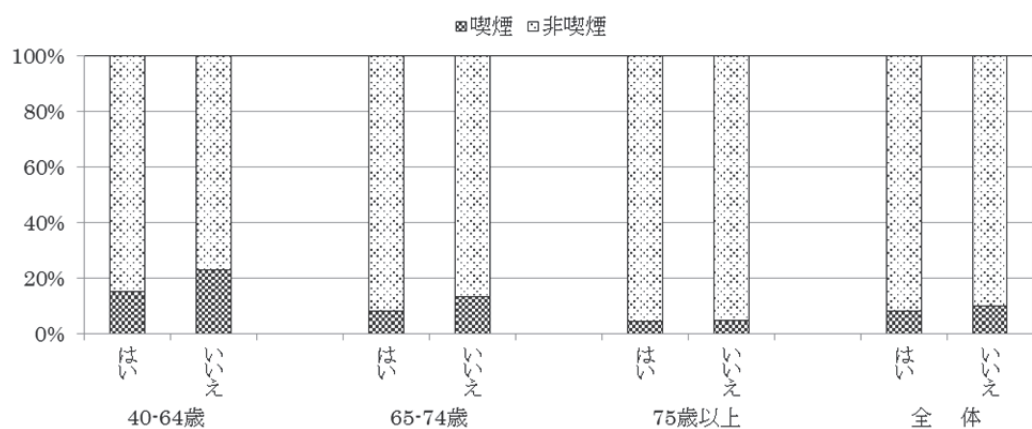
喫煙者の割合は、40-64 歳、64-74 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75 歳以上では、情報提供が最も少なく、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど喫煙者の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	はい	16,213	2,470	13,743	15.2%	84.8%
	いいえ	1,884	433	1,451	23.0%	77.0%
	無回答	60	14	46	23.3%	76.7%
65-74歳	はい	30,620	2,511	28,109	8.2%	91.8%
	いいえ	4,549	601	3,948	13.2%	86.8%
	無回答	198	24	174	12.1%	87.9%
75歳以上	はい	33,876	1,505	32,371	4.4%	95.6%
	いいえ	8,166	396	7,770	4.8%	95.2%
	無回答	1,374	72	1,302	5.2%	94.8%
全 体	はい	80,709	6,486	74,223	8.0%	92.0%
	いいえ	14,599	1,430	13,169	9.8%	90.2%
	無回答	1,632	110	1,522	6.7%	93.3%



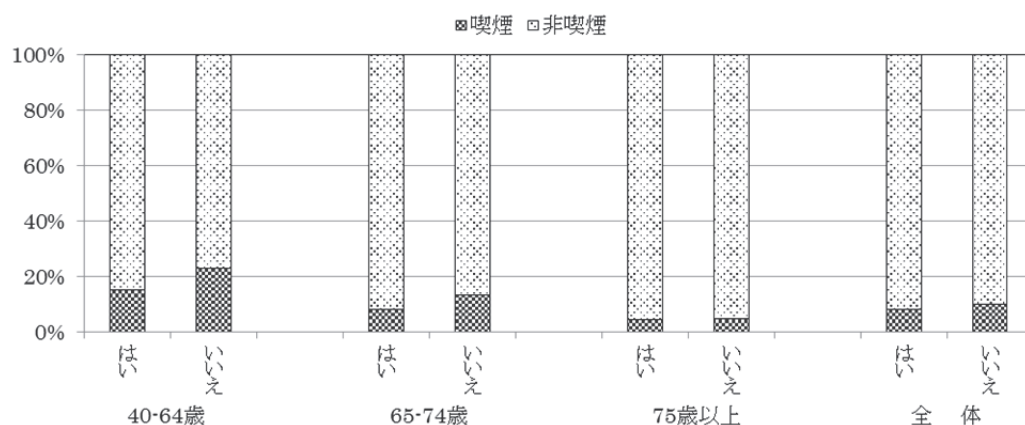
1－14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙

喫煙者の割合は、各年齢階級とも「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より喫煙者の割合が低くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

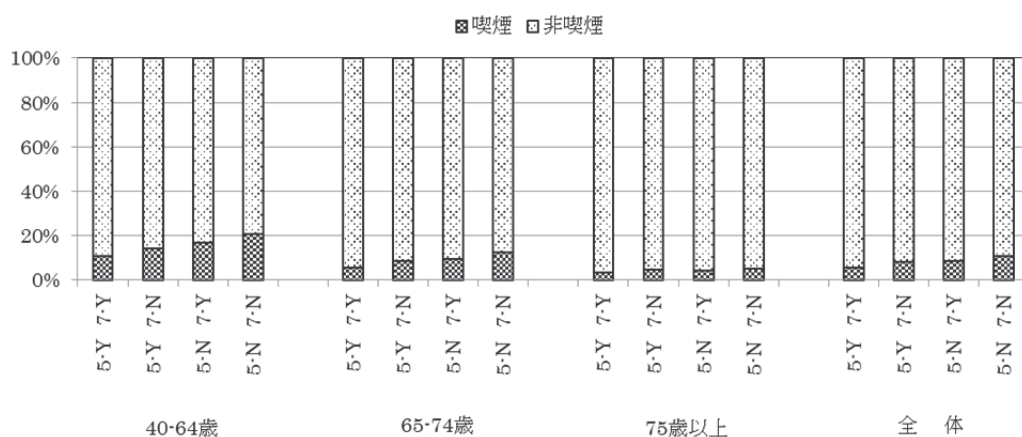
年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	はい	16,213	2,470	13,743	15.2%	84.8%
	いいえ	1,884	433	1,451	23.0%	77.0%
	無回答	60	14	46	23.3%	76.7%
65-74歳	はい	30,620	2,511	28,109	8.2%	91.8%
	いいえ	4,549	601	3,948	13.2%	86.8%
	無回答	198	24	174	12.1%	87.9%
75歳以上	はい	33,876	1,505	32,371	4.4%	95.6%
	いいえ	8,166	396	7,770	4.8%	95.2%
	無回答	1,374	72	1,302	5.2%	94.8%
全 体	はい	80,709	6,486	74,223	8.0%	92.0%
	いいえ	14,599	1,430	13,169	9.8%	90.2%
	無回答	1,632	110	1,522	6.7%	93.3%



1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙

喫煙者の割合は、全ての年齢階級で「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。全体では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に喫煙者の割合が高くなっていた。この傾向は、75歳以上、64-74歳、40-64歳の順に、若いほど強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	523	4,412	10.6%	89.4%
	5-Y 7-N	3,631	518	3,113	14.3%	85.7%
	5-N 7-Y	2,532	425	2,107	16.8%	83.2%
	5-N 7-N	6,998	1,437	5,561	20.5%	79.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	691	11,683	5.6%	94.4%
	5-Y 7-N	6,407	539	5,868	8.4%	91.6%
	5-N 7-Y	5,306	508	4,798	9.6%	90.4%
	5-N 7-N	11,077	1,372	9,705	12.4%	87.6%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	392	10,636	3.6%	96.4%
	5-Y 7-N	7,106	320	6,786	4.5%	95.5%
	5-N 7-Y	6,914	304	6,610	4.4%	95.6%
	5-N 7-N	16,953	884	16,069	5.2%	94.8%
全 体	5-Y 7-Y	28,337	1,606	26,731	5.7%	94.3%
	5-Y 7-N	17,144	1,377	15,767	8.0%	92.0%
	5-N 7-Y	14,752	1,237	13,515	8.4%	91.6%
	5-N 7-N	35,028	3,693	31,335	10.5%	89.5%



1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分

特定健診結果よりメタボリックシンドローム該当、予備群、非該当が判定され、特定保健指導における積極的支援、動機づけ支援、情報提供に分類される。

メタボ該当の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、逆に歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

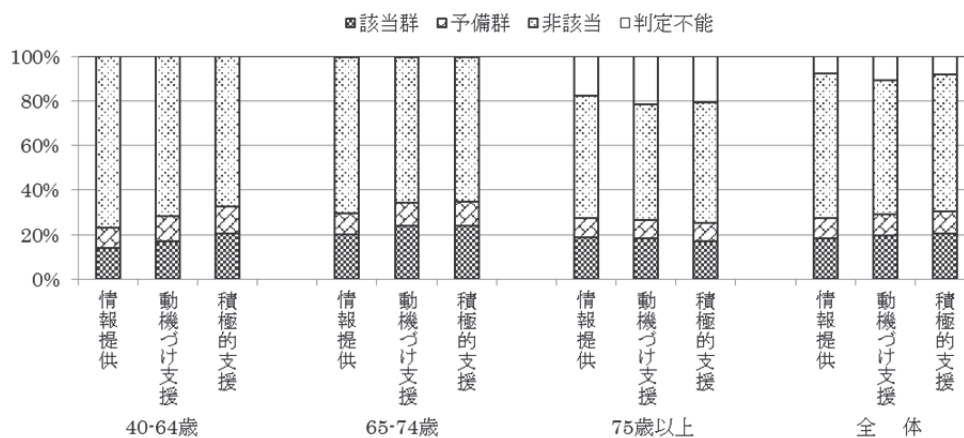
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	情報提供	9,125	1,295	827	7,003	0	14.2%	9.1%	76.7%	0.0%
	動機づけ支援	6,971	1,201	770	5,000	0	17.2%	11.0%	71.7%	0.0%
	積極的支援	2,061	421	251	1,389	0	20.4%	12.2%	67.4%	0.0%
65-74歳	情報提供	21,032	4,178	2,057	14,759	38	19.9%	9.8%	70.2%	0.2%
	動機づけ支援	11,350	2,719	1,180	7,423	28	24.0%	10.4%	65.4%	0.2%
	積極的支援	2,985	720	319	1,937	9	24.1%	10.7%	64.9%	0.3%
75歳以上	情報提供	22,933	4,290	1,962	12,687	3,994	18.7%	8.6%	55.3%	17.4%
	動機づけ支援	17,383	3,156	1,426	9,043	3,758	18.2%	8.2%	52.0%	21.6%
	積極的支援	3,100	526	254	1,683	637	17.0%	8.2%	54.3%	20.5%
全 体	情報提供	53,090	9,763	4,846	34,449	4,032	18.4%	9.1%	64.9%	7.6%
	動機づけ支援	35,704	7,076	3,376	21,466	3,786	19.8%	9.5%	60.1%	10.6%
	積極的支援	8,146	1,667	824	5,009	646	20.5%	10.1%	61.5%	7.9%



1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分

メタボ該当の割合は、40-64 歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし 65-74 歳、75 歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

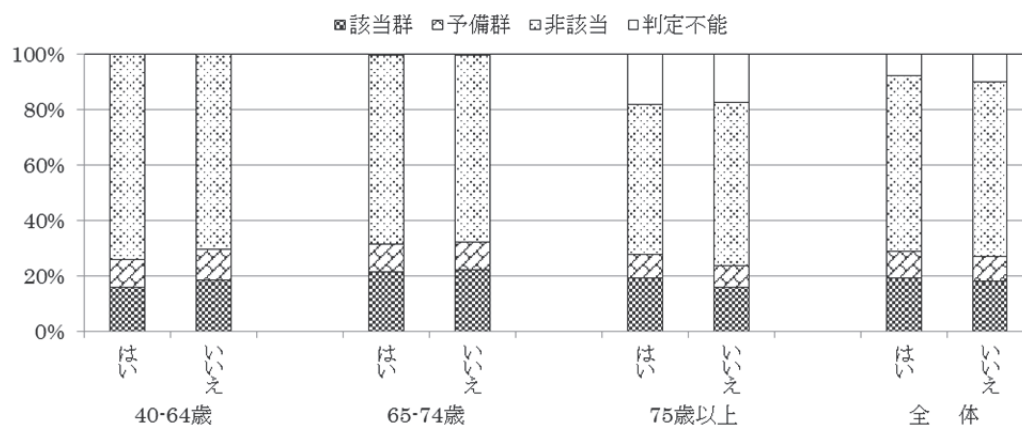
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、何でもかんで食べられる人はそうでない人より、メタボ該当の割合が低くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	はい	16,213	2,557	1,627	12,029	0	15.8%	10.0%	74.2%	0.0%
	いいえ	1,884	347	212	1,325	0	18.4%	11.3%	70.3%	0.0%
	無回答	60	13	9	38	0	21.7%	15.0%	63.3%	0.0%
65-74歳	はい	30,620	6,556	3,065	20,942	57	21.4%	10.0%	68.4%	0.2%
	いいえ	4,549	1,004	471	3,059	15	22.1%	10.4%	67.2%	0.3%
	無回答	198	57	20	118	3	28.8%	10.1%	59.6%	1.5%
75歳以上	はい	33,876	6,529	2,941	18,231	6,175	19.3%	8.7%	53.8%	18.2%
	いいえ	8,166	1,296	636	4,810	1,424	15.9%	7.8%	58.9%	17.4%
	無回答	1,374	147	65	372	790	10.7%	4.7%	27.1%	57.5%
全 体	はい	80,709	15,642	7,633	51,202	6,232	19.4%	9.5%	63.4%	7.7%
	いいえ	14,599	2,647	1,319	9,194	1,439	18.1%	9.0%	63.0%	9.9%
	無回答	1,632	217	94	528	793	13.3%	5.8%	32.4%	48.6%

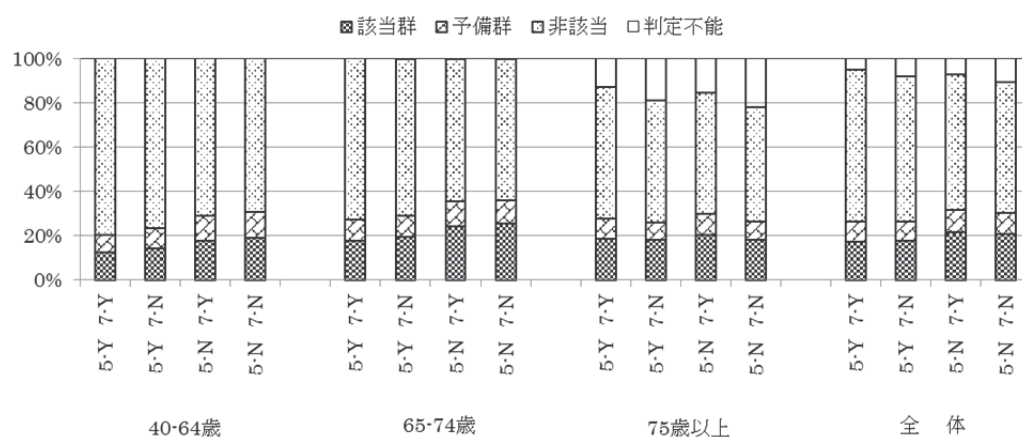


1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分

メタボ該当群・予備群の割合は、40-64歳と65-74歳では「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。しかし、75歳以上ではこれと逆の結果になっていた。

全体では、メタボ該当群・予備群の割合は、「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。5-Yと5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、メタボ該当群・予備群の割合に2.2%～2.7%の違いがみられ、メタボ判定に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアの影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	5-Y 7-Y	4,935	611	399	3,925	0	12.4%	8.1%	79.5%	0.0%
	5-Y 7-N	3,631	522	320	2,789	0	14.4%	8.8%	76.8%	0.0%
	5-N 7-Y	2,532	449	285	1,798	0	17.7%	11.3%	71.0%	0.0%
	5-N 7-N	6,998	1,321	835	4,842	0	18.9%	11.9%	69.2%	0.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,374	2,208	1,151	9,003	12	17.8%	9.3%	72.8%	0.1%
	5-Y 7-N	6,407	1,235	619	4,540	13	19.3%	9.7%	70.9%	0.2%
	5-N 7-Y	5,306	1,290	600	3,399	17	24.3%	11.3%	64.1%	0.3%
	5-N 7-N	11,077	2,825	1,166	7,056	30	25.5%	10.5%	63.7%	0.3%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,028	2,050	997	6,550	1,431	18.6%	9.0%	59.4%	13.0%
	5-Y 7-N	7,106	1,279	568	3,892	1,367	18.0%	8.0%	54.8%	19.2%
	5-N 7-Y	6,914	1,418	633	3,798	1,065	20.5%	9.2%	54.9%	15.4%
	5-N 7-N	16,953	3,067	1,377	8,782	3,727	18.1%	8.1%	51.8%	22.0%
全 体	5-Y 7-Y	28,337	4,869	2,547	19,478	1,443	17.2%	9.0%	68.7%	5.1%
	5-Y 7-N	17,144	3,036	1,507	11,221	1,380	17.7%	8.8%	65.5%	8.0%
	5-N 7-Y	14,752	3,157	1,518	8,995	1,082	21.4%	10.3%	61.0%	7.3%
	5-N 7-N	35,028	7,213	3,378	20,680	3,757	20.6%	9.6%	59.0%	10.7%



まとめ・考察（Ⅱ）

A 平成 24 年度特定健診受診者の状況

性別・年齢階級別の状況

- ・平成 24 年度特定健診受診者は、996,940 人で、平成 23 年度より約 7 千人増加していた。その属性については、男女比ではおよそ 1:1.6 で女性が多く、年齢階級別では 40-64 歳がおよそ 20%、65-74 歳がおよそ 36%、75 歳以上がおよそ 44%と、75 歳以上が一番多かった。

歯科階層化判定の状況

- ・対象者の歯科階層化判定の状況は、各年齢階級とも情報提供群が最も多かった。積極的支援群の割合は年齢階級が高くなるにつれ 11.4%、8.4%、7.1%と少なくなっていた。

歯科質問項目 1 の回答の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」について「はい」と答えた者の割合は 40-64 歳で 89.3%、65-74 歳で 86.6%、75 歳以上で 78%と、高齢になるほど何でもかんで食べられる者の割合が少なくなっていた。

対象者の歯科質問項目 5×7 回答の状況

- ・全体として、「5-Y 7-Y」が 29.2%、「5-Y 7-N」が 17.7%、「5-N 7-Y」が 15.2%、「5-N 7-N」が 36.1%と、「5-N 7-N」の割合が最も多かった。「5-Y 7-Y」が多く「5-N 7-N」が少ないのは、65-74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順であった。特筆すべき点は 65-74 歳でのみ「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回っていた。働き盛りの年齢より、退職して後期高齢期に入るまでが、最も口腔ケアへの意識が高い時期と考えられた。

B 平成 24 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

歯科階層化判定と特定健診結果の状況

- ・歯科階層化判定と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。40-64 歳と 65-74 歳では全ての項目において、概ね歯科階層化判定が重くなるほど肥満、糖尿病、喫煙傾向、メタボの割合が高くなっていた。ところが、75 歳以上では喫煙以外の項目でこの傾向とは逆の傾向を示していた。

歯科質問項目 1 の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」回答と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満(BMI、腹囲)の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高く、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では BMI と腹囲で逆の結果が出ていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c 基準値以上や尿糖±以上の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では HbA1c と尿糖で逆の結果が出ていた。尿糖が±～+++の割合はすべての年齢階級で「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「何でも咬んで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が概ね高かった。
- ・メタボの割合は 40-64 歳、65-74 歳では「何でも咬んで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳以上では「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高くなっていた。

歯科質問項目5×7の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と歯科質問項目7「定期的(年1回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満との関係で BMI については、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に、どの年齢階級でも基準値以上の者の割合が高くなっていた。
- ・また、腹囲に関しては、40-64 歳と 65-74 歳で同じように「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に基準以上の者の割合が高くなっていたが、75 歳以上ではこのようにはなかった。全体としては、「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が基準以上の者の割合が高かった。
- ・肥満に関しては、セルフケアの影響がプロフェッショナルケアの影響を上回っていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c 基準値以上や尿糖±以上の割合は 40-64 歳と 65-74 歳で「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていたが、75 歳以上ではこの傾向に無く、全体としては「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうが HbA1c、尿糖ともにわずかに高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていた。
- ・メタボの割合は 40-64 歳、65-74 歳では「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高かったが、75 歳以上ではこの傾向に無く、全体としては「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうがメタボの割合は高かった。
- ・肥満、糖尿病、喫煙、メタボ全てにおいて、セルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群が、特定健診結果が優れている者の割合が一番高いという結果が得られた。そして、特定健診結果に与える影響はセルフケアのほうがプロフェッショナルケアよりも大きかった。

まとめ

- ・ 特定健診受診者について、香川県独自の歯科質問項目から“歯科階層化判定”と“何でもかんで食べられるか”について、健診結果との関係を分析した。40-64 歳では、歯科階層化判定が重度なほど、また「何でも咬んで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が、各種健診結果が悪くなっていた。しかしながら、75 歳以上では逆の結果が出た。
- ・ セルフケアとプロフェッショナルケアについて特定健診結果との関係を分析した。結果、全ての検査項目についてセルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群がどちらも行っていないと答えた群よりも健診結果が優れている者の割合が高かった。よって、肥満、糖尿病、喫煙、メタボに対する口腔ケアの重要性が示唆された。一方、健診結果に与える影響がどちらの方が大きいのか分析したところ、セルフケアの影響の方が大きかった。
- ・ 喫煙は、歯科階層化判定別、歯科質問項目1回答別、歯科質問項目 5×7回答別全てにおいて、年齢区分に関係なく同じ傾向にあった。今回、セルフケア、プロフェッショナルケアを行っていると答えた群に喫煙者の割合が少なく、そうでない群に喫煙者の割合が多かった。そして、この傾向は若い年齢区分ほど強くなっていた。

Ⅲ 平成 24 年度特定健診受診者のうち平成 24 年 5,8,11,平成 25 年 2 月に受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 24 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と項目 7「定期的に(年に 1 回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答別(以下、項目 5×7)に平成 23 年度の医療費について分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、平成 24 年度の 4 か月分のレセプトを用いて、特定健診受診者と突合を行い、以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。名寄せ人数は 91,865 人で、特定健診受診者の 94.8%であった。

レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。なお、今年度から肺炎を分析項目に加えた。

主要疾病名	対象者(人)	主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	7,023	高血圧性疾患	29,883
虚血性心疾患	3,024	動脈硬化症	391
脳血管疾患	4,674	肺炎	458
糖尿病	6,747	歯の疾患	41,795

(3) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物	虚血性心疾患	脳血管疾患
糖尿病	高血圧性疾患	動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 45,883 人(49.9%)であった。

二 調査・分析結果

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

1-1 歯科階層化判定別日数(一人あたり1年間、日)

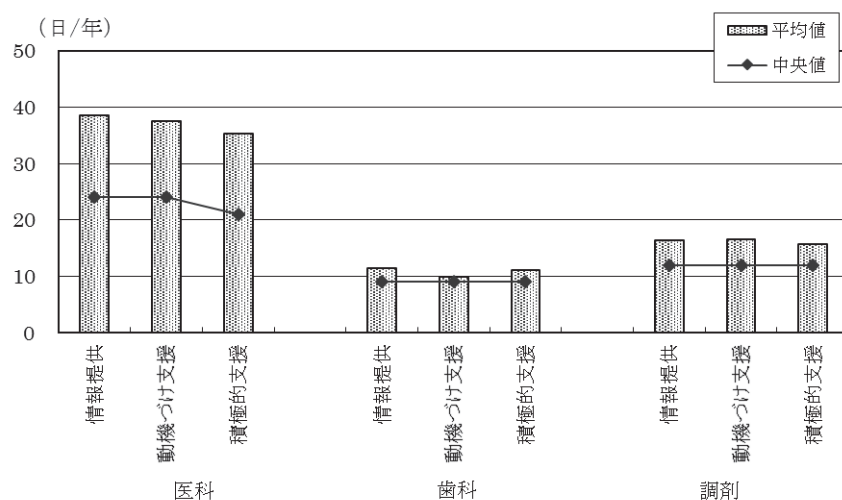
全体の平均日数は医科 37.9 日で、歯科の 11.2 日に比べて約 30 日多くなっていた。また、調剤は 16.4 日で歯科よりも約 5 日多くなっていた。

医科では情報提供群の平均日数が 38.5 日、積極的支援群が 35.4 日と、判定区分が重くなるほど日数が少なくなっていた。

歯科では動機づけ支援群が平均 10.0 日と最も日数が少なくなっていた。

調剤では逆に動機づけ支援群が 16.5 日で最も日数が多くなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	51,241	38.5	24.0	11.5	9.0	16.4	12.0
動 機 づ け 支 援	33,129	37.5	24.0	10.0	9.0	16.5	12.0
積 極 的 支 援	7,495	35.4	21.0	11.1	9.0	15.6	12.0
全 体	91,865	37.9	24.0	11.2	9.0	16.4	12.0



1-2 歯科階層化判定別診療費（一人あたり1年間、円）

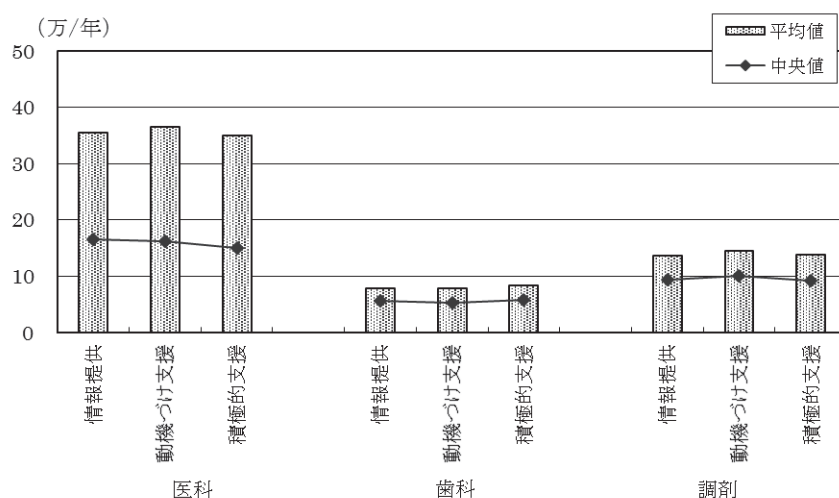
全体の平均診療費は医科約 35.8 万円で、歯科の約 7.9 万円に比べて約 28 万円高くなっていた。また、調剤は約 13.9 万円で歯科よりも約 6 万円高くなっていた。

医科では積極的支援群の平均診療費が約 35 万円で最も低く、次いで情報提供群が約 35.4 万円で、動機づけ支援群が 36.5 万円で最も高かった。

歯科では情報提供群が平均約 7.9 万円、動機づけ支援は約 7.8 万円であったが、積極的支援群は約 8.4 万円と高くなっていた。

調剤では医科と同様に情報提供群が平均約 13.7 万円で最も低く、動機づけ支援群が約 14.4 万円で最も高かった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	51,241	354,282	166,140	78,866	56,340	136,776	93,240
動 機 づ け 支 援	33,129	365,569	162,360	78,374	52,725	144,370	100,170
積 極 的 支 援	7,495	350,248	150,060	84,180	58,080	139,194	91,800
全 体	91,865	358,074	163,410	79,120	55,800	139,707	95,640



(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

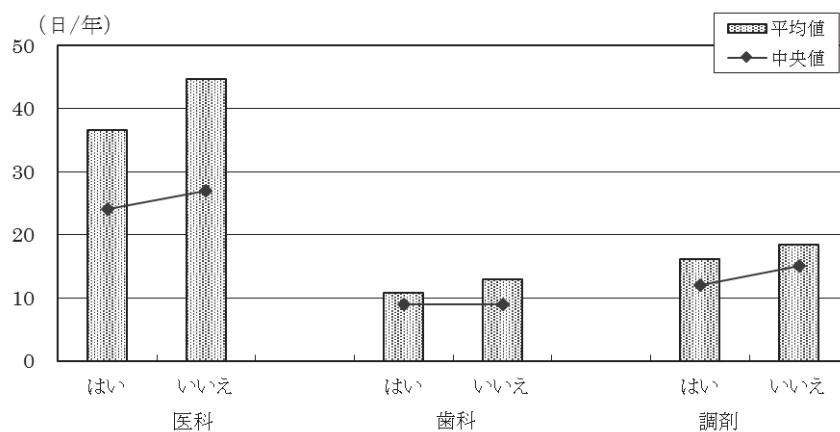
2-1 歯科質問項目1別日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

医科では「はい」の平均日数が36.6日、「いいえ」が44.6日と、「はい」の方が約8日少なくなっていた。

歯科では「はい」の平均日数が10.8日、「いいえ」が12.9日と、「はい」の方が約2日少なくなっていた。

調剤でも、「はい」の平均日数が16.1日、「いいえ」が18.4日と、「はい」の方が約2日少なくなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	76,330	36.6	24.0	10.8	9.0	16.1	12.0
いいえ	13,927	44.6	27.0	12.9	9.0	18.4	15.0
全 体	91,865	37.9	24.0	11.2	9.0	16.4	12.0



2-2 歯科質問項目1別診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

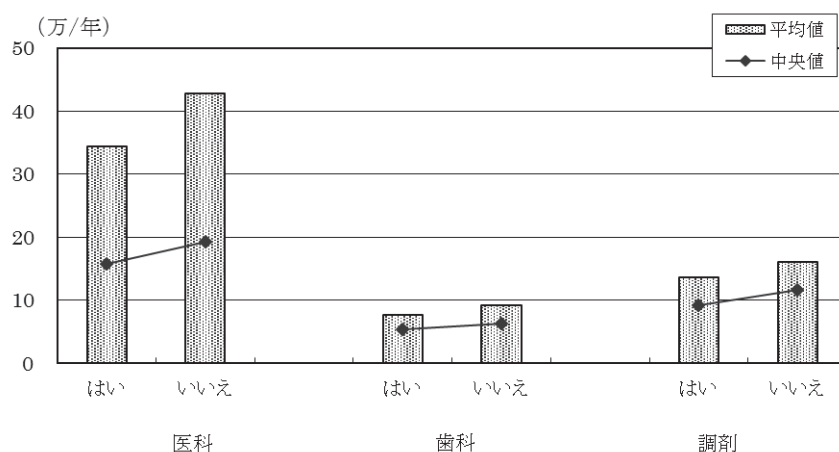
医科では「はい」の平均診療費が約 34.3 万円、「いいえ」が約 42.7 万円で、「はい」の方が約 8 万円低かった。

歯科では「はい」が約 7.6 万円、「いいえ」が約 9.1 万円で、「はい」の方が約 1.5 万円低かった。

調剤では「はい」が約 13.5 万円、「いいえ」が約 16.1 万円で、「はい」の方が約 2.6 万円低かった。

中央値で見てもすべての診療科において「はい」のほうが低い値を示していた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	76,330	343,301	157,470	76,633	54,600	135,788	92,670
いいえ	13,927	427,845	192,165	91,988	62,670	161,203	116,340
全 体	91,865	358,074	163,410	79,120	55,800	139,707	95,640



(3) 歯科質問項目 5×7回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

3-1 歯科質問項目5×7回答別 日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

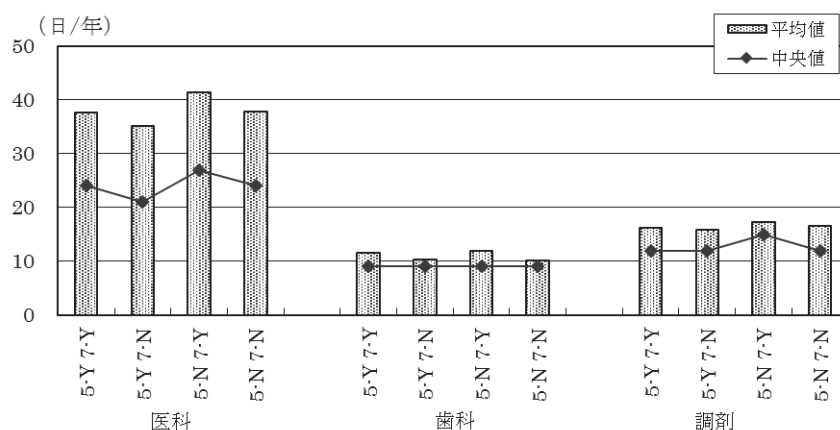
医科の診療日数については「5-Y 7-N」の平均値が最も少なく、「5-N 7-Y」が最も多かった。

「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高くなっていたが、質問項目7の回答が同じなら「5-N」(セルフケア群)の方が平均値が多くなっていた。

歯科の平均値においては「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高く、「5-N 7-N」が最も低かった。

調剤においては「5-Y」(セルフケア群)より「5-N」(非セルフケア群)で平均値が高くなる傾向にあった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	27,593	37.7	24.0	11.6	9.0	16.2	12.0
5-Y 7-N	15,917	35.1	21.0	10.3	9.0	15.9	12.0
5-N 7-Y	14,244	41.4	27.0	11.8	9.0	17.3	15.0
5-N 7-N	32,454	37.8	24.0	10.2	9.0	16.5	12.0
全 体	91,865	37.9	24.0	11.2	9.0	16.4	12.0



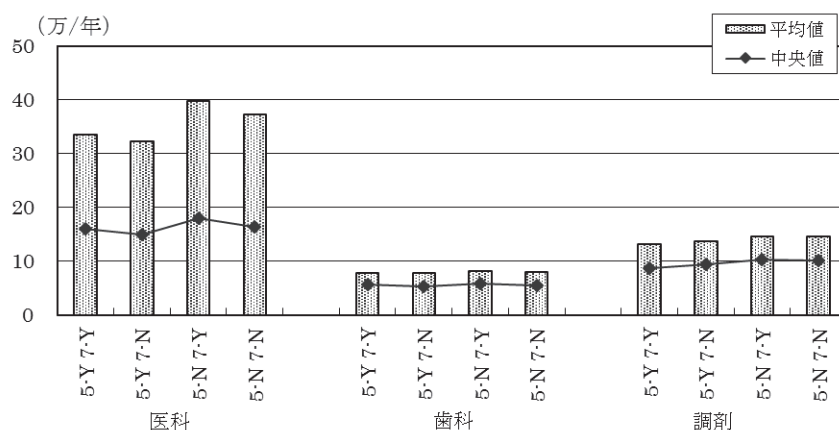
3-2 歯科質問項目5×7別 診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

医科の平均値、中央値とも「5-N」(非セルフケア群)が高い傾向にあり、「5-Y」(セルフケア群)同士、「5-N」(非セルフケア群)同士で7の回答別を比較すると「7-Y」(プロフェッショナルケア群)の方が平均値、中央値が高かった。

歯科の平均値においては「5-Y 7-N」が最も低く、「5-N 7-Y」が最も高かったがその差は小さかった。

調剤については「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く「5-N 7-Y」が最も高かった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	27,593	335,070	159,810	78,369	56,040	131,360	87,450
5-Y 7-N	15,917	322,136	149,655	77,979	53,070	136,503	93,900
5-N 7-Y	14,244	398,560	179,460	80,813	58,065	145,959	103,380
5-N 7-N	32,454	372,358	164,115	79,471	54,120	145,835	101,550
全 体	91,865	358,074	163,410	79,120	55,800	139,707	95,640



(4) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別歯科階層化判定別

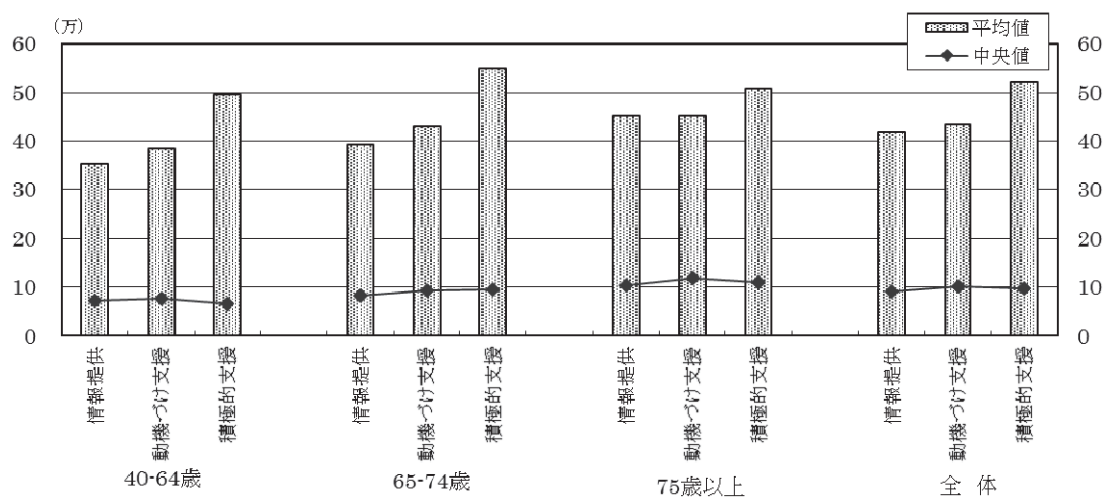
悪性新生物の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	80	221	275	576
動機づけ支援	340	786	1,341	2,467
積極的支援	416	1,548	2,016	3,980
計	836	2,555	3,632	7,023

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、歯科階層化判定が重くなるほど診療費の平均値が高くなっており、積極的支援群は情報提供群より約10万円高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	352040	71580	392920	83070	451380	103140	418260	92370
動機づけ支援	383560	77670	430720	93000	451230	117900	435370	102300
積極的支援	495020	65810	548140	96030	506780	111330	521010	98490
全 体	378540	73350	417970	86400	455520	108540	432700	95670



悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目1回答別

悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

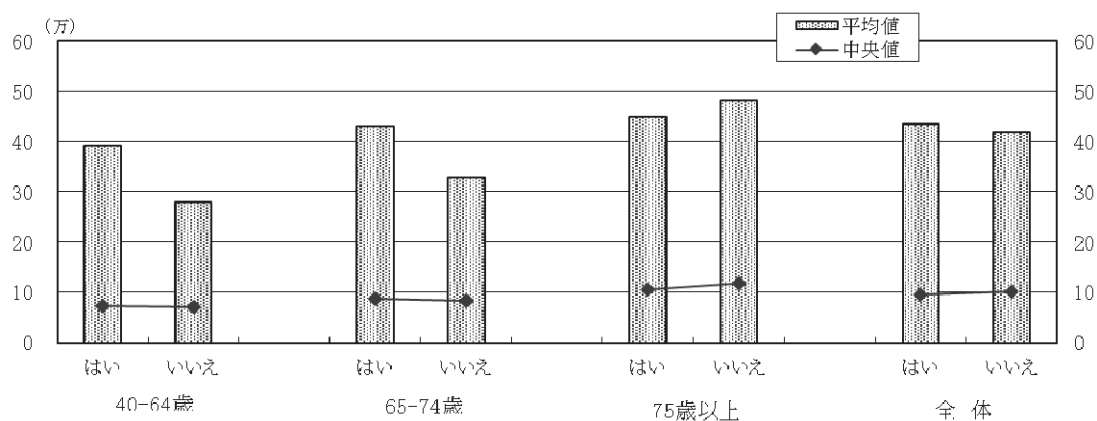
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	749	2,213	2,907	5,869
い い え	81	326	628	1,035
無 回 答	6	16	97	119
計	836	2,555	3,632	7,023

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳、65-74 歳の年齢階級では、「はい」の方が診療費の平均値、中央値ともに高くなっていたが、75 歳以上では逆に「はい」の方が低くなっていた。

全体では「はい」の方が診療費の平均値が約 1.5 万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	391820	73920	430190	86970	448050	106800	434140	95160
い い え	279290	71010	329460	84030	482650	117480	418490	101250
全 体	378540	73350	417970	86400	455520	108540	432700	95670



悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

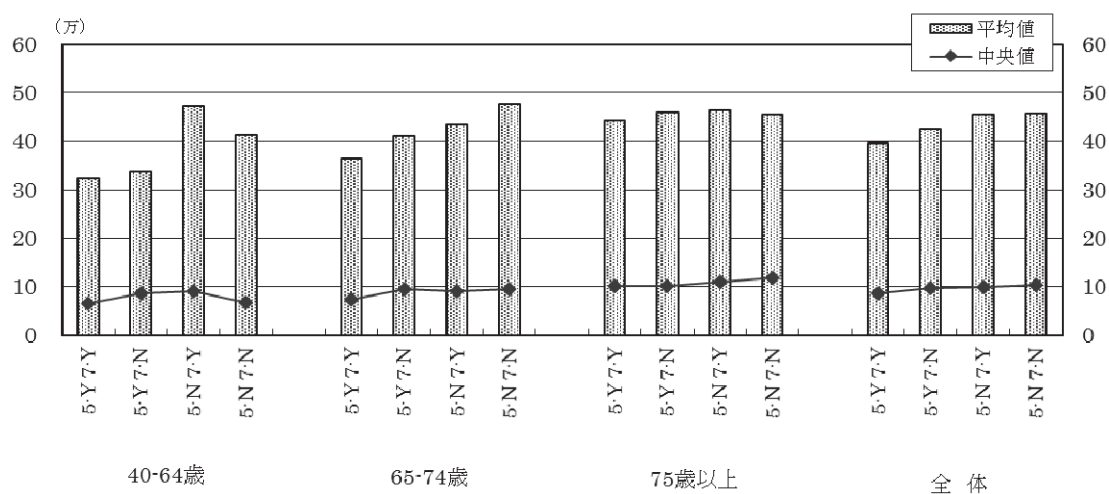
悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	245	920	983	2,148
5-Y 7-N	144	433	547	1,124
5-N 7-Y	105	412	667	1,184
5-N 7-N	336	773	1,336	4,456
全 体	830	2,538	3,533	8,912

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64歳の年齢階級では「5-Y」（セルフケア群）の平均値が低く、「5-N 7-Y」が平均値、中央値とも最も高くなっていた。全体として「5-Y 7-Y」が平均値、中央値ともに低くなる傾向があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	323950	65070	363800	74570	442470	100680	395260	86240
5-Y 7-N	336010	86760	410020	95400	459450	102270	424600	97100
5-N 7-Y	471820	91500	433290	90710	464650	108960	454370	99710
5-N 7-N	413100	66780	476850	94230	456050	117210	456730	104220
全 体	378540	73350	417970	86400	455520	108540	432700	95670



虚血性心疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

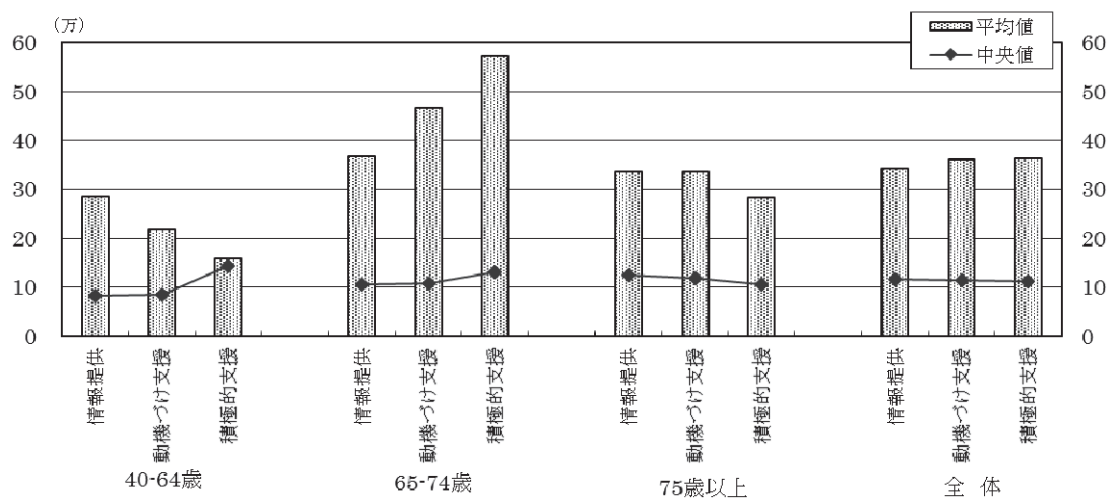
虚血性心疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	25	77	135	237
動機づけ支援	57	256	761	1,074
積極的支援	93	553	1,067	1,713
計	175	886	1,963	3,024

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳の年齢階級を除き、それ以外の年齢階級では積極的支援群が最も低くなっていた。逆に65-74歳の年齢階級では積極的支援群が最も高くなっていた。全体では情報提供群が最も低く、積極的支援群が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	284780	83430	367490	105240	334940	125220	342730	116460
動機づけ支援	218260	85260	467350	108740	335630	118560	360800	114590
積極的支援	159450	144480	570750	130620	282320	106890	363070	111990
全 体	245210	89640	414010	108560	331590	121800	350740	115070



虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

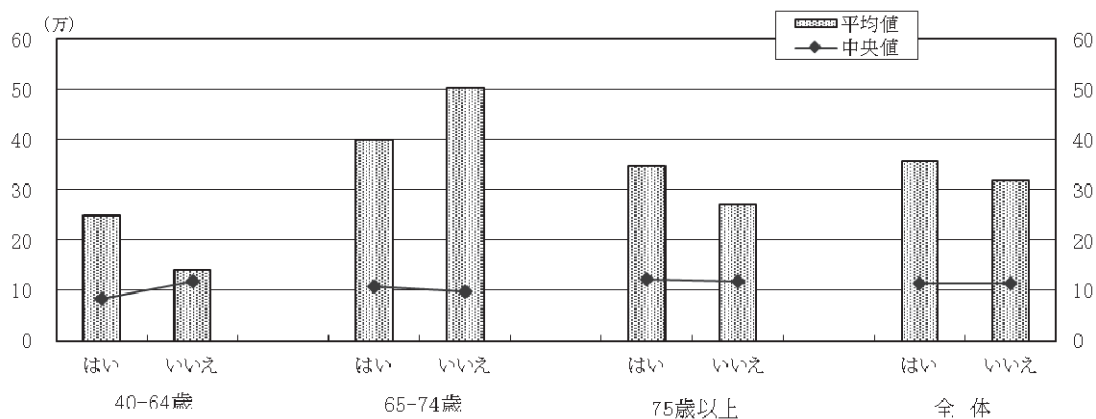
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	143	748	1,508	2,399
い い え	28	133	402	563
無 回 答	4	5	53	62
計	175	886	1,963	3,024

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74 歳の年齢階級では「いいえ」の方の平均値が高いが、他の年齢階級では「いいえ」の方の平均値が低くなっていた。

全体では、「はい」の平均値の方が約4万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	248940	83850	399550	108680	347010	121440	357540	114480
い い え	141210	119030	501240	96930	270420	118470	318520	114480
全 体	245210	89640	414010	108560	331590	121800	350740	115070



虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

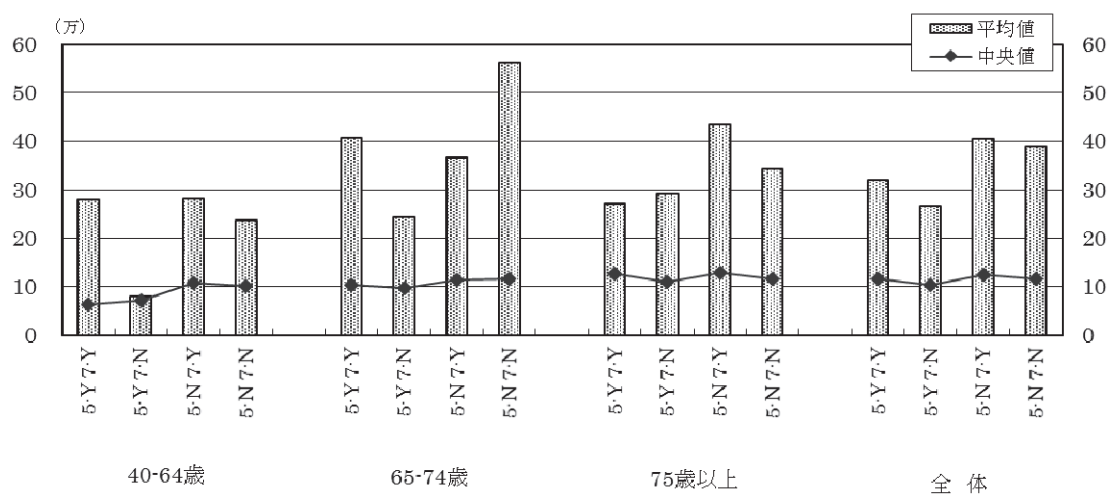
虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	53	309	512	874
5-Y 7-N	28	157	328	513
5-N 7-Y	27	162	335	524
5-N 7-N	63	253	734	1,911
全 体	171	881	1,909	3,822

・診療費（一人あたり1年間、円）

歯科質問項目、年齢階級における虚血性心疾患患者については平均値、中央値のいずれにおいても一定の傾向を認めることができなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	199900	75360	252850	96450	333420	128730	292540	109350
5-Y 7-N	219690	67820	400090	107040	364080	126390	363760	116400
5-N 7-Y	128660	75410	471850	114780	364720	115050	372700	113550
5-N 7-N	214700	79680	387590	95280	341530	128220	344030	115070
全 体	193740	72720	358730	99690	343240	126360	336700	113480



脳血管疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

脳血管疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

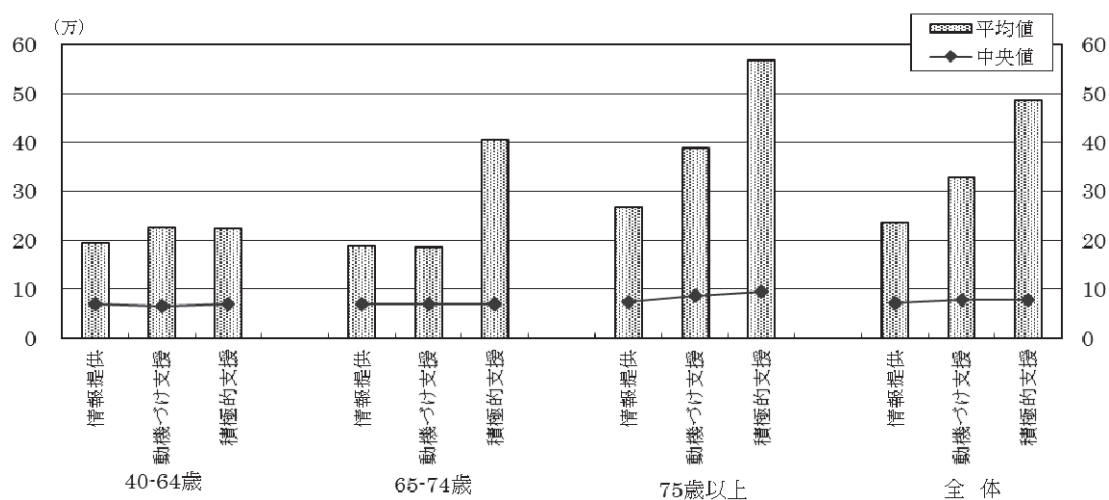
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	34	115	222	371
動機づけ支援	115	415	1,225	1,755
積極的支援	167	825	1,556	2,548
計	316	1,355	3,003	4,674

・診療費（一人あたり1年間、円）

全年齢階級において情報提供群に比べて積極的支援群の平均値が高くなっていた。

全体では、平均値、中央値においても情報提供群が最も低く、積極的支援群が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	195190	70500	188470	70500	267730	74450	237310	72540
動機づけ支援	225350	65100	185670	70500	388440	86610	329800	78000
積極的支援	224980	70470	405320	70500	568500	95850	486440	78750
全 体	209370	70500	206020	70500	339200	79110	291820	72600



脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

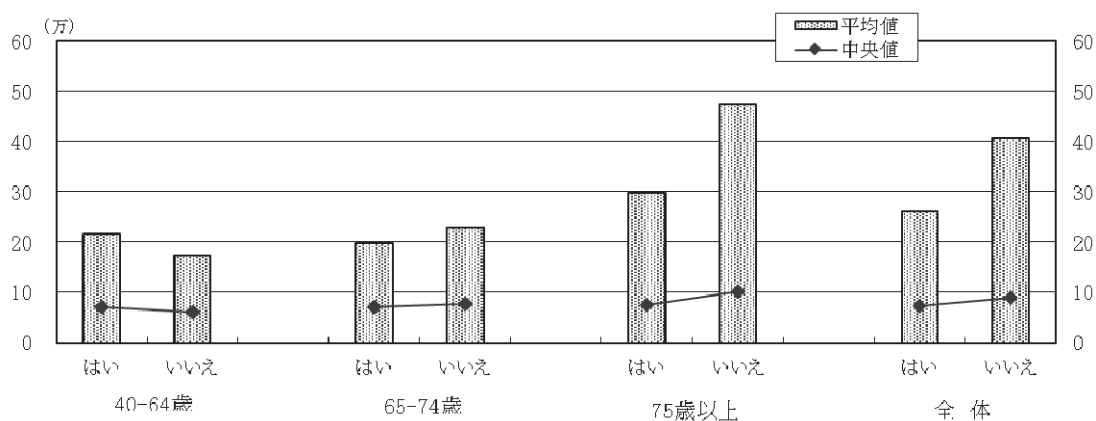
脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	272	1,143	2,243	3,658
い い え	43	201	678	922
無 回 答	1	11	82	94
計	316	1,355	3,003	4,674

・診療費(一人あたり1年間、円)

40-64 歳の年齢階級では「いいえ」の方が平均値、中央値とも低くなっていたが、その他の年齢階級では「はい」の方が平均値が低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値で約 14 万円低く、中央値においても約 1.6 万円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	215750	70500	198410	70500	298390	74790	261010	72510
い い え	172760	60630	229300	76530	472700	101660	405650	88760
全 体	209370	70500	206020	70500	339200	79110	291820	72600



脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

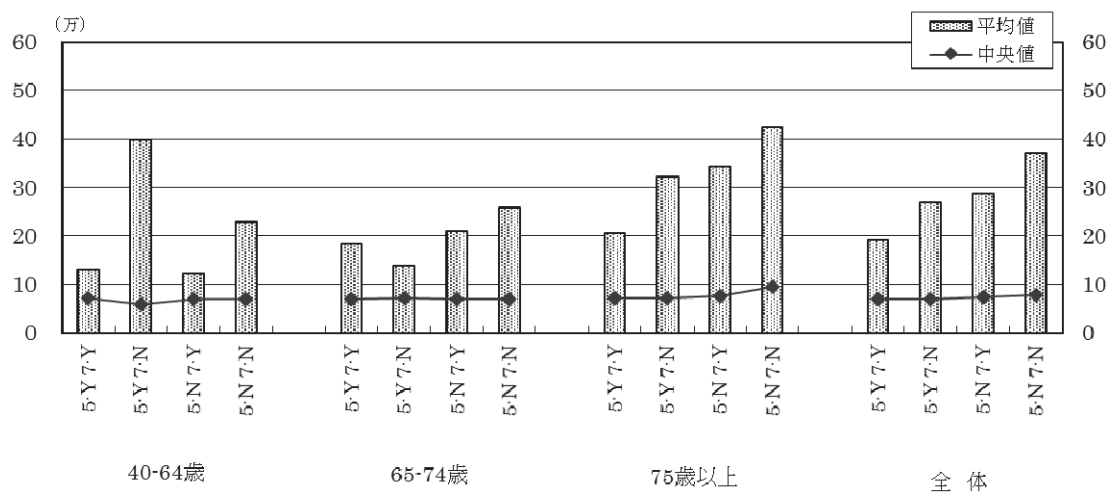
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	79	457	718	1,254
5-Y 7-N	51	236	450	737
5-N 7-Y	64	237	525	826
5-N 7-N	121	414	1,225	2,817
全 体	315	1,344	2,918	5,634

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74 歳、75 歳以上の年齢階級において「5-N 7-N」の平均値が最も高かった。また、「5-Y」（セルフケア群）はすべての年齢階級において「5-N」（非セルフケア群）より平均値が低くなっていた。

40-64 歳では、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）は「7-N」（非プロフェッショナルケア群）より平均値が低く、セルフケアよりプロフェッショナルケアの影響が強く、その差が大きくなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	131930	72600	183540	70440	204760	72600	192440	70500
5-Y 7-N	397260	59400	137260	71570	321690	70890	267860	70500
5-N 7-Y	122700	70500	209040	70500	342800	76800	287360	73100
5-N 7-N	227910	70440	258610	70500	422780	95220	370770	78960
全 体	209370	70500	206020	70500	339200	79110	291820	72600



糖尿病 年齢階級別歯科階層化判定別

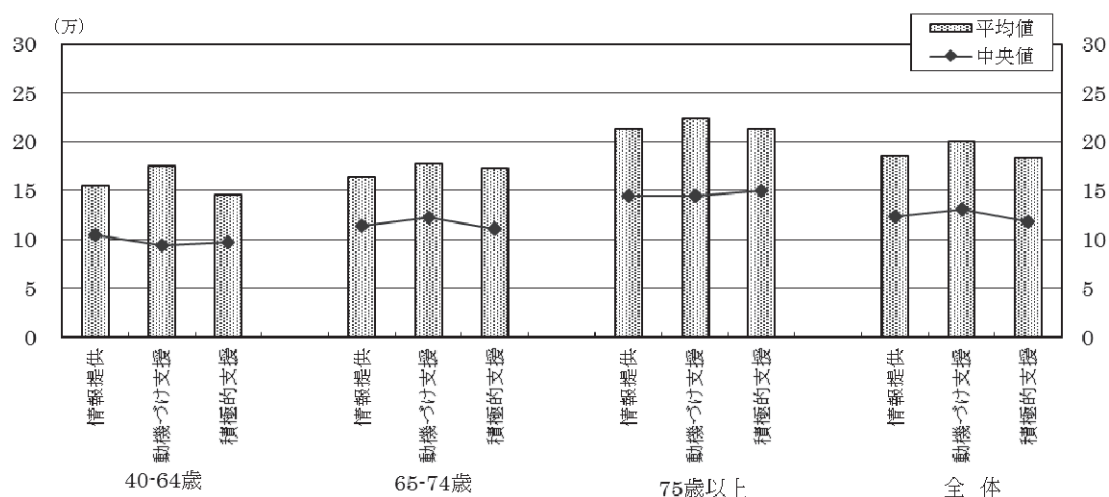
糖尿病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	109	228	215	552
動機づけ支援	322	869	1,270	2,461
積極的支援	410	1,613	1,711	3,734
計	841	2,710	3,196	6,747

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において動機づけ支援群の平均値が最も高くなっていた。また、75 歳以上では積極的支援群の中央値が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	155510	104480	163290	114450	213250	145050	185330	123450
動機づけ支援	175470	94020	176960	123060	224020	144860	201050	130710
積極的支援	145280	97050	173340	110930	213250	149760	183350	118230
全 体	161830	100320	168520	116720	217530	145160	190900	125160



糖尿病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

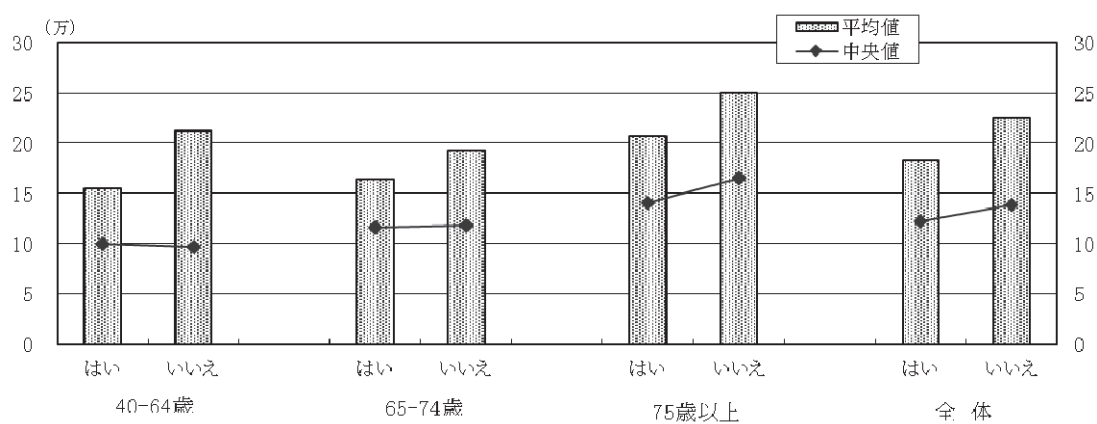
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	734	2,331	2,550	5,615
い い え	100	360	532	992
無 回 答	7	19	114	140
計	841	2,710	3,196	6,747

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において「はい」の方の平均値が低くなっていた。全体では、「はい」の方が平均値で約7万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	155010	100310	164630	116310	207370	140490	182780	122160
い い え	212530	96480	192750	118140	249970	165170	225430	138930
全 体	161830	100320	168520	116720	217530	145160	190900	125160



糖尿病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

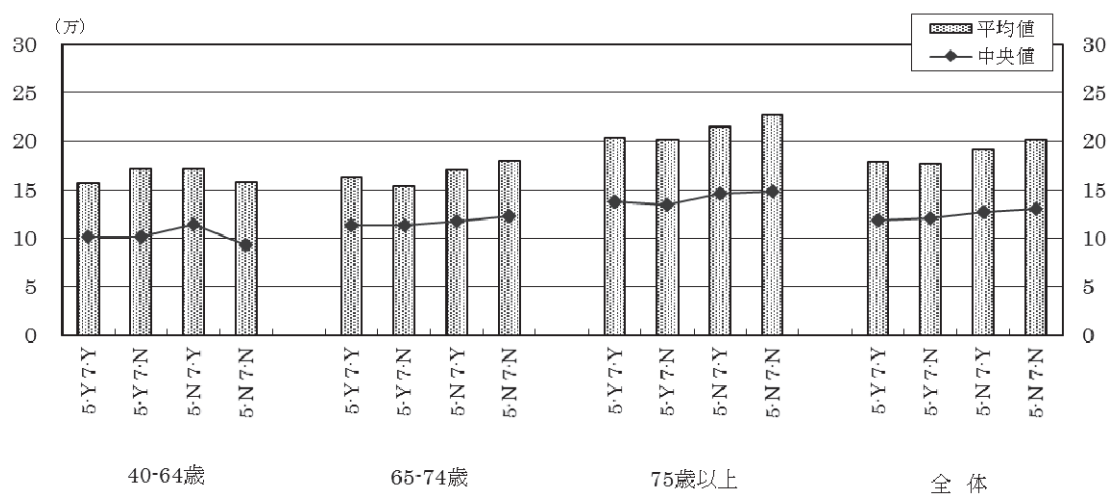
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	193	885	808	1,886
5-Y 7-N	155	432	476	1,063
5-N 7-Y	144	485	538	1,167
5-N 7-N	341	889	1,258	4,116
全 体	833	2,691	3,080	8,232

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上の年齢階級において「5-N 7-N」の平均値が最も高かった。全体においても「5-N 7-N」は平均値が最も高く、中央値も最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	156170	101160	162490	113130	203260	137000	179310	118680
5-Y 7-N	171000	100980	153390	113060	200730	133920	177160	121020
5-N 7-Y	171410	114350	170720	117330	214930	145560	191190	127440
5-N 7-N	157400	93420	180280	122760	227220	148610	200880	130520
全 体	161830	100320	168520	116720	217530	145160	190900	125160



高血圧性疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

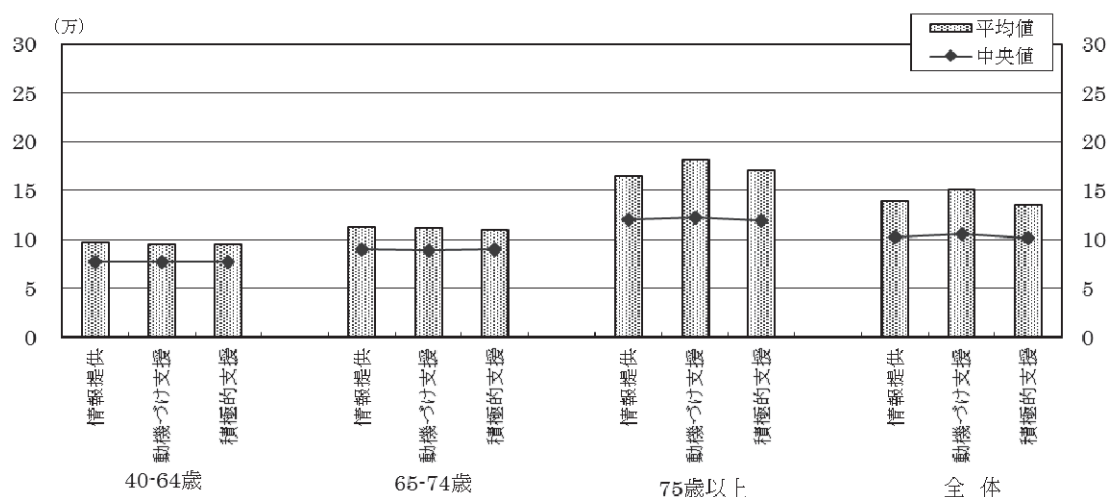
高血圧性疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	418	950	1,152	2,520
動機づけ支援	1,217	3,566	6,626	11,409
積極的支援	1,537	5,980	8,437	15,954
計	3,172	10,496	16,215	29,883

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64歳、65-74歳の年齢階級では情報提供群の平均値が最も高かった。75歳以上の年齢階級では平均値、中央値とも動機づけ支援群が最も高く、全体でも同様であった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	97540	76800	113470	90120	165070	120210	139220	102680
動機づけ支援	95310	77100	112440	89180	181280	122280	150590	106080
積極的支援	95580	77600	109830	90390	170850	119870	135360	101210
全 体	96430	77040	112790	89900	172100	120990	143240	103650



高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

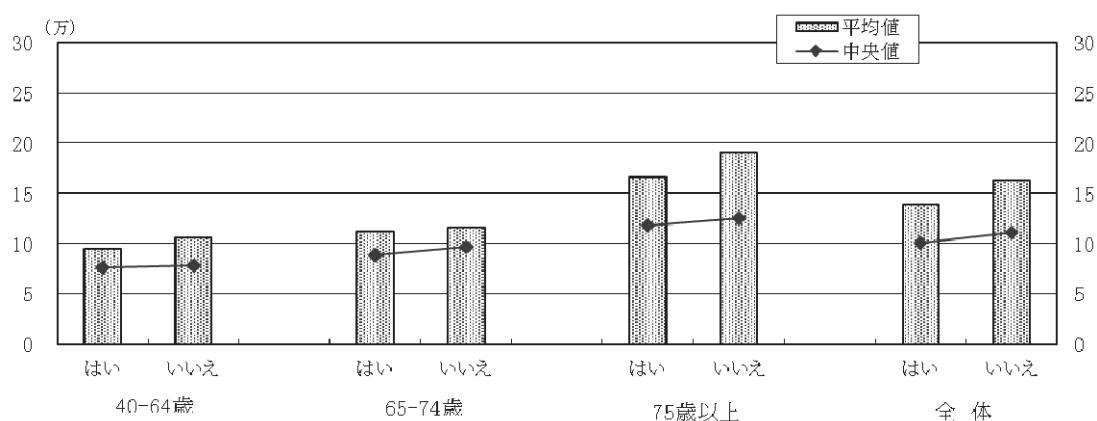
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	2,814	9,135	12,738	24,687
い い え	343	1,280	2,860	4,483
無 回 答	15	81	617	713
計	3,172	10,496	16,215	29,883

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級の平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値で約2.5万円、中央値で約1万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	95280	76590	112260	88320	166550	118280	138340	101130
い い え	105670	78900	115920	96600	191210	125780	163170	110820
全 体	96430	77040	112790	89900	172100	120990	143240	103650



高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

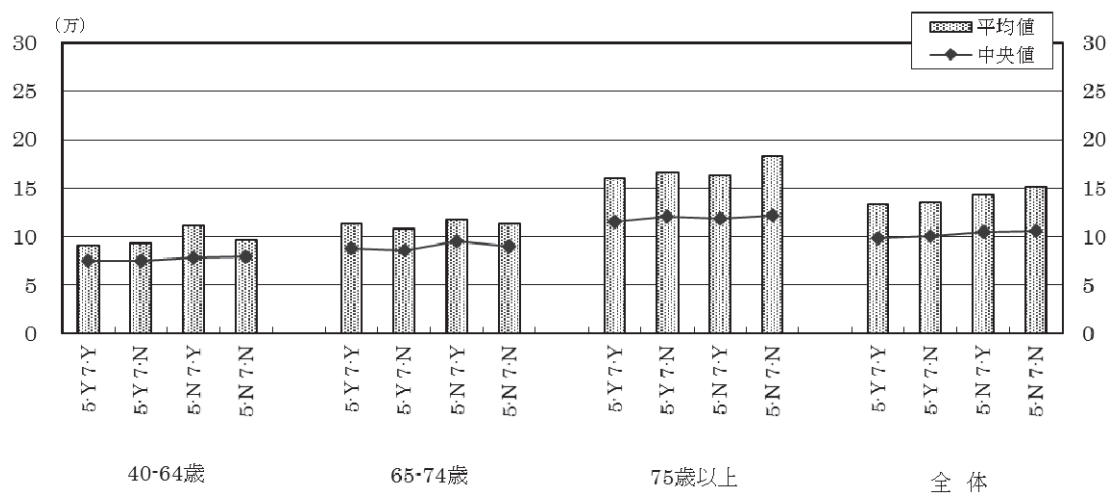
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	805	3,376	3,911	8,092
5-Y 7-N	639	1,941	2,722	5,302
5-N 7-Y	446	1,545	2,498	4,489
5-N 7-N	1,267	3,553	6,453	17,883
全 体	3,157	10,415	15,584	35,766

・診療費（一人あたり1年間、円）

75歳以上では「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったが、その差は大きくない。全体でも「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったがその差は大きくなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	91300	75450	112980	88160	160210	115440	133650	98520
5-Y 7-N	92860	74700	107490	85290	165640	120420	135580	100920
5-N 7-Y	110730	78090	117410	94950	163370	118530	142320	105120
5-N 7-N	96400	78720	113260	90120	182890	121830	151220	105540
全 体	96430	77040	112790	89900	172100	120990	143240	103650



動脈硬化症 年齢階級別歯科階層化判定別

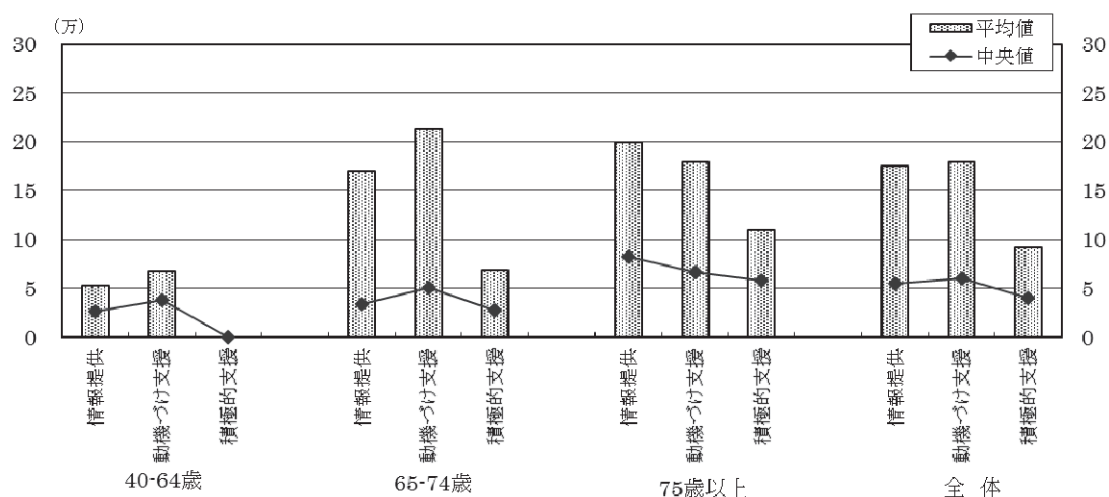
動脈硬化症の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	0	14	18	32
動機づけ支援	11	37	105	153
積極的支援	20	71	115	206
計	31	122	238	391

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で積極的支援群の平均値が最も低く、動機づけ支援群の平均値が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	52970	27000	169780	33600	199940	82410	175270	55130
動機づけ支援	68260	38100	213560	51180	179180	66780	179520	60000
積極的支援	0	0	68910	28100	110070	58310	92060	40610
全 体	58400	31500	171480	37020	183980	70730	170130	56880



動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目1回答別

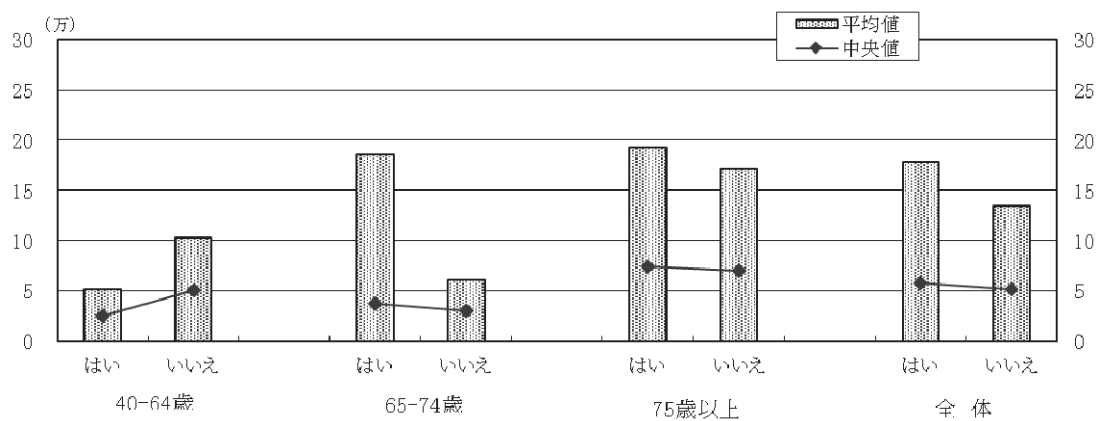
動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	27	104	192	323
い い え	4	17	37	58
無 回 答	0	1	9	10
計	31	122	238	391

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上の年齢階級の平均値、中央値とも「はい」の方が高くなっていた。
全体でも、「はい」の方が平均値で約4万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	51790	25290	185200	37560	193330	74340	178880	57840
い い え	103010	50610	61370	30750	171210	70530	134310	52170
全 体	58400	31500	171480	37020	183980	70730	170130	56880



動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

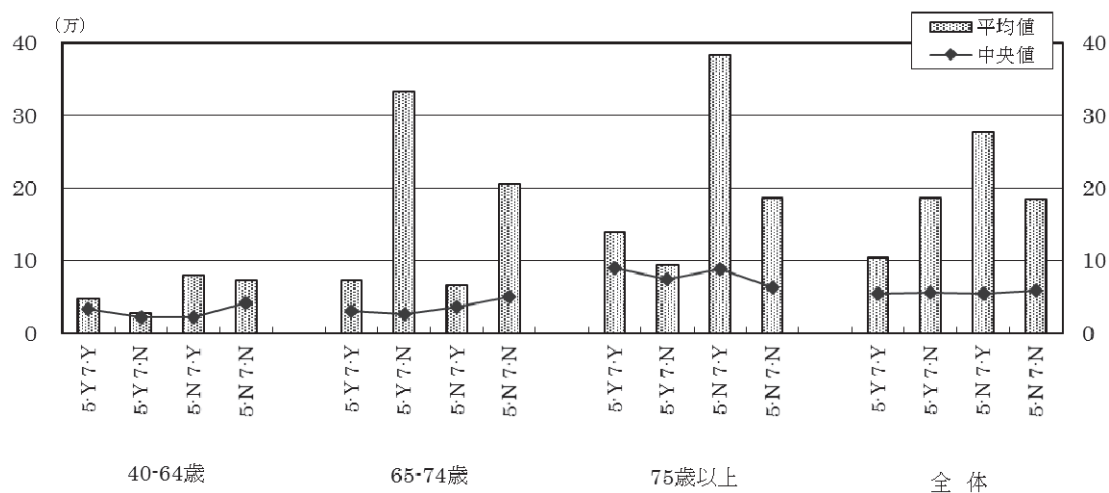
動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	12	45	60	117
5-Y 7-N	4	24	32	60
5-N 7-Y	5	12	33	50
5-N 7-N	10	40	104	227
全 体	31	121	229	454

・ 診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において一定の傾向は認められなかった。全体では「5-N 7-Y」が平均値で最も高く、「5-Y 7-Y」の平均値、中央値が最も低かった。その差は平均値で約17万円、中央値では大きな差はない。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	47540	32910	73040	30960	139410	90210	104460	54480
5-Y 7-N	28560	22890	332540	27230	95000	75020	185590	56670
5-N 7-Y	80020	22500	66350	35720	382290	88590	276240	55460
5-N 7-N	72550	41730	205990	50150	186870	63620	184410	59390
全 体	58400	31500	171480	37020	183980	70730	170130	56880



肺炎 年齢階級別歯科階層化判定別

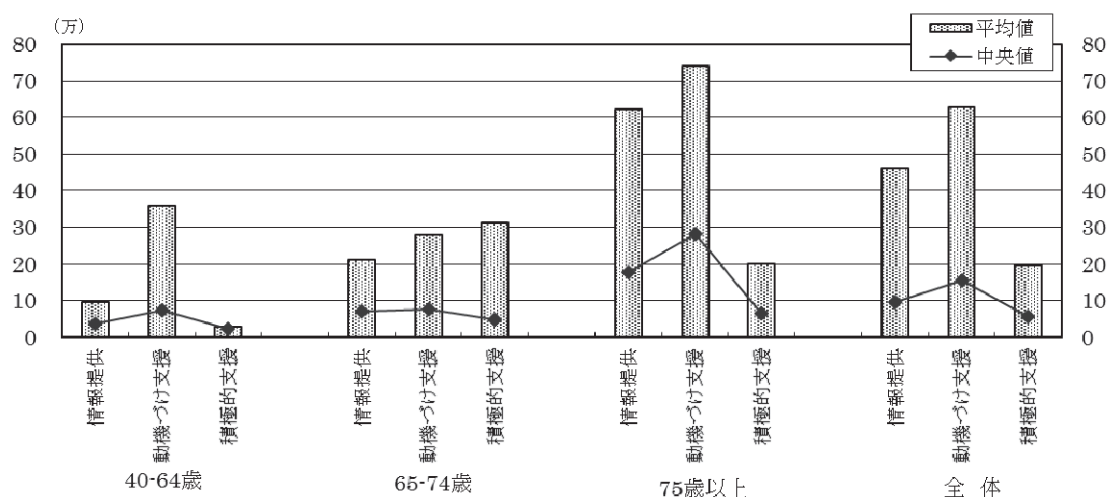
肺炎の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	5	7	18	30
動機づけ支援	12	37	142	191
積極的支援	14	75	148	237
計	31	119	308	458

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において動機づけ支援群の平均値、中央値が最も高く、全体でも同様になっている。全体では平均値で約 43 万円の差、中央値では約10万円の差があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	95310	38100	211190	70890	622070	177510	460930	95580
動機づけ支援	358720	74600	278800	77790	740900	281030	627380	155100
積極的支援	30280	23940	311580	48420	200040	66560	197770	56090
全 体	186780	38550	238120	70770	652190	205920	513100	111440



肺炎 年齢階級別歯科質問項目1回答別

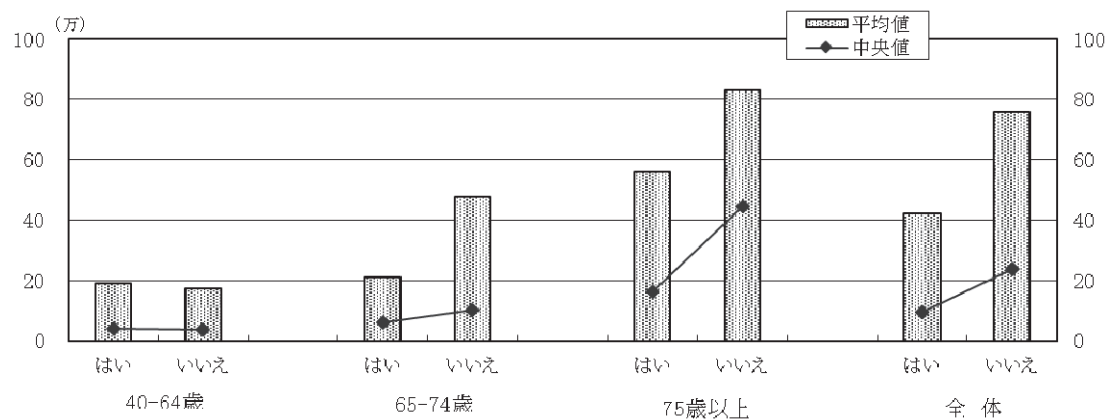
肺炎の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	26	106	206	338
い い え	5	13	96	114
無 回 答	0	0	6	6
計	31	119	308	458

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳と75歳以上の年齢階級で「はい」の方が平均値、中央値ともに低かった。全体としては「いいえ」の方が平均値、中央値とも高く、平均値で約34万円、中央値では14万円の差があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	189640	38880	209070	61880	562550	162080	423010	94070
い い え	171920	37620	474960	102600	829250	444090	760020	238640
全 体	186780	38550	238120	70770	652190	205920	513100	111440



肺炎 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

肺炎の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

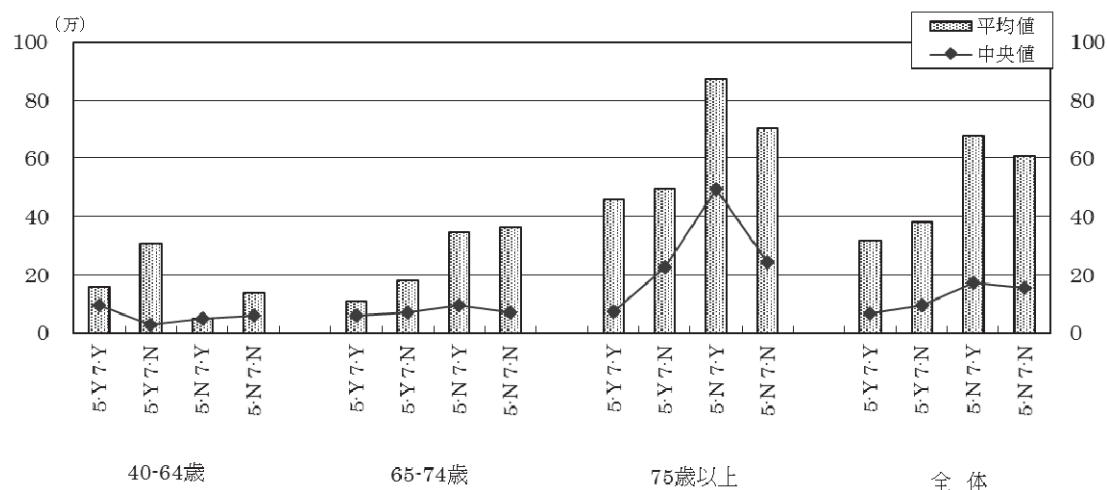
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	7	42	69	118
5-Y 7-N	10	20	41	71
5-N 7-Y	3	25	52	80
5-N 7-N	11	32	140	269
全 体	31	119	302	538

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体で見ると「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、平均値では「5-N 7-Y」より約 36 万円、中央値でも約 10 万円低かった。また、5-Y 群が 5-N 群に比べて平均値、中央値ともに低くなっていた。

年齢階級別で見た場合、75 歳以上でその傾向が顕著で、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-Y」より平均値において約 42 万円、中央値においても約 42 万円低かった。74 歳以下の年齢階級では、ばらつきがみられた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	157440	95580	108530	60020	457670	74010	315590	67400
5-Y 7-N	305680	27960	179320	69860	495300	225480	379580	94980
5-N 7-Y	47360	47520	344900	93780	872200	495410	676490	172970
5-N 7-N	135390	58230	361530	68210	701800	243290	608250	155100
全 体	186780	38550	238120	70770	652190	205920	513100	111440



歯の疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

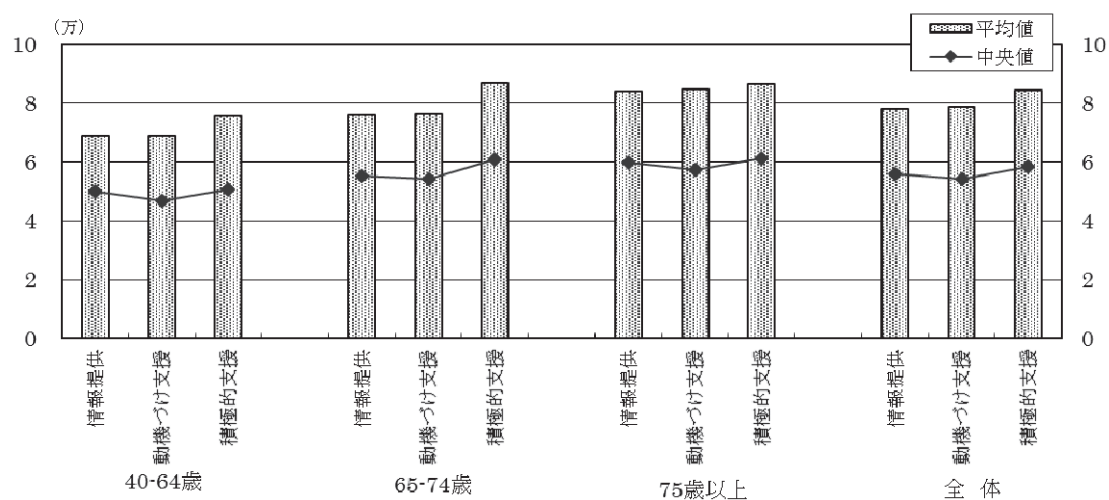
歯の疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	632	1,094	1,070	2,796
動機づけ支援	1,623	3,088	4,009	8,720
積極的支援	5,022	12,467	12,790	30,279
計	7,277	16,649	17,869	41,795

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で積極的支援群の平均値、中央値が最も高くなっていた。動機付け支援群と情報提供群ではばらつきがあるが、その差が小さかった。全体では、情報提供群は積極的支援群より平均値で約 6 千円、中央値で約 2 千円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	69100	50060	75830	55410	84010	59730	78170	56130
動機づけ支援	69110	46770	76220	54120	84880	57210	78880	54150
積極的支援	75770	50640	87040	60900	86390	61110	84240	58460
全 体	69680	49560	76640	55440	84350	59130	78720	55920



歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

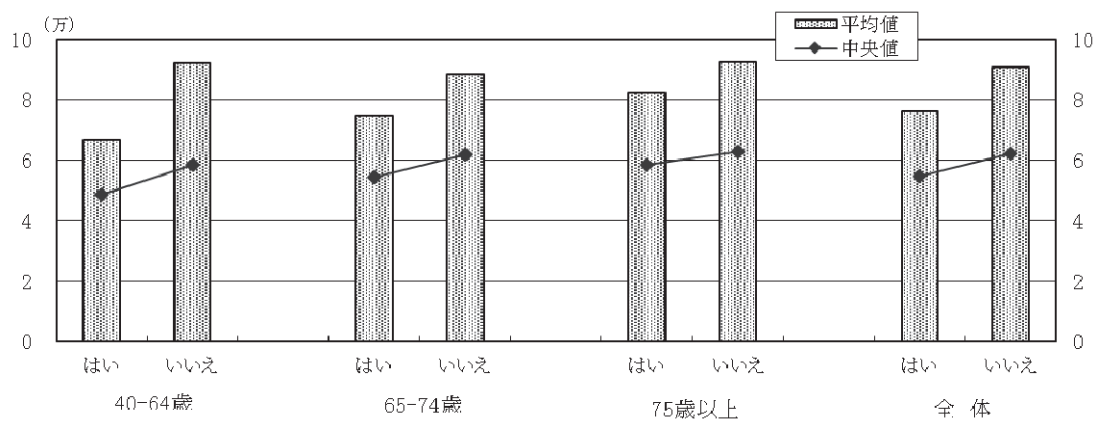
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	6,429	14,330	14,068	34,827
い い え	826	2,246	3,420	6,492
無 回 答	22	73	381	476
計	7,277	16,649	17,869	41,795

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体で見ると、「はい」の方が平均値で約1.4万円、中央値で約7千円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	66760	48660	74770	54470	82380	58560	76360	54870
い い え	92170	58380	88420	62010	92400	63080	90990	62120
全 体	69680	49560	76640	55440	84350	59130	78720	55920



歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

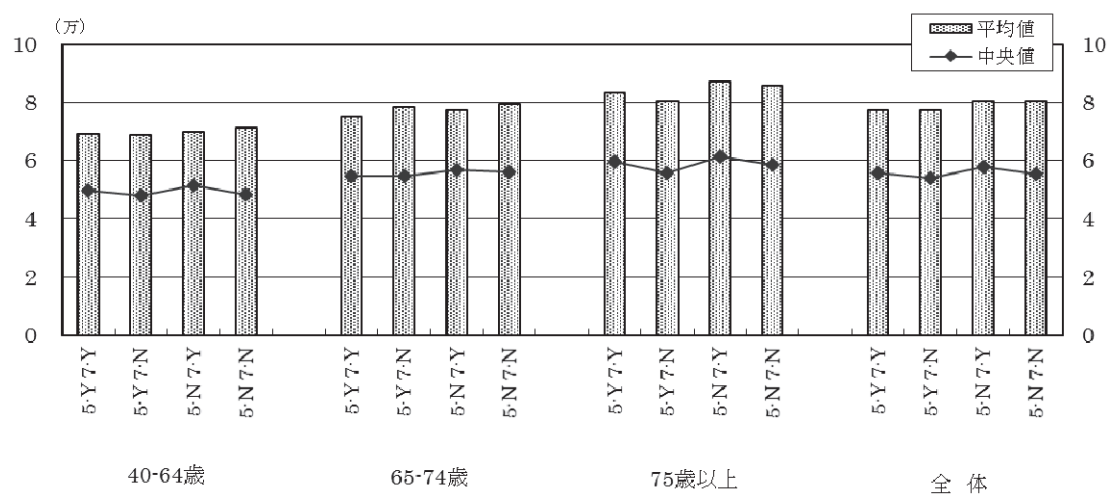
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	3,141	8,320	7,338	18,799
5-Y 7-N	983	1,995	2,061	5,039
5-N 7-Y	1,453	3,169	4,094	8,716
5-N 7-N	1,678	3,089	3,986	32,554
全 体	7,255	16,573	17,479	65,108

・診療費（一人あたり1年間、円）

どの年齢階級においても、歯科質問項目5×7回答別による平均値、中央値とも大きな差は認められなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	69060	49710	75060	54780	83130	59640	77210	55620
5-Y 7-N	68670	47880	78190	54600	80460	55680	77260	53910
5-N 7-Y	69870	51420	77150	56940	87120	61500	80620	58020
5-N 7-N	71150	48170	79230	55980	85670	58490	80610	55380
全 体	69680	49560	76640	55440	84350	59130	78720	55920



(5) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別歯科階層化判定別

生活習慣病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

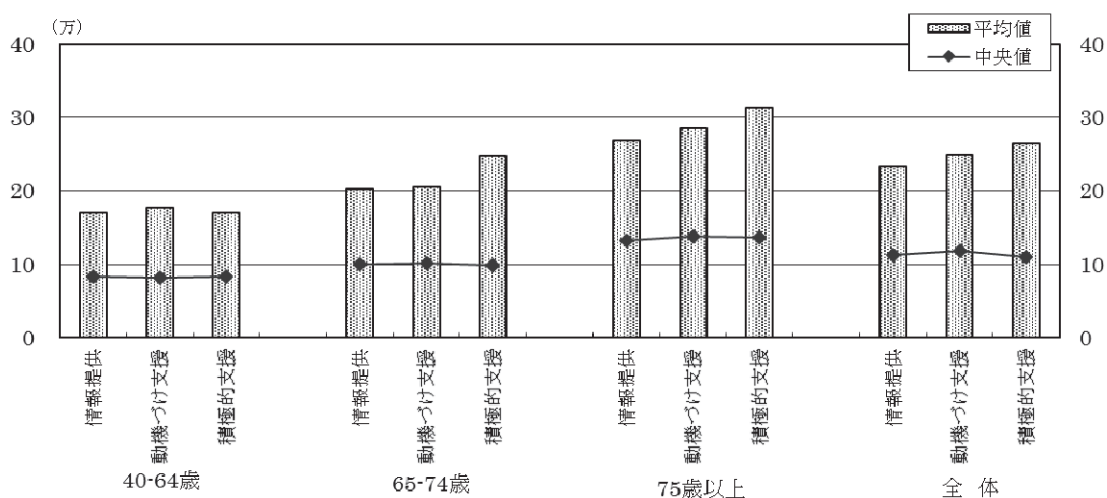
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	626	1,439	1,751	3,816
動機づけ支援	1,930	5,327	9,953	17,210
積 極 的 支 援	2,456	9,444	12,907	24,807
計	5,012	16,210	24,611	45,833

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74 歳、75 歳以上の年齢階級では、歯科階層化判定が重くなるほど平均値が高くなっていたが、中央値は動機づけ支援群が高くなっていた。

全体でも、歯科階層化判定が重くなるほど平均値は高くなり、積極的支援群は情報提供群より平均値で約 2 万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	171120	82820	203400	99830	268420	132780	234030	112710
動機づけ支援	177210	82580	206090	101490	285430	138540	248730	117830
積 極 的 支 援	170970	83510	247760	98700	313160	136680	265170	110040
全 体	173450	82770	208220	100200	278480	135270	242150	114540



生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

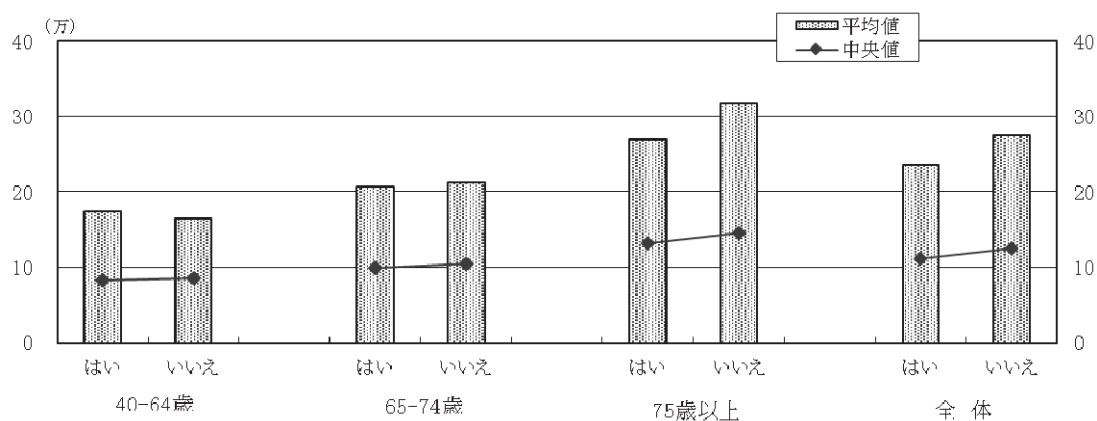
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	4,425	14,023	19,270	37,718
い い え	557	2,073	4,477	7,107
無 回 答	30	114	864	1,008
計	5,012	16,210	24,611	45,833

・診療費（一人あたり1年間、円）

65 歳以上の年齢階級では「はい」の方が平均値、中央値が低くなっていた。40-64 歳でも中央値においては「はい」のほうが低くなっていた。

全体でも、「はい」の方が平均値で約 4 万円、中央値で約1万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	174250	82620	207240	99510	268940	131300	234890	111590
い い え	165020	85920	211760	104400	316840	145290	274290	124650
全 体	173450	82770	208220	100200	278480	135270	242150	114540



生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

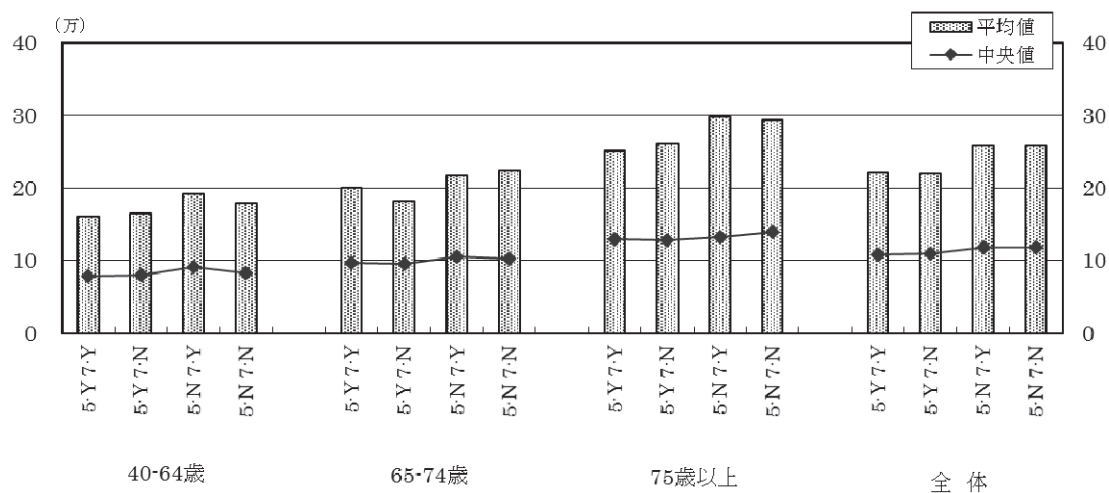
生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	1,296	5,343	6,038	12,677
5-Y 7-N	953	2,912	3,998	7,863
5-N 7-Y	728	2,538	3,943	7,209
5-N 7-N	2,004	5,302	9,748	27,749
全 体	4,981	16,095	23,727	55,498

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において「5-Y」（セルフケア群）は「5-N」（非セルフケア群）より平均値、中央値とも低い傾向が認められたが、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）と「7-N」（非プロフェッショナルケア群）については大きな差は認められず、セルフケアの影響が強くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	161120	78330	200820	97800	251670	129270	220980	108210
5-Y 7-N	164600	80100	182370	96300	260470	128520	219930	109350
5-N 7-Y	191530	91530	217630	105510	297120	132330	258470	117720
5-N 7-N	178550	83390	224190	102570	293900	139560	258680	118020
全 体	173450	82770	208220	100200	278480	135270	242150	114540



まとめ・考察（Ⅲ）

歯科階層化判定と診療日数・医療費の関係

- ・歯科階層化判定区分の重さと診療日数、診療費との関連性は医科、調剤においては特に認められなかった。歯科においては積極的支援群において診療費が最も高く、情報提供群、動機づけ支援群の間にはあまり差がなかった。

歯科質問項目 1 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 1「なんでも噛んで食べられる」にはいと答えた人の方が医科、歯科、調剤とも診療日数、診療費とも少なかった。

歯科質問項目 5×7 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と歯科質問項目 7「定期的（年 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）について、診療日数において医科では「5-N」（非セルフケア群）で多く、歯科では「7-Y」（プロフェッショナルケア群）で多くなっていた。調剤においては一定の傾向は認められなかった。また歯科質問項目 7 の回答別と診療日数との関連性はどの診療科においてもみられず、歯科質問項目 5 の回答別との組み合わせにおいても一定の傾向は見られなかった。
- ・診療費においては医科では「5-Y」（セルフケア群）で平均値が低かった。歯科の平均値においては「5-Y 7-N」が最も低く、「5-N 7-Y」が最も高かった。調剤については「5-Y 7-Y」の平均値、中央値が最も低く、「5-N 7-Y」が最も高かった。

主要疾患別歯科階層化判定と診療費の関係

- ・悪性新生物、脳血管疾患、歯の疾患、生活習慣病においては歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。
- ・他の疾患においては歯科階層化判定の重さと診療費の関係に一定の傾向を見出すことは難しかった。

主要疾患別歯科質問項目 1 回答別と診療費の関係

- ・脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、肺炎、歯の疾患、生活習慣病では「はい」の方が医療費が低かった。悪性新生物、虚血性心疾患、動脈硬化症においては「はい」の方が医療費が高かった。

主要疾患別歯科質問項目 5×7 回答別と診療費の関係

- ・悪性新生物、脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化症、肺炎、歯の疾患、生活習慣病においては「5-Y 7-Y」の診療費が低く、「5-N 7-N」の診療費が高くなる傾向が見られたが、肺炎以外ではその差はあまり大きくなかった。肺炎は主要疾患別の中で最も診療費の平均値が高い疾患で、口腔ケアの有無によって診療費が大きくかわる可能性が示唆された。その他の疾患においては一定の傾向を見出すことは難しかった。

年齢階級と診療費の関係

- ・脳血管疾患、糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化症、肺炎、歯の疾患、生活習慣病においては年齢階級が上がるにつれ診療費の平均値、中央値が増加する傾向が著明であった。その他の疾患もおおむね年齢階級があがるほど診療費が増加する傾向にあったがその程度は緩やかであった。虚血性心疾患においては 64-74 歳の平均値が最も高くなっており、これは昨年、一昨年にも見られる傾向であった。

疾患別の診療費

全体の平均値がもっとも高かった疾患は肺炎でもっとも低かった疾患は歯の疾患であった。全体の平均値、中央値はほとどの疾患においても昨年の値と近似していた。また、平均値が中央値の3倍以上となる疾患は悪性新生物、脳血管疾患、肺炎で、逆に平均値が中央値の2倍以下だった疾患は糖尿病、高血圧性疾患、歯の疾患であった。

IV 平成 24 年度特定健診受診者のうち平成 25 年 5 月に歯科を受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 24 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答を入手できた者のうち、平成 25 年 5 月に歯科を受診し、歯科レセプトに現在歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度が記載された者 6,893 人を対象者とした。

特定健診受診者の歯科質問票から分類された歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目 7「定期的に（年に 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目 5×7）に現在歯数、歯周病の程度、歯科健診受診頻度について 40-64 歳、65-75 歳、75 歳以上に分類して分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

また、現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果(HbA1c)の状況について分析を行った。

二 調査・分析結果

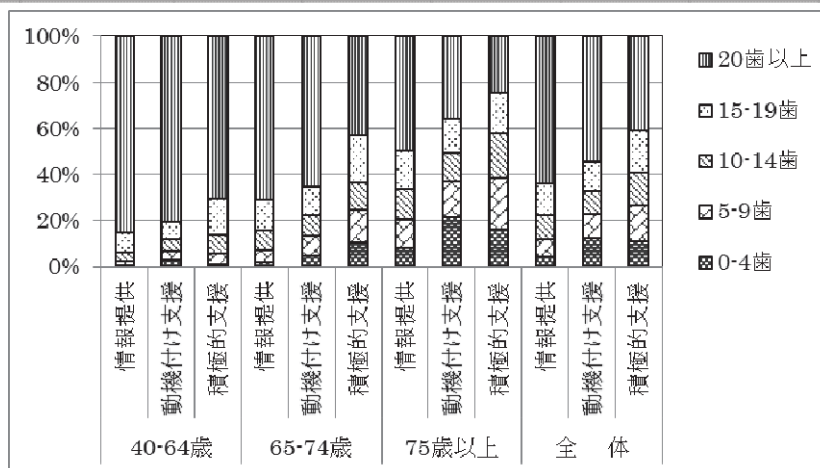
A 特定健診の歯科質問項目と現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

1-1 歯科階層化判定別現在歯数

歯科階層化判定と現在歯数との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、20 歯以上の割合が少ない傾向にあった。しかし、0-4歯と極端に現在歯数の少ない者の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。年齢階級別では、40-74 歳では支援の程度が重くなる程、0-4 歯と極端に現在歯の少ない者の割合が少ない傾向にあったものの、75 歳以上では、積極的支援群よりも動機づけ支援群の方が 0-4 歯と極端に現在歯の少ない者の割合が多かった。

年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	情報提供	742	5	12	30	63	632
	動機付け支援	265	8	9	15	19	214
	積極的支援	88	1	4	7	14	62
65-74歳	情報提供	2,129	45	107	182	286	1,509
	動機付け支援	501	24	42	46	61	328
	積極的支援	180	19	25	22	36	78
75歳以上	情報提供	2,139	174	260	290	349	1,066
	動機付け支援	665	143	102	82	98	240
	積極的支援	184	30	41	35	33	45
全 体	情報提供	5,010	224	379	502	698	3,207
	動機付け支援	1,431	175	153	143	178	782
	積極的支援	452	50	70	64	83	185
		割 合					
40-64歳	情報提供	100.0%	0.7%	1.6%	4.0%	8.5%	85.2%
	動機付け支援	100.0%	3.0%	3.4%	5.7%	7.2%	80.8%
	積極的支援	100.0%	1.1%	4.5%	8.0%	15.9%	70.5%
65-74歳	情報提供	100.0%	2.1%	5.0%	8.5%	13.4%	70.9%
	動機付け支援	100.0%	4.8%	8.4%	9.2%	12.2%	65.5%
	積極的支援	100.0%	10.6%	13.9%	12.2%	20.0%	43.3%
75歳以上	情報提供	100.0%	8.1%	12.2%	13.6%	16.3%	49.8%
	動機付け支援	100.0%	21.5%	15.3%	12.3%	14.7%	36.1%
	積極的支援	100.0%	16.3%	22.3%	19.0%	17.9%	24.5%
全 体	情報提供	100.0%	4.5%	7.6%	10.0%	13.9%	64.0%
	動機付け支援	100.0%	12.2%	10.7%	10.0%	12.4%	54.6%
	積極的支援	100.0%	11.1%	15.5%	14.2%	18.4%	40.9%



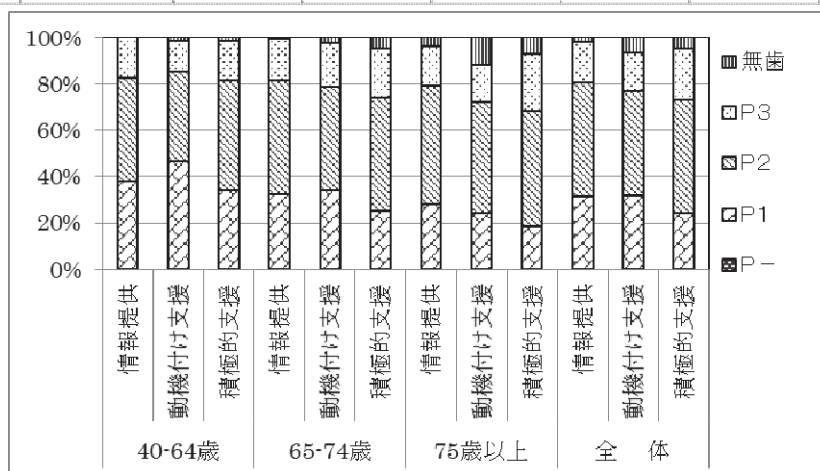
1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度

歯科階層化判定と歯周病の程度との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあった。P2の割合は各階層でほぼ同じであった。しかし、無歯の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。

年齢階級別では、65-74歳と75歳以上では支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあったものの、無歯の割合に限ってみると、動機づけ支援群が一番多かった。40-64歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方がP3の割合が多かった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	階層化判定	人数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	情報提供	742	1	282	329	129	1
	動機づけ支援	265	0	123	103	35	4
	積極的支援	88	0	30	42	15	1
65-74歳	情報提供	2,129	1	690	1,051	379	8
	動機づけ支援	501	0	171	223	95	12
	積極的支援	180	0	45	88	39	8
75歳以上	情報提供	2,139	1	602	1,095	362	79
	動機づけ支援	665	2	158	321	107	77
	積極的支援	184	0	34	92	45	13
全体	情報提供	5,010	3	1,574	2,475	870	88
	動機づけ支援	1,431	2	452	647	237	93
	積極的支援	452	0	109	222	99	22
		割合					
40-64歳	情報提供	100.0%	0.1%	38.0%	44.3%	17.4%	0.1%
	動機づけ支援	100.0%	0.0%	46.4%	38.9%	13.2%	1.5%
	積極的支援	100.0%	0.0%	34.1%	47.7%	17.0%	1.1%
65-74歳	情報提供	100.0%	0.0%	32.4%	49.4%	17.8%	0.4%
	動機づけ支援	100.0%	0.0%	34.1%	44.5%	19.0%	2.4%
	積極的支援	100.0%	0.0%	25.0%	48.9%	21.7%	4.4%
75歳以上	情報提供	100.0%	0.0%	28.1%	51.2%	16.9%	3.7%
	動機づけ支援	100.0%	0.3%	23.8%	48.3%	16.1%	11.6%
	積極的支援	100.0%	0.0%	18.5%	50.0%	24.5%	7.1%
全体	情報提供	100.0%	0.1%	31.4%	49.4%	17.4%	1.8%
	動機づけ支援	100.0%	0.1%	31.6%	45.2%	16.6%	6.5%
	積極的支援	100.0%	0.0%	24.1%	49.1%	21.9%	4.9%

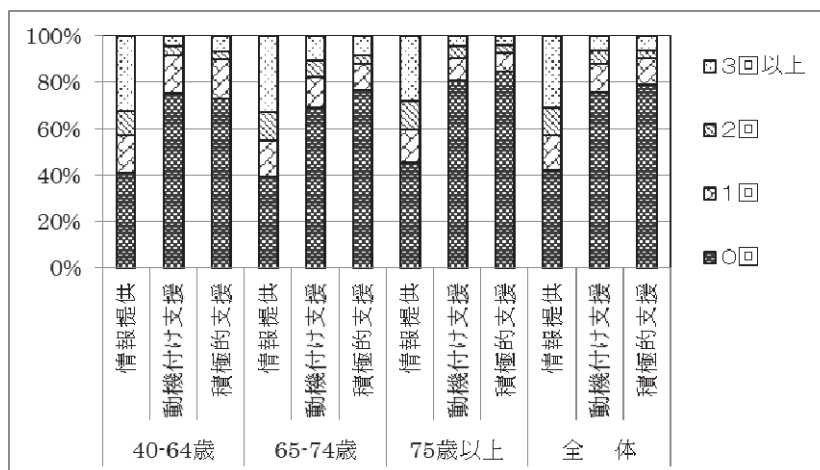


1-3 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、情報提供群と支援群の間で大きく傾向が分かれた。情報提供群では0回がおよそ4割、そして、動機づけ支援群と積極的支援群では0回がどちらも8割近くという結果だった。動機づけ支援群と積極的支援群の歯科健診受診頻度割合はほぼ同じだったが、積極的支援群の方が、0回の割合が若干高く、1回以上の割合は若干少なくなっていた。

年齢階級別では、40-64歳の0回の割合が動機づけ群より積極的支援群の方が少なかったが、0回の割合はどの群でも65-74歳が少なく、75歳以上が多くなっていた。

年齢階級	階層化判定	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	情報提供	742	306	120	77	239
	動機づけ支援	265	199	44	10	12
	積極的支援	88	64	15	3	6
65-74歳	情報提供	2,129	835	330	261	703
	動機づけ支援	501	347	66	36	52
	積極的支援	180	138	20	7	15
75歳以上	情報提供	2,139	970	300	267	602
	動機づけ支援	665	539	63	34	29
	積極的支援	184	156	15	6	7
全 体	情報提供	5,010	2,111	750	605	1,544
	動機づけ支援	1,431	1,085	173	80	93
	積極的支援	452	358	50	16	28
		割 合				
40-64歳	情報提供	100.0%	41.2%	16.2%	10.4%	32.2%
	動機づけ支援	100.0%	75.1%	16.6%	3.8%	4.5%
	積極的支援	100.0%	72.7%	17.0%	3.4%	6.8%
65-74歳	情報提供	100.0%	39.2%	15.5%	12.3%	33.0%
	動機づけ支援	100.0%	69.3%	13.2%	7.2%	10.4%
	積極的支援	100.0%	76.7%	11.1%	3.9%	8.3%
75歳以上	情報提供	100.0%	45.3%	14.0%	12.5%	28.1%
	動機づけ支援	100.0%	81.1%	9.5%	5.1%	4.4%
	積極的支援	100.0%	84.8%	8.2%	3.3%	3.8%
全 体	情報提供	100.0%	42.1%	15.0%	12.1%	30.8%
	動機づけ支援	100.0%	75.8%	12.1%	5.6%	6.5%
	積極的支援	100.0%	79.2%	11.1%	3.5%	6.2%



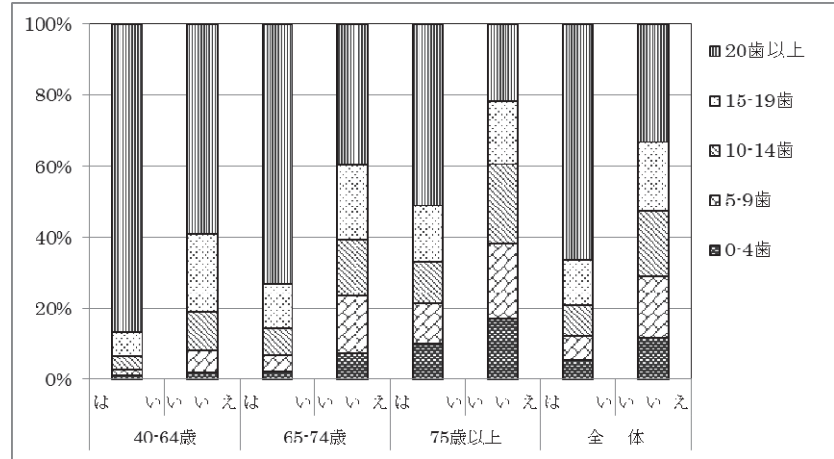
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

2-1 歯科質問項目1別現在歯数

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と現在歯数との関係は、全体では、「はい」と「いいえ」との間で、20 歯以上ある者の割合が「はい」でおよそ 66%、「いいえ」でおよそ 33%と大きな差があった。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても 20 歯以上ある者の割合は「はい」が「いいえ」より約 3 割多かったが、現在歯数は年齢階級が進むにつれ減少していた。何でもかんで食べられるかで一番大きな差があるのは全ての年齢階級で 20 歯以上だが、2 番目に差があるのは各年齢階級で異なり、75 歳以上で 10-14 歯、65-74 歳で 5-9 歯、40-64 歳で 15-19 歯であった

年齢階級	問 診 1 回 答	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	は い	943	11	16	36	63	817
	い い え	147	3	9	16	32	87
	無 回 答	5	0	0	0	1	4
65-74歳	は い	2,387	56	107	184	294	1,746
	い い え	408	30	66	64	86	162
	無 回 答	15	2	1	2	3	7
75歳以上	は い	2,359	236	271	274	370	1,208
	い い え	565	96	121	125	99	124
	無 回 答	64	15	11	8	11	19
全 体	は い	5,689	303	394	494	727	3,771
	い い え	1,120	129	196	205	217	373
	無 回 答	84	17	12	10	15	30
		割 合					
40-64歳	は い	100.0%	1.2%	1.7%	3.8%	6.7%	86.6%
	い い え	100.0%	2.0%	6.1%	10.9%	21.8%	59.2%
	無 回 答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%
65-74歳	は い	100.0%	2.3%	4.5%	7.7%	12.3%	73.1%
	い い え	100.0%	7.4%	16.2%	15.7%	21.1%	39.7%
	無 回 答	100.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	46.7%
75歳以上	は い	100.0%	10.0%	11.5%	11.6%	15.7%	51.2%
	い い え	100.0%	17.0%	21.4%	22.1%	17.5%	21.9%
	無 回 答	100.0%	23.4%	17.2%	12.5%	17.2%	29.7%
全 体	は い	100.0%	5.3%	6.9%	8.7%	12.8%	66.3%
	い い え	100.0%	11.5%	17.5%	18.3%	19.4%	33.3%
	無 回 答	100.0%	20.2%	14.3%	11.9%	17.9%	35.7%

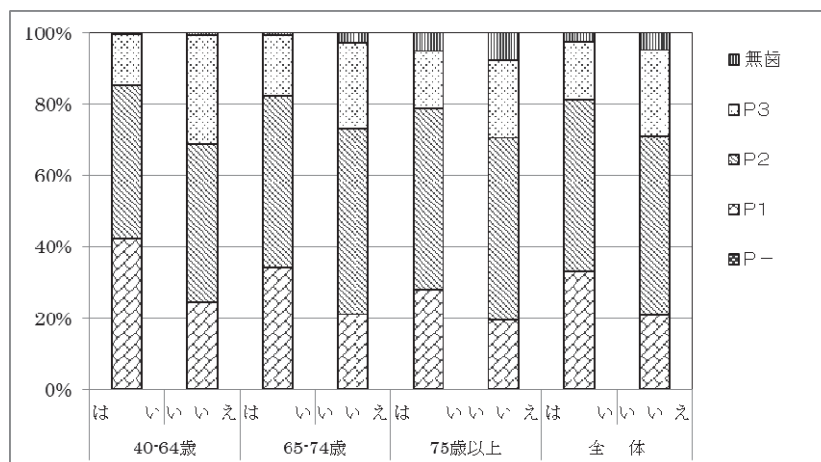


2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯周病の程度との関係は、全体では、でPーおよびP1が「はい」で33.0%「いいえ」でおよそ20.7%と「はい」の方が12.3%多く、また、P3および無歯が「はい」で18.8%「いいえ」で28.8%と「はい」が約10%少なくなっており、「いいえ」の方が歯周病の程度が重度になっていた。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が歯周病の程度が重度である傾向が見られたが、「はい」と「いいえ」で歯周病の程度の差の一番大きかったのが40-64 歳であった。これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人 数					
		総数	Pー	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	は い	943	1	399	404	134	5
	い い え	147	0	36	65	45	1
	無 回 答	5	0	0	5	0	0
65-74歳	は い	2,387	1	818	1,140	412	16
	い い え	408	0	86	212	99	11
	無 回 答	15	0	2	10	2	1
75歳以上	は い	2,359	2	659	1,197	382	119
	い い え	565	0	110	288	123	44
	無 回 答	64	1	25	23	9	6
全 体	は い	5,689	4	1,876	2,741	928	140
	い い え	1,120	0	232	565	267	56
	無 回 答	84	1	27	38	11	7
		割 合					
40-64歳	は い	100.0%	0.1%	42.3%	42.8%	14.2%	0.5%
	い い え	100.0%	0.0%	24.5%	44.2%	30.6%	0.7%
	無 回 答	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
65-74歳	は い	100.0%	0.0%	34.3%	47.8%	17.3%	0.7%
	い い え	100.0%	0.0%	21.1%	52.0%	24.3%	2.7%
	無 回 答	100.0%	0.0%	13.3%	66.7%	13.3%	6.7%
75歳以上	は い	100.0%	0.1%	27.9%	50.7%	16.2%	5.0%
	い い え	100.0%	0.0%	19.5%	51.0%	21.8%	7.8%
	無 回 答	100.0%	1.6%	39.1%	35.9%	14.1%	9.4%
全 体	は い	100.0%	0.1%	33.0%	48.2%	16.3%	2.5%
	い い え	100.0%	0.0%	20.7%	50.4%	23.8%	5.0%
	無 回 答	100.0%	1.2%	32.1%	45.2%	13.1%	8.3%



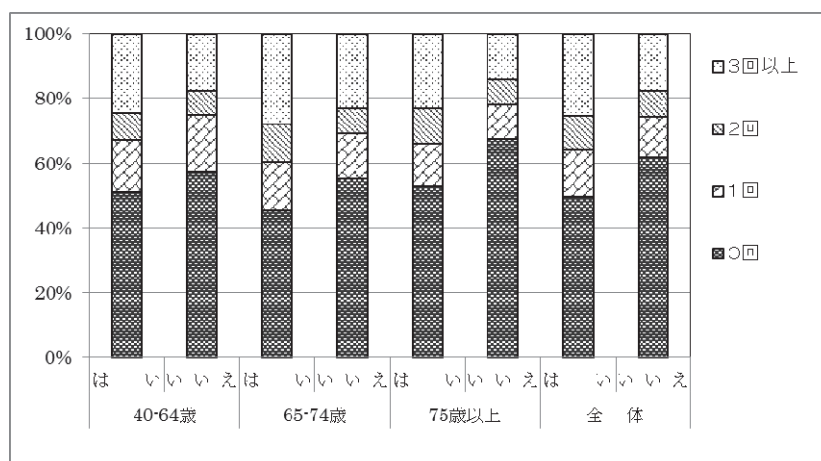
2-3 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、「はい」より「いいえ」と答えた者の方が歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。歯科健診受診頻度0回の者の割合は「はい」が「いいえ」より12.2%少なく、歯科受診頻度3回以上の者の割合は「はい」が「いいえ」より7.6%多かった。

年齢階級別では、40-64歳、65-74歳、75歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が受診頻度が少なくなる傾向が見られたが、その差の一番大きかったのが75歳以上であった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	はい	943	481	153	78	231
	いいえ	147	84	26	11	26
	無回答	5	4	0	1	0
65-74歳	はい	2,387	1,085	357	273	672
	いいえ	408	225	57	31	95
	無回答	15	10	2	0	3
75歳以上	はい	2,359	1,247	311	253	548
	いいえ	565	381	59	46	79
	無回答	64	37	8	8	11
全 体	はい	5,689	2,813	821	604	1,451
	いいえ	1,120	690	142	88	200
	無回答	84	51	10	9	14
		割 合				
40-64歳	はい	100.0%	51.0%	16.2%	8.3%	24.5%
	いいえ	100.0%	57.1%	17.7%	7.5%	17.7%
	無回答	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
65-74歳	はい	100.0%	45.5%	15.0%	11.4%	28.2%
	いいえ	100.0%	55.1%	14.0%	7.6%	23.3%
	無回答	100.0%	66.7%	13.3%	0.0%	20.0%
75歳以上	はい	100.0%	52.9%	13.2%	10.7%	23.2%
	いいえ	100.0%	67.4%	10.4%	8.1%	14.0%
	無回答	100.0%	57.8%	12.5%	12.5%	17.2%
全 体	はい	100.0%	49.4%	14.4%	10.6%	25.5%
	いいえ	100.0%	61.6%	12.7%	7.9%	17.9%
	無回答	100.0%	60.7%	11.9%	10.7%	16.7%

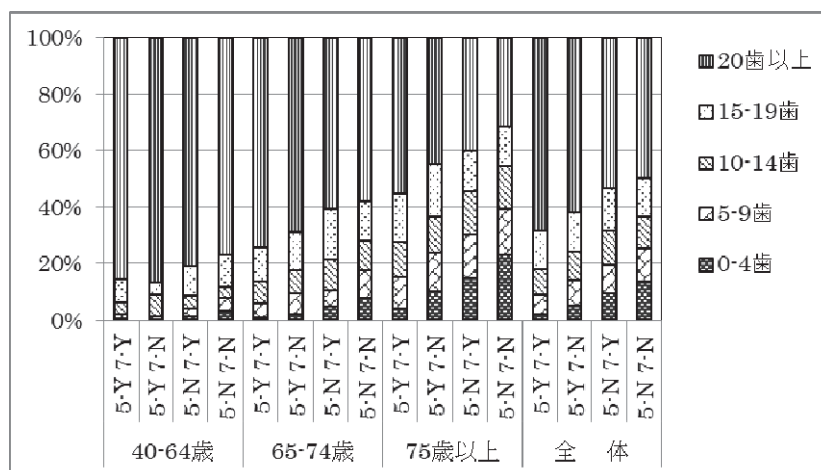


(3) 歯科質問項目5×7別、現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

3-1 歯科質問項目5×7別現在歯数

歯科質問項目5と7のクロス回答と現在歯数との関係は、全体では、20 歯以上の割合は、「5-Y 7-Y」が最も多く、次に「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」の順で、「5-N 7-N」が最も少なかった。年齢階級別では、65-74 歳と75 歳以上では全体と同じ傾向であったが、40-64 歳では、「5-Y 7-Y」と「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」と「5-N 7-N」がそれぞれ同じような割合となり、前者「5-Y」(セルフケア群)の方が現在歯数が多くなっていた。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	5-Y 7-Y	488	3	6	21	40	418
	5-Y 7-N	157	0	2	12	7	136
	5-N 7-Y	173	2	5	8	18	140
	5-N 7-N	272	9	12	11	30	210
65-74歳	5-Y 7-Y	1,452	14	71	113	175	1,079
	5-Y 7-N	336	7	24	28	45	232
	5-N 7-Y	492	24	28	53	89	298
	5-N 7-N	513	41	49	54	71	298
75歳以上	5-Y 7-Y	1,285	53	140	160	222	710
	5-Y 7-N	367	37	50	47	68	165
	5-N 7-Y	638	95	98	98	90	257
	5-N 7-N	634	146	104	94	89	201
全 体	5-Y 7-Y	3,225	70	217	294	437	2,207
	5-Y 7-N	860	44	76	87	120	533
	5-N 7-Y	1,303	121	131	159	197	695
	5-N 7-N	1,419	196	165	159	190	709
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.6%	1.2%	4.3%	8.2%	85.7%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	1.3%	7.6%	4.5%	86.6%
	5-N 7-Y	100.0%	1.2%	2.9%	4.6%	10.4%	80.9%
	5-N 7-N	100.0%	3.3%	4.4%	4.0%	11.0%	77.2%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.0%	4.9%	7.8%	12.1%	74.3%
	5-Y 7-N	100.0%	2.1%	7.1%	8.3%	13.4%	69.0%
	5-N 7-Y	100.0%	4.9%	5.7%	10.8%	18.1%	60.6%
	5-N 7-N	100.0%	8.0%	9.6%	10.5%	13.8%	58.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	4.1%	10.9%	12.5%	17.3%	55.3%
	5-Y 7-N	100.0%	10.1%	13.6%	12.8%	18.5%	45.0%
	5-N 7-Y	100.0%	14.9%	15.4%	15.4%	14.1%	40.3%
	5-N 7-N	100.0%	23.0%	16.4%	14.8%	14.0%	31.7%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	2.2%	6.7%	9.1%	13.6%	68.4%
	5-Y 7-N	100.0%	5.1%	8.8%	10.1%	14.0%	62.0%
	5-N 7-Y	100.0%	9.3%	10.1%	12.2%	15.1%	53.3%
	5-N 7-N	100.0%	13.8%	11.6%	11.2%	13.4%	50.0%

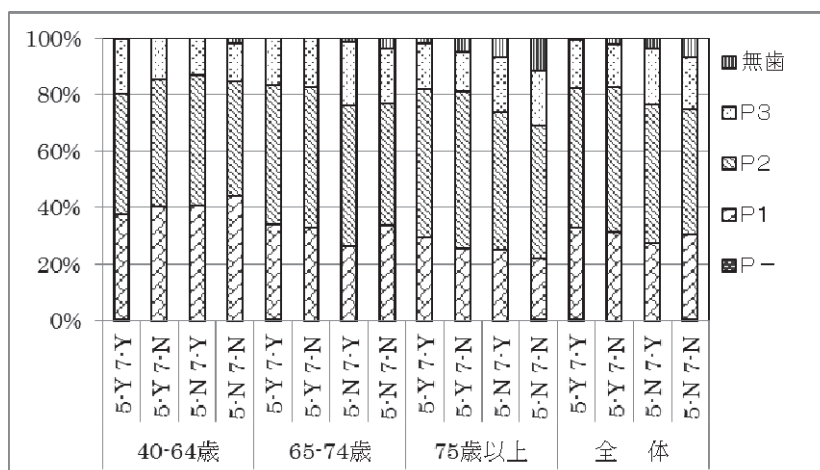


3-2 歯科質問項目5×7別歯周病の程度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯周病の程度との関係は、全体では、P-および P1の者の割合が「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」の順に少なく、P3および無歯の者の割合が「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」は同等で「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に多くなっていた。

年齢階級別では、75 歳以上では昨年と概ね同じ傾向であったが、40-64 歳では P3の者の割合が「5-Y 7-Y」が最も多く、65-74 歳では、P-およびP1の者の割合は「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」が多くなっていた。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	5-Y 7-Y	488	1	182	208	96	1
	5-Y 7-N	157	0	63	71	23	0
	5-N 7-Y	173	0	70	80	23	0
	5-N 7-N	272	0	120	110	37	5
65-74歳	5-Y 7-Y	1,452	1	492	718	241	0
	5-Y 7-N	336	0	111	166	59	0
	5-N 7-Y	492	0	129	244	112	7
	5-N 7-N	513	0	172	222	99	20
75歳以上	5-Y 7-Y	1,285	0	380	671	209	25
	5-Y 7-N	367	0	94	204	51	18
	5-N 7-Y	638	0	159	312	122	45
	5-N 7-N	634	2	137	298	123	74
全 体	5-Y 7-Y	3,225	2	1,054	1,597	546	26
	5-Y 7-N	860	0	268	441	133	18
	5-N 7-Y	1,303	0	358	636	257	52
	5-N 7-N	1,419	2	429	630	259	99
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.2%	37.3%	42.6%	19.7%	0.2%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	40.1%	45.2%	14.6%	0.0%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	40.5%	46.2%	13.3%	0.0%
	5-N 7-N	100.0%	0.0%	44.1%	40.4%	13.6%	1.8%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.1%	33.9%	49.4%	16.6%	0.0%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	33.0%	49.4%	17.6%	0.0%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	26.2%	49.6%	22.8%	1.4%
	5-N 7-N	100.0%	0.0%	33.5%	43.3%	19.3%	3.9%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	0.0%	29.6%	52.2%	16.3%	1.9%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	25.6%	55.6%	13.9%	4.9%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	24.9%	48.9%	19.1%	7.1%
	5-N 7-N	100.0%	0.3%	21.6%	47.0%	19.4%	11.7%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	0.1%	32.7%	49.5%	16.9%	0.8%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	31.2%	51.3%	15.5%	2.1%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	27.5%	48.8%	19.7%	4.0%
	5-N 7-N	100.0%	0.1%	30.2%	44.4%	18.3%	7.0%

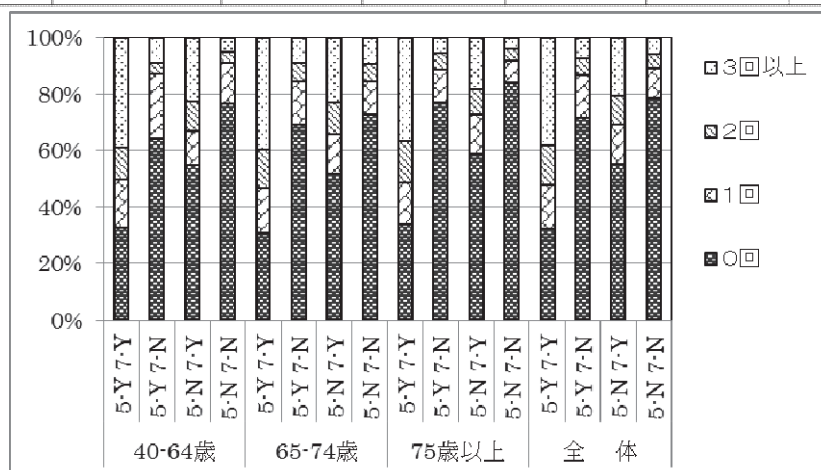


3-3 歯科質問項目5×7別歯科健診受診頻度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、0回の割合は「5-N 7-N」が最も多く、「5-Y 7-Y」が最も少なかった。「7-N」(非プロフェッショナルケア群)が多く、質問項目7の回答が同じなら、「5-N」(非セルフケア群)の方が多かった。

年齢階級別で見ても、各年齢階級で割合の差はあるものの、全体と概ね同じ傾向であった。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	5-Y 7-Y	488	160	83	55	190
	5-Y 7-N	157	101	36	6	14
	5-N 7-Y	173	95	21	18	39
	5-N 7-N	272	209	39	10	14
65-74歳	5-Y 7-Y	1,452	448	232	195	577
	5-Y 7-N	336	233	51	22	30
	5-N 7-Y	492	254	70	55	113
	5-N 7-N	513	373	61	32	47
75歳以上	5-Y 7-Y	1,285	438	187	193	467
	5-Y 7-N	367	283	43	21	20
	5-N 7-Y	638	374	90	58	116
	5-N 7-N	634	532	51	27	24
全 体	5-Y 7-Y	3,225	1,046	502	443	1,234
	5-Y 7-N	860	617	130	49	64
	5-N 7-Y	1,303	723	181	131	268
	5-N 7-N	1,419	1,114	151	69	85
		割 合				
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	32.8%	17.0%	11.3%	38.9%
	5-Y 7-N	100.0%	64.3%	22.9%	3.8%	8.9%
	5-N 7-Y	100.0%	54.9%	12.1%	10.4%	22.5%
	5-N 7-N	100.0%	76.8%	14.3%	3.7%	5.1%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	30.9%	16.0%	13.4%	39.7%
	5-Y 7-N	100.0%	69.3%	15.2%	6.5%	8.9%
	5-N 7-Y	100.0%	51.6%	14.2%	11.2%	23.0%
	5-N 7-N	100.0%	72.7%	11.9%	6.2%	9.2%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	34.1%	14.6%	15.0%	36.3%
	5-Y 7-N	100.0%	77.1%	11.7%	5.7%	5.4%
	5-N 7-Y	100.0%	58.6%	14.1%	9.1%	18.2%
	5-N 7-N	100.0%	83.9%	8.0%	4.3%	3.8%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	32.4%	15.6%	13.7%	38.3%
	5-Y 7-N	100.0%	71.7%	15.1%	5.7%	7.4%
	5-N 7-Y	100.0%	55.5%	13.9%	10.1%	20.6%
	5-N 7-N	100.0%	78.5%	10.6%	4.9%	6.0%



B 現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況

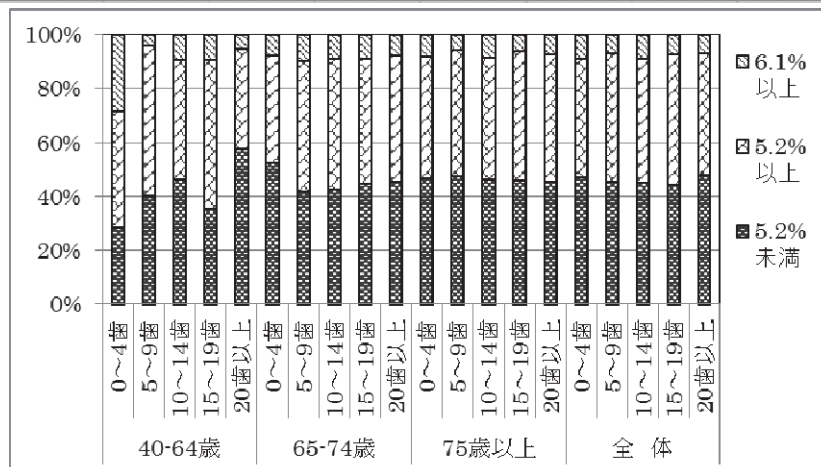
(1) 現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度とHbA1c(JDS 値)

1-1 現在歯数とHbA1cの検査結果

現在歯数とHbA1cの関係は、全体では、5.2%未満の割合は、5～14歯ではあまり差はないが0～4歯と20歯以上ではやや多くなっていた。6.1%以上の割合は0～4歯と10～14歯が多かった。

年齢階級別では、40～64歳では、現在歯数が多いほどHbA1cが低くなる傾向が強く、年齢階級が高齢になるほど、現在歯数による差が小さくなり、その傾向が弱くなっていた。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	0～4歯	14	4	6	4	100.0%	28.6%	42.9%	28.6%
	5～9歯	25	10	14	1	100.0%	40.0%	56.0%	4.0%
	10～14歯	52	24	23	5	100.0%	46.2%	44.2%	9.6%
	15～19歯	96	34	53	9	100.0%	35.4%	55.2%	9.4%
	20歯以上	908	523	336	49	100.0%	57.6%	37.0%	5.4%
65-74歳	0～4歯	88	46	35	7	100.0%	52.3%	39.8%	8.0%
	5～9歯	174	73	84	17	100.0%	42.0%	48.3%	9.8%
	10～14歯	250	107	120	23	100.0%	42.8%	48.0%	9.2%
	15～19歯	383	171	178	34	100.0%	44.6%	46.5%	8.9%
	20歯以上	1,915	867	898	150	100.0%	45.3%	46.9%	7.8%
75歳以上	0～4歯	347	162	156	29	100.0%	46.7%	45.0%	8.4%
	5～9歯	403	191	188	24	100.0%	47.4%	46.7%	6.0%
	10～14歯	407	189	182	36	100.0%	46.4%	44.7%	8.8%
	15～19歯	480	221	230	29	100.0%	46.0%	47.9%	6.0%
	20歯以上	1,351	615	634	102	100.0%	45.5%	46.9%	7.5%
全 体	0～4歯	449	212	197	40	100.0%	47.2%	43.9%	8.9%
	5～9歯	602	274	286	42	100.0%	45.5%	47.5%	7.0%
	10～14歯	709	320	325	64	100.0%	45.1%	45.8%	9.0%
	15～19歯	959	426	461	72	100.0%	44.4%	48.1%	7.5%
	20歯以上	4,174	2,005	1,868	301	100.0%	48.0%	44.8%	7.2%

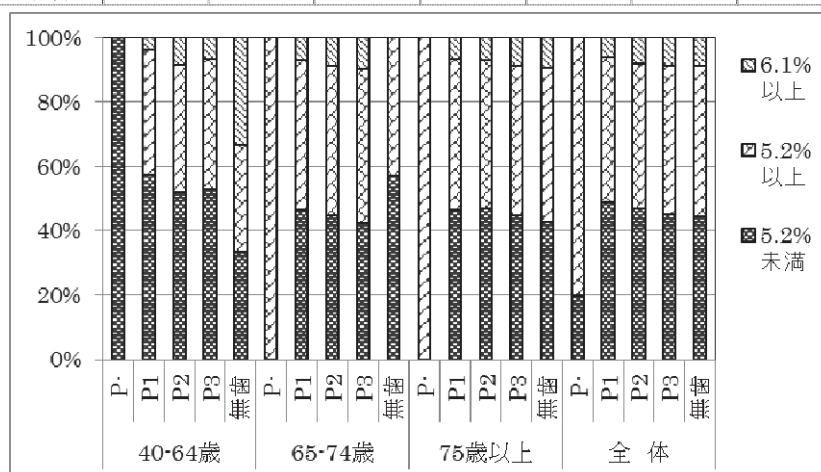


1-2 歯周病の程度とHbA1cの検査結果

歯周病の程度とHbA1cの関係は、全体では、歯周病の程度が重度になるほど、5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなっていった。

年齢階級別では、40-64歳と75歳以上では、P-、P1、P2、P3無歯の順に5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなっていった。65-74歳では無歯が5.2%未満が多く、6.1%以上が少なかった。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	P-	1	1	0	0	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	P1	435	250	170	15	100.0%	57.5%	39.1%	3.4%
	P2	474	247	188	39	100.0%	52.1%	39.7%	8.2%
	P3	179	95	72	12	100.0%	53.1%	40.2%	6.7%
	無歯	6	2	2	2	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%
65-74歳	P-	1	0	1	0	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	P1	906	422	421	63	100.0%	46.6%	46.5%	7.0%
	P2	1,362	608	636	118	100.0%	44.6%	46.7%	8.7%
	P3	513	218	245	50	100.0%	42.5%	47.8%	9.7%
	無歯	28	16	12	0	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
75歳以上	P-	3	0	3	0	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	P1	794	368	374	52	100.0%	46.3%	47.1%	6.5%
	P2	1,508	708	693	107	100.0%	46.9%	46.0%	7.1%
	P3	514	230	239	45	100.0%	44.7%	46.5%	8.8%
	無歯	169	72	81	16	100.0%	42.6%	47.9%	9.5%
全 体	P-	5	1	4	0	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%
	P1	2,135	1,040	965	130	100.0%	48.7%	45.2%	6.1%
	P2	3,344	1,563	1,517	264	100.0%	46.7%	45.4%	7.9%
	P3	1,206	543	556	107	100.0%	45.0%	46.1%	8.9%
	無歯	203	90	95	18	100.0%	44.3%	46.8%	8.9%

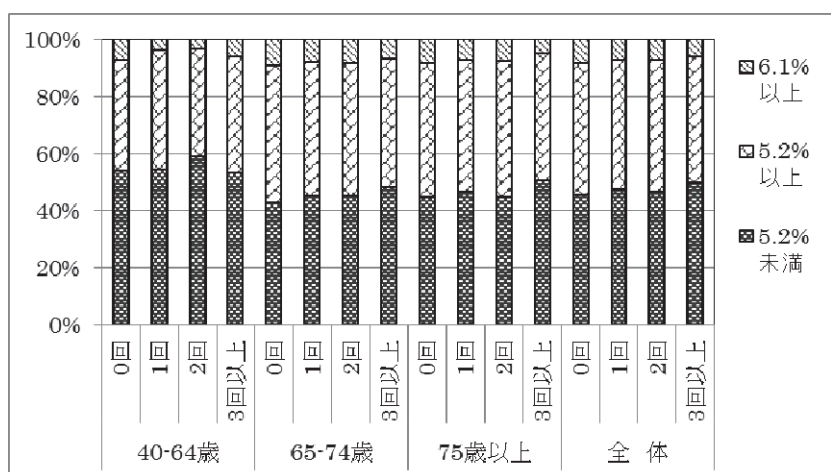


1-3 歯科健診受診頻度とHbA1cの検査結果

歯科健診受診頻度とHbA1cの関係は、全体では、5.2%未満の割合は少ない順に0回、1回、3回以上、2回となっていた。6.1%以上の割合は0回が最も多かった。

年齢階級別では、40-64歳では6.1%以上の割合は0回が最も多く、5.2%未満は2回が多かった。65-74歳と75歳以上では、全体とほぼ同じ傾向であった。

		人 数				割 合			
		総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上	総数	5.2%未満	5.2%以上	6.1%以上
40-64歳	0回	569	308	219	42	100.0%	54.1%	38.5%	7.4%
	1回	179	97	75	7	100.0%	54.2%	41.9%	3.9%
	2回	90	53	34	3	100.0%	58.9%	37.8%	3.3%
	3回以上	257	137	104	16	100.0%	53.3%	40.5%	6.2%
65-74歳	0回	1,320	567	633	120	100.0%	43.0%	48.0%	9.1%
	1回	416	188	194	34	100.0%	45.2%	46.6%	8.2%
	2回	304	137	142	25	100.0%	45.1%	46.7%	8.2%
	3回以上	770	372	346	52	100.0%	48.3%	44.9%	6.8%
75歳以上	0回	1,665	742	786	137	100.0%	44.6%	47.2%	8.2%
	1回	378	177	173	28	100.0%	46.8%	45.8%	7.4%
	2回	307	137	147	23	100.0%	44.6%	47.9%	7.5%
	3回以上	638	322	284	32	100.0%	50.5%	44.5%	5.0%
全 体	0回	3,554	1,617	1,638	299	100.0%	45.5%	46.1%	8.4%
	1回	973	462	442	69	100.0%	47.5%	45.4%	7.1%
	2回	701	327	323	51	100.0%	46.6%	46.1%	7.3%
	3回以上	1,665	831	734	100	100.0%	49.9%	44.1%	6.0%



まとめ・考察（Ⅳ）

A 特定健診の歯科質問項目と現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度の状況

歯科階層化判定別現在歯数

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど現在歯が少なくなっていたが、0-4 歯の者の割合については動機づけ支援群が一番多かった。
- ・75 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より 0-4 歯の者の割合が多いという特徴が見られた。
- ・以上から、歯科階層化判定は、5 歯以上ある者については、現在歯数が少ないほど重度に判定されているが、0-4 歯の極端に歯の数が少ない者に関してはこれが当てはまらない。

歯科階層化判定別歯周病の程度

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど P3 および無歯の程度が多くなっていた。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より重度歯周病の割合が少ないという特徴が見られ、65 歳以上と異なっていた。
- ・65 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より無歯の者の割合が多いという特徴が見られ、この傾向は、65-74 歳より 75 歳以上でより強く認められた。
- ・以上から、65 歳以上の有歯者においては、歯周病が重度なほど歯科階層化判定が重度に判定されているが、無歯のものについては、これが当てはまらず、75 歳以上に無歯の者が多いことから、75 歳以上でも、歯科階層化判定と歯周病の程度についての関係が当てはまらなくなる可能性が示唆された。

歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

- ・各年齢階級においても全体においても、情報提供群の方が支援群よりも歯科健診受診頻度は明らかに高くなっており、歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との間に相関があった。これは、階層化の最初のステップが定期受診の有無であることから当然の結果といえる。
- ・動機づけ支援群と積極的支援群の間では、わずかだが積極的支援群の方が動機づけ支援群よりも歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。
- ・年齢階級別では、65-74 歳が最も歯科健診受診が多く、次いで 40-64 歳で、75 歳以上が最も歯科健診受診が少ない傾向にあった。

歯科質問項目1別現在歯数

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が現在歯数が少なく、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

歯科質問項目1別歯周病の程度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯周病の程度が重度になり、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯科健診受診頻度が低く、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。年齢階級別では、65-74 歳が最も歯科健診受診が多く、次いで 40-64 歳で、75 歳以上が最も歯科健診受診が少ない傾向にあった。

歯科質問項目 5×7別現在歯数

・各年齢階級でも、全体でも、「5-Y 7-Y」が最も現在歯数が多くなり、次に「5-Y 7-N」、更に「5-N 7-Y」の順に現在歯数が少なくなり「5-N 7-N」が最も現在歯数が少ない傾向にあった。

歯科質問項目 5×7別歯周病の程度

・全体では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」が歯周病の程度がやや軽度となり、「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」が歯周病の程度がやや重度の傾向にあった。

歯科質問項目 5×7別歯科健診受診頻度

- ・歯科健診受診頻度については、当然ながら、「7-Y」(プロフェッショナルケア群)の方が受診頻度が多くなっていた。
- ・また、プロケアの有無が同じ群の間では、「5-Y」(セルフケア群)の方が、歯科健診受診頻度が多くなっていた。

B 現在歯数・歯周病の程度・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況

現在歯数とHbA1c の検査結果

- ・全体では、わずかではあるが現在歯数が少なくなるほど、HbA1c が高い者の割合が多くなっていた。HbA1c6.1%以上の割合は0-4 歯と10-14 歯が多くなっていた。
- ・年齢階級別では、40～64 歳では、現在歯数が多いほど HbA1c が低くなる傾向が強く、年齢階級が高齢になるほど、現在歯数による差が小さくなり、その傾向が弱くなっていた。

歯周病の程度とHbA1c の検査結果

- ・全体では、歯周病の程度は重度になるほど、5.2%未満の割合が少なくなり、6.1%以上の割合が多くなっており、歯周病の程度とHbA1c の相関が認められた。
- ・年齢階級別でも、全体と同じ傾向だが、40～64 歳、65～74 歳では、P-で 5.2%未満の割合が少なくなっていた。

歯科健診受診頻度とHbA1c の検査結果

- ・全体では、5.2%未満の割合はわずかではあるが3回以上で多くなっていた。6.1%以上の割合は0回が最も多く、次に2回が多くなっていた。

平成 25 年度香川県 8020 運動推進特別事業
(香川県歯科医師会委託事業)

平成25年度
香川県
歯の健康と医療費に関する実態調査報告書

平成26年3月発行

公益社団法人 香川県歯科医師会

会長 豊嶋 健治

〒760-0020 香川県高松市錦町2丁目8番38号

TEL: 087-851-4965 FAX: 087-822-4948

Eメール: jimushin@kashi.or.jp HP: <http://www.kashi.or.jp>

